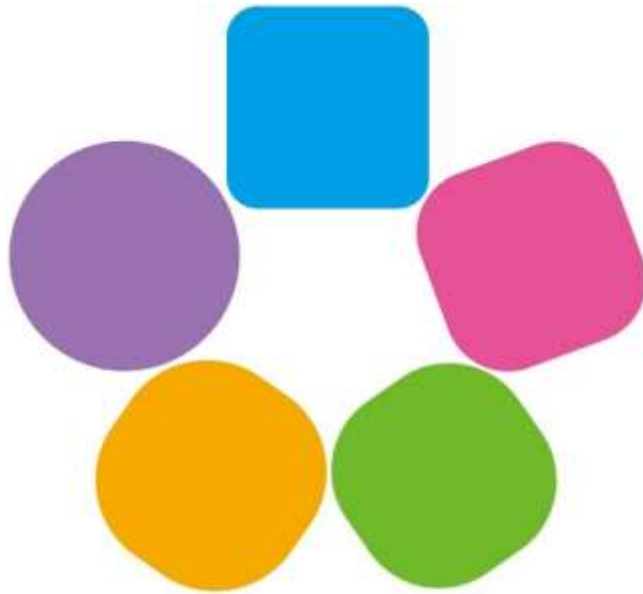


令和7年度

# まちづくり報告書

～ 愛南町総合計画の進行管理 ～

令和6年度成果実績



愛南町



# 目 次

<b>1</b>	<b>まちづくり報告書の基本的な考え方</b> .....	<b>1</b>
	(1) まちづくり報告書とは .....	1
	(2) 総合計画と行政評価 .....	1
	(3) 行政評価による総合計画の進行管理 .....	2
	(4) 3つの視点で総合計画を進行管理 .....	3
	(5) 報告にあたって .....	3
<b>2</b>	<b>まちづくりの進展度（対基準値）</b> .....	<b>4</b>
	(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標） .....	4
	(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標） .....	4
	(3) 政策別のまちづくり動向（266 指標） .....	5
<b>3</b>	<b>前年度指標値との差異（対前年度）</b> .....	<b>6</b>
	(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標） .....	6
	(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標） .....	6
	(3) 政策別のまちづくり動向（266 指標） .....	7
<b>4</b>	<b>前期基本計画の目標達成状況（目標達成度）</b> .....	<b>8</b>
	(1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標） .....	8
	(2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標） .....	8
	(3) 政策別のまちづくり動向（266 指標） .....	9
<b>5</b>	<b>まちづくりの分野別進行状況</b> .....	<b>10</b>

# 1 まちづくり報告書の基本的な考え方

## (1) まちづくり報告書とは

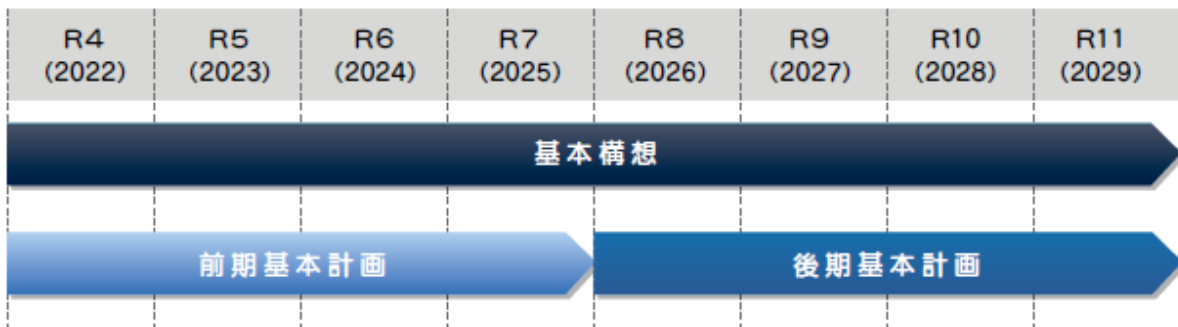
愛南町総合計画は、町の政策を定める最上位の計画であり、町民、事業者及び行政がそれぞれの果たすべき役割と責任を分担して、総合的かつ計画的にまちづくりに取り組んでいくための指針となるものです（愛南町自治基本条例第24条）。

愛南町が2004（平成16）年に誕生し、その間に本町を取り巻く社会情勢は大きく変化しました。人口減少社会や多様化する行政ニーズに対応していくことが求められます。

そのため、合併時に策定した第1次愛南町総合計画の成果状況を踏まえて、平成26年3月に第2次愛南町総合計画を策定し、令和3年度末で計画期間が終了し、令和4年度から第3次愛南町総合計画がスタートいたしました。

本町の総合計画では、分野別にまちづくりの目標となる町のめざす姿と、成果指標を設定しています。まちづくりの成果を把握することで、まちづくりがどの分野でどの程度達成されたかを評価しています。

このまちづくり報告書は、町のめざす姿を設定してから現在までのまちづくりの取組状況を町民の皆さんにお知らせするものです。本書は、第3次愛南町総合計画の令和6年度成果実績について報告いたします。

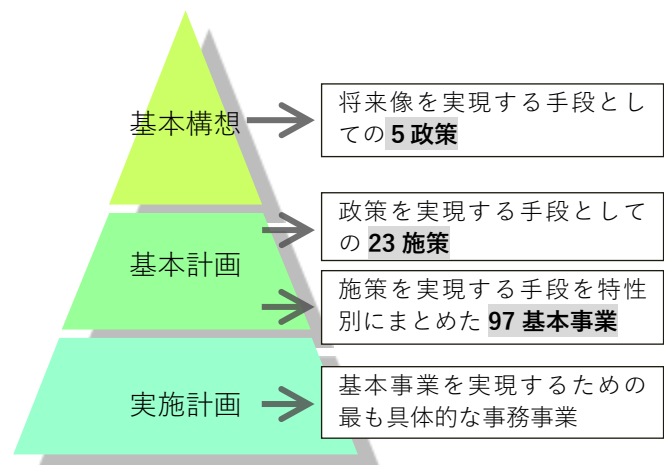


## (2) 総合計画と行政評価

第3次愛南町総合計画では、将来像を「ともに彩（いろどり）を育（はぐく）むまち いろこい あいなん」と定め、この将来像を実現するための5つの政策、政策の下には23の施策、97の基本事業を掲げています。

さらに基本事業を実現するための具体的な手段としての事務事業が位置づけられ、施策体系を構成します。

また、愛南町では町民の視点に立った行政経営に取組み、限られた行政資源で成果重視の行政をめざし、行政評価を導入し、将来像の実現に向けた取組の進捗状況を管理しています。

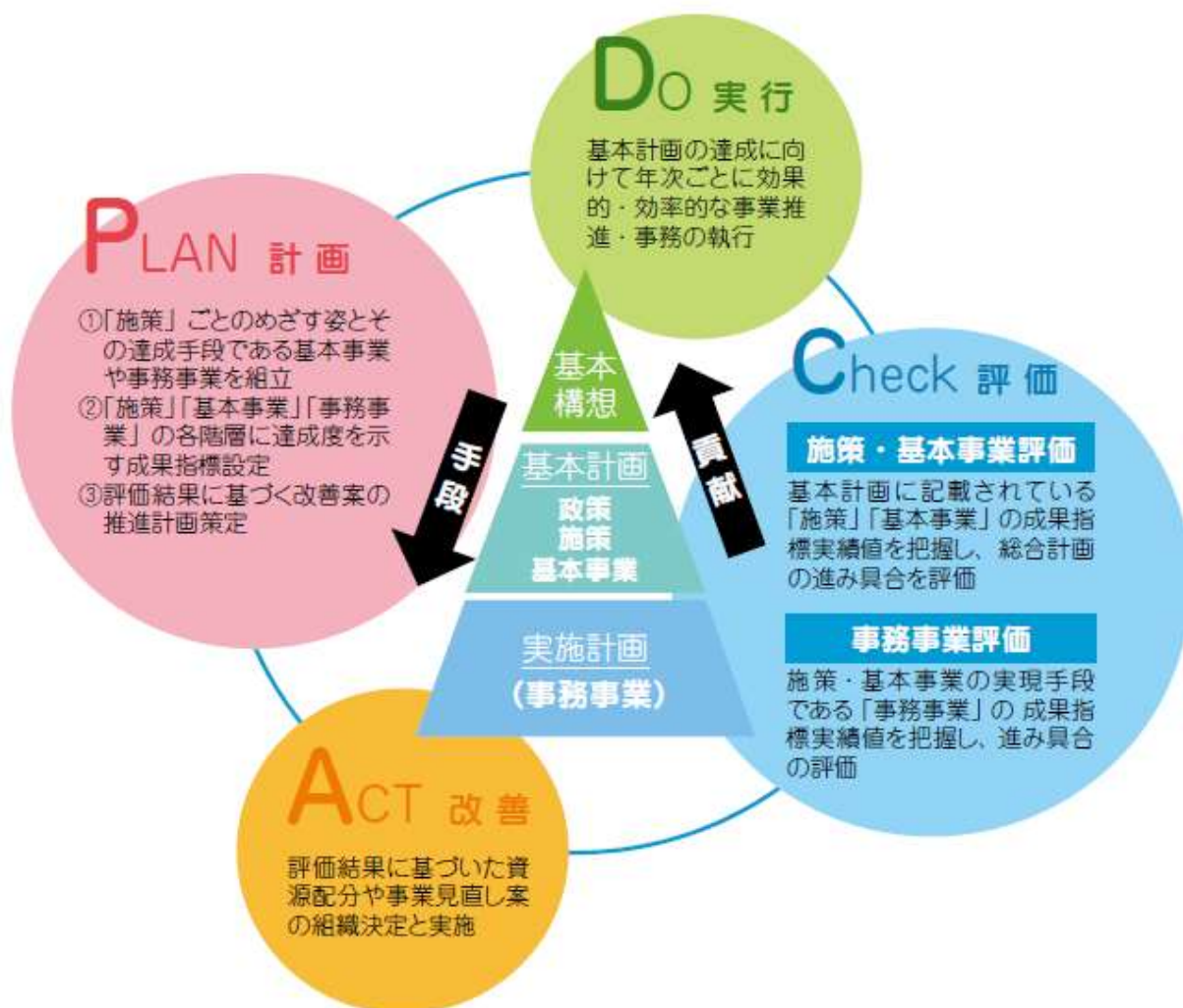


### (3) 行政評価による総合計画の進行管理

愛南町では、施策・基本事業に各分野のまちづくりの「めざす姿」の達成状況をあらわす「ものさし」として成果指標を設定し、その数値の推移により評価を行っています。成果指標を設定し、まちづくりの成果が数値化されることによって、指標の動向や変動要因の分析などを行うことができるようになりました。

評価の結果は、まちづくりを進めていく上での意思決定の判断材料や税金活用の説明責任資料として活用し、計画の策定 (Plan)、計画の実施 (Do)、計画の評価 (Check)、評価結果に基づく改善 (Act) というPDCAのマネジメントサイクルをまわして、行政経営の質を向上させるものです。

#### 行政経営サイクル (PDCAサイクル)



#### (4) 3つの視点で総合計画を進行管理

総合計画は、民間企業における中期経営計画のような位置づけとなります。

民間企業の中期経営計画では、目標達成度にもみ焦点があたっています。

しかし、地方自治体の総合計画は、住民意識・行動や法改正の影響、地勢（所在地）など民間企業ほど主体的に変化させづらい要素があります。また、イベント等は天候により参加者数が大きく増減する等の影響を受けることもあります。

そのため、愛南町の総合計画進行管理では、以下の3つの視点で多角的に評価します。

視 点	評価基準
対基準値	まちづくりの進展度を評価する(どの程度計画開始前より良くなったか) ★第3次総合計画開始時点の基準値と比較する
対前年度	昨年度との差異を評価する(天候などの影響で上下することもあり、一喜一憂に留意) ★昨年度指標値と比較する
目標達成度	第3次総合計画の目標値の達成状況を評価する(中期的な計画の達成度を評価) ★第3次総合計画の前期目標値(R7年度)と比較する

#### (5) 報告にあたって

①各種図表の数値の合計が100%にならない場合があります。

報告書の読みやすさから、小数点を第1位または第2位までの表示にする小数点の端数処理によるものです。

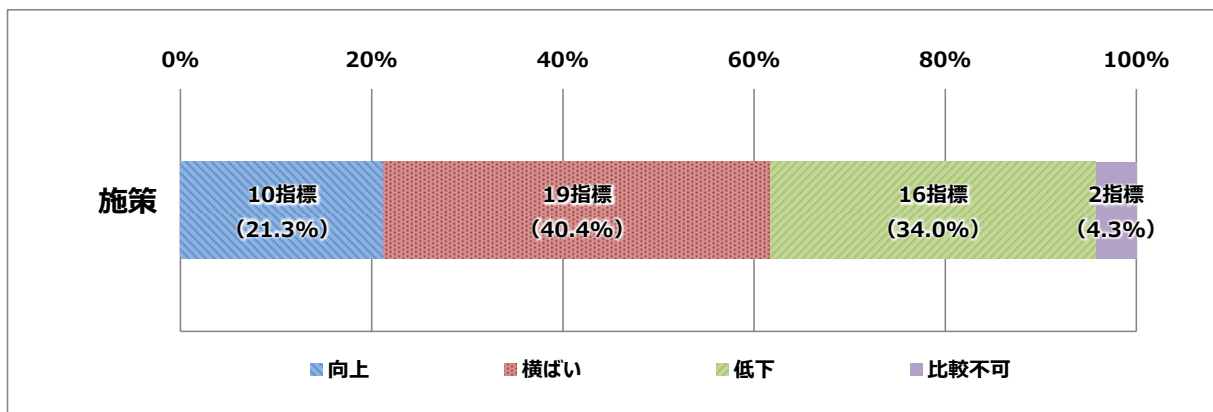
②本報告書の令和5年度の施策コスト、基本事業コストと「令和6年度まちづくり報告書」の施策コスト、基本事業コストが異なる場合があります。

## 2 まちづくりの進展度（対基準値）

第3次愛南町総合計画前期基本計画で設定した施策・基本事業の266の成果指標の前期計画開始前の値である基準値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

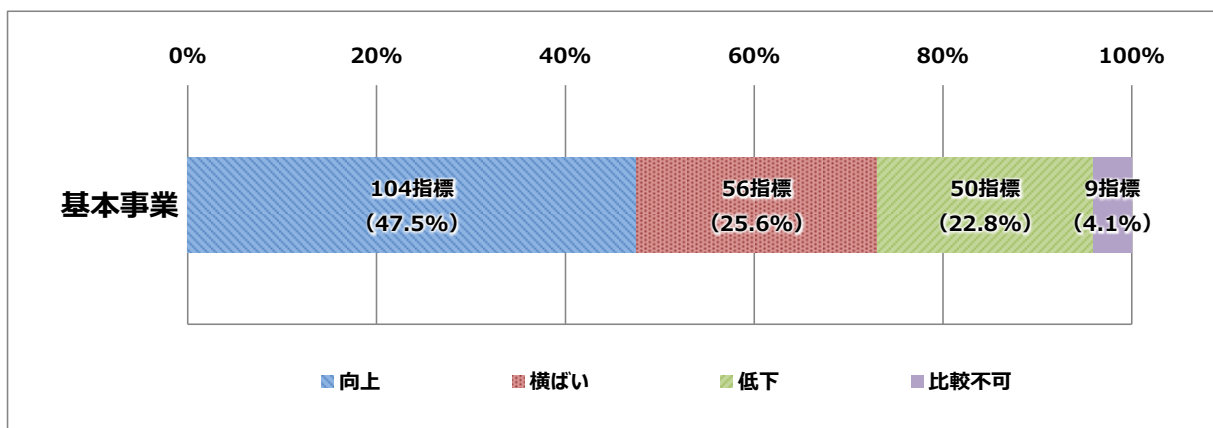
### （1）施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）

23 施策の成果として設定されている47の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は10指標（21.3%）、横ばいの指標は19指標（40.4%）、低下の指標は16指標（34.0%）、比較不可の指標は2指標（4.3%）となっています。



### （2）基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）

97 基本事業の成果として設定されている219の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は104指標（47.5%）、横ばいの指標は56指標（25.6%）、低下の指標は50指標（22.8%）、比較不可の指標は9指標（4.1%）となっています。

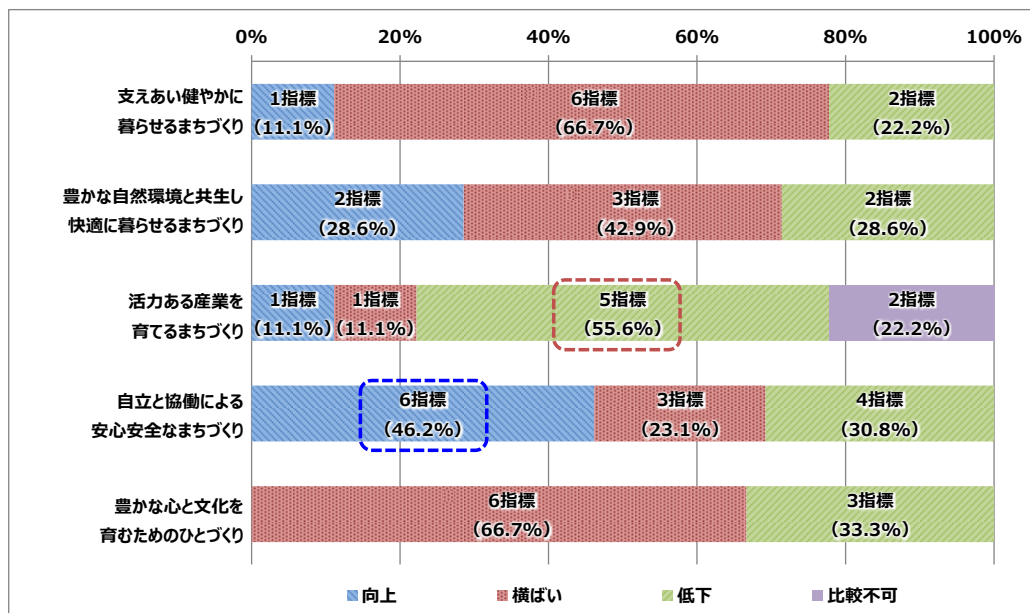


### (3) 政策別のまちづくり動向 (266 指標)

#### 〈施策階層〉 対基準値

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「自立と協働による安心安全なまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

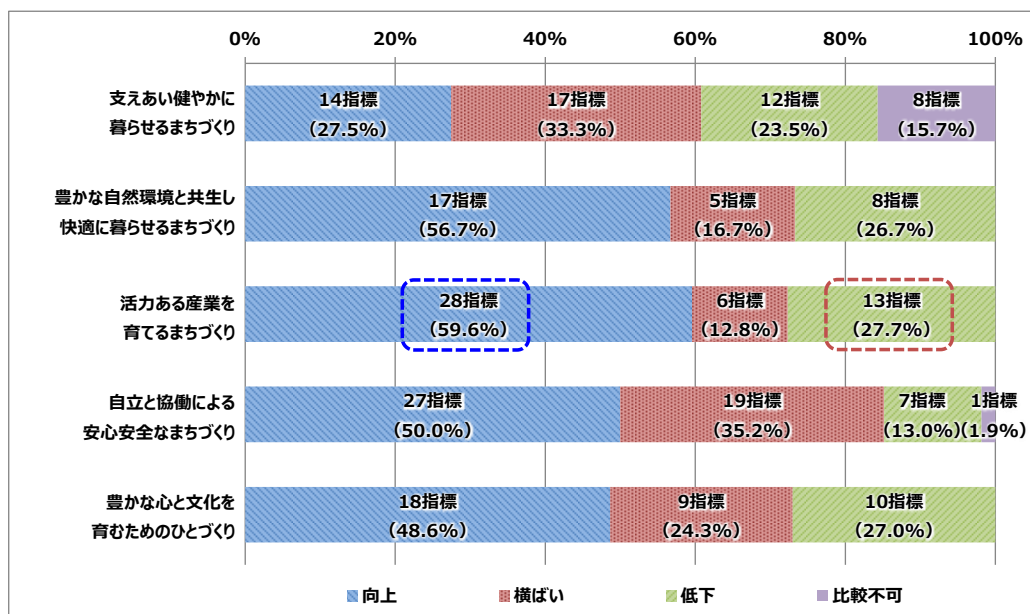
#### ■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (47 指標)



#### 〈基本事業階層〉 対基準値

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

#### ■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (219 指標)



### 3 前年度指標値との差異（対前年度）

第3次愛南町総合計画前期基本計画で設定した施策・基本事業の266の成果指標の前年度値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

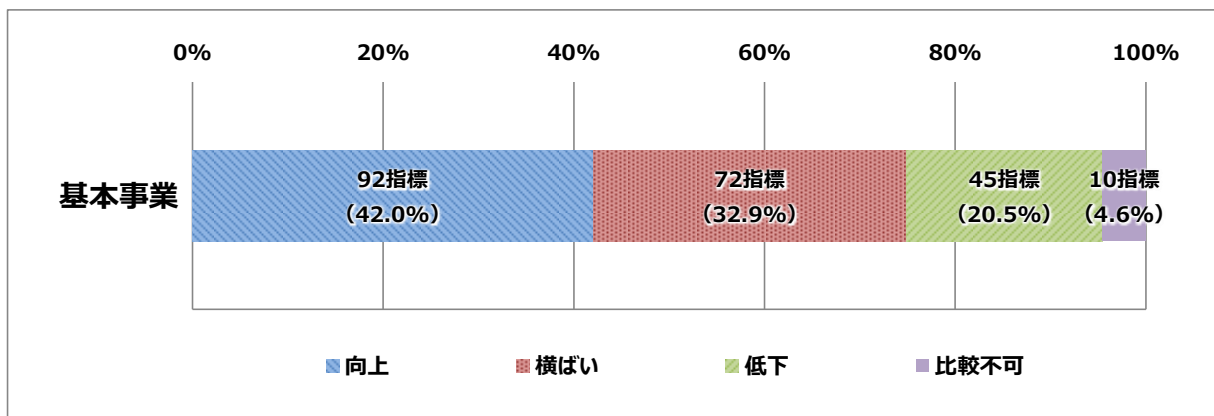
#### (1) 施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）

23 施策の成果として設定されている47の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は11指標（23.4%）、横ばいの指標は20指標（42.6%）、低下の指標は13指標（27.7%）、比較不可の指標は3指標（6.4%）となっています。



#### (2) 基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）

97 基本事業の成果として設定されている219の成果指標について、成果が向上したと評価した指標は92指標（42.0%）、横ばいの指標は72指標（32.9%）、低下の指標は45指標（20.5%）、比較不可の指標は10指標（4.6%）となっています。

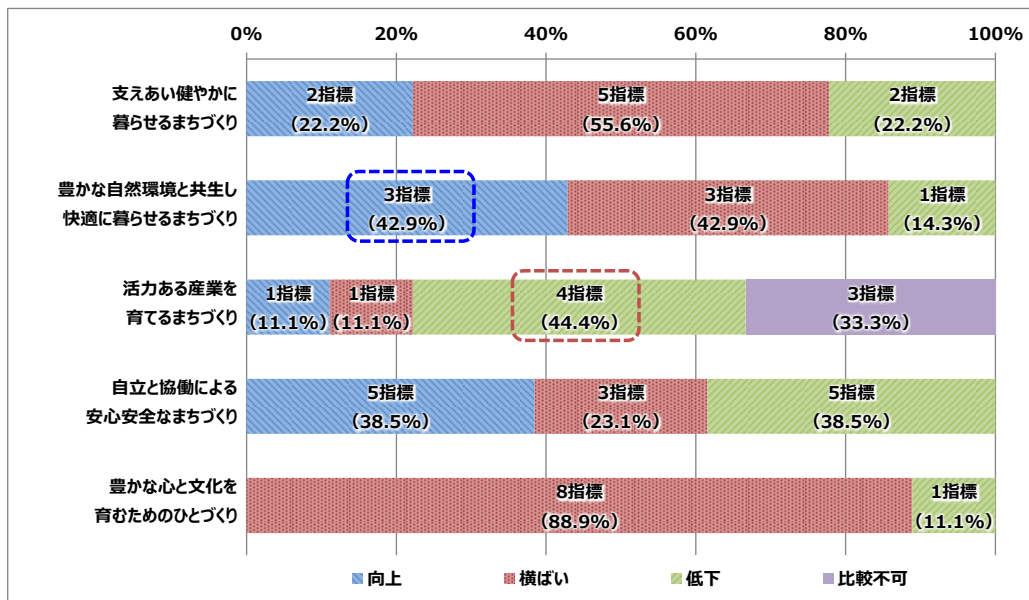


### (3) 政策別のまちづくり動向 (266 指標)

#### 〈施策階層〉 対前年度

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

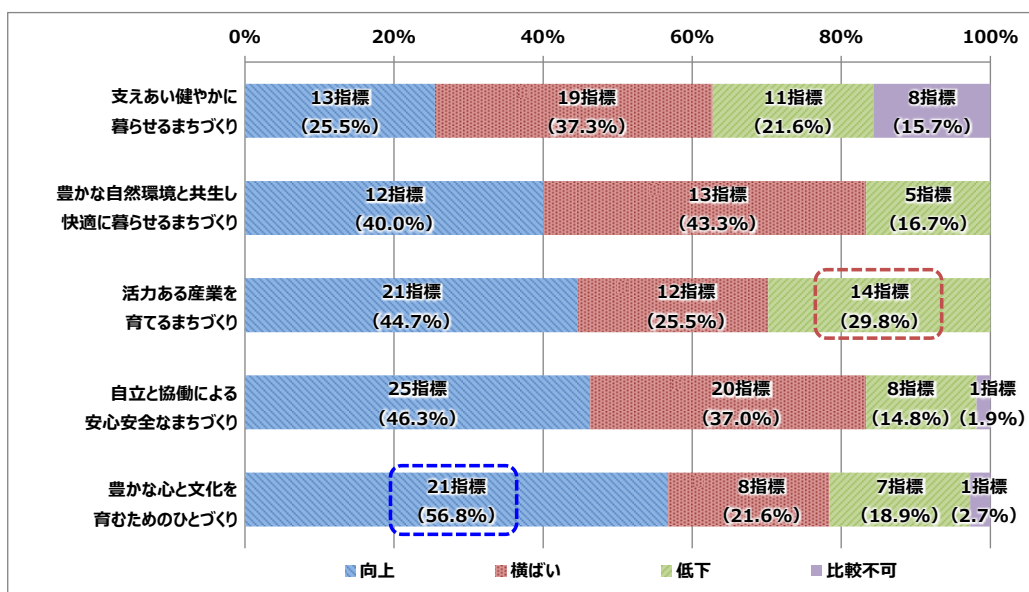
#### ■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (47 指標)



#### 〈基本事業階層〉 対前年度

- ・ 成果が向上したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな心と文化を育むためのひとづくり」
- ・ 成果が低下したと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

#### ■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (219 指標)



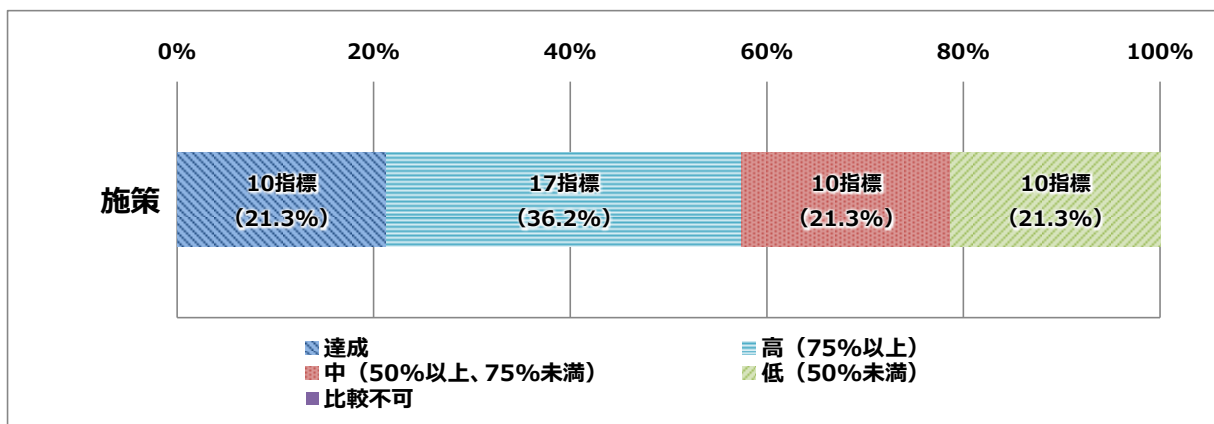
## 4 前期基本計画の目標達成状況（目標達成度）

第3次愛南町総合計画前期基本計画で設定した施策・基本事業の266の成果指標の令和6年度目標値との比較における進捗状況は、以下のとおりとなっています。

なお、今回の報告は、前期基本計画4年間の1年度の評価となっています。

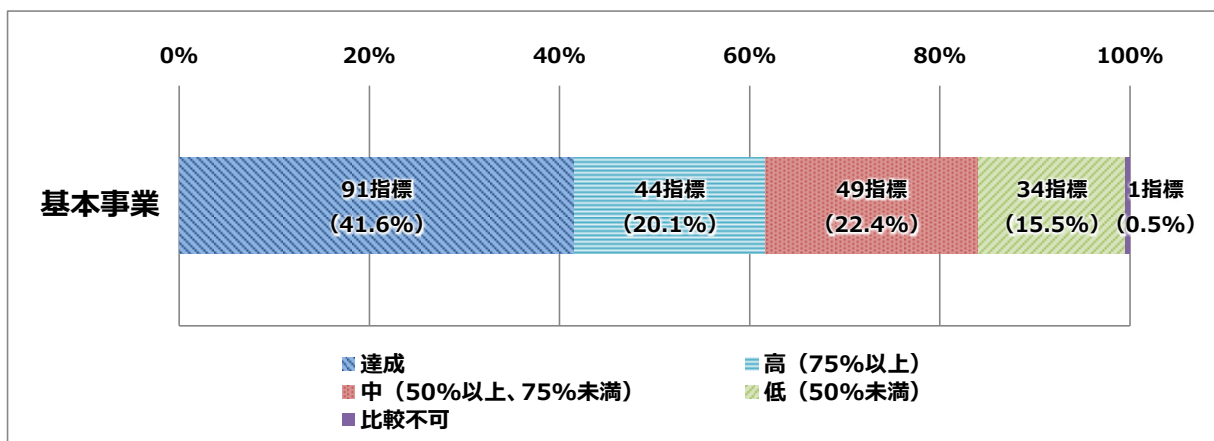
### （1）施策の成果指標動向（23 施策 47 指標）

23 施策の成果として設定されている47の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は10指標（21.3%）、達成度75%以上（高）の指標は17指標（36.2%）、達成度50%以上（中）の指標は10指標（21.3%）、達成度50%未満（低）の指標は10指標（21.3%）、比較不可の指標は0指標（0%）となっています。



### （2）基本事業の成果指標動向（97 基本事業 219 指標）

97 基本事業の成果として設定されている219の成果指標について、目標を達成したと評価した指標は91指標（41.6%）、達成度75%以上（高）の指標は44指標（20.1%）、達成度50%以上（中）の指標は49指標（22.4%）、達成度50%未満（低）の指標は34指標（15.5%）、比較不可の指標は1指標（0.5%）となっています。

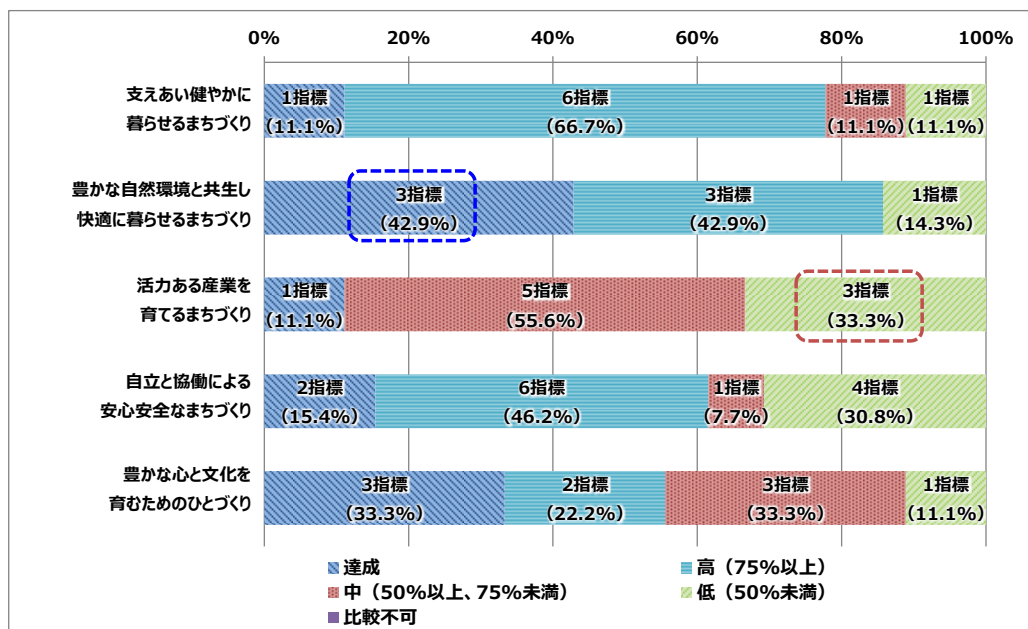


### (3) 政策別のまちづくり動向 (266 指標)

#### 〈施策階層〉 目標達成度

- ・ 目標を達成したと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」
- ・ 目標達成度が低いと評価した割合が多い政策・・・「活力ある産業を育てるまちづくり」

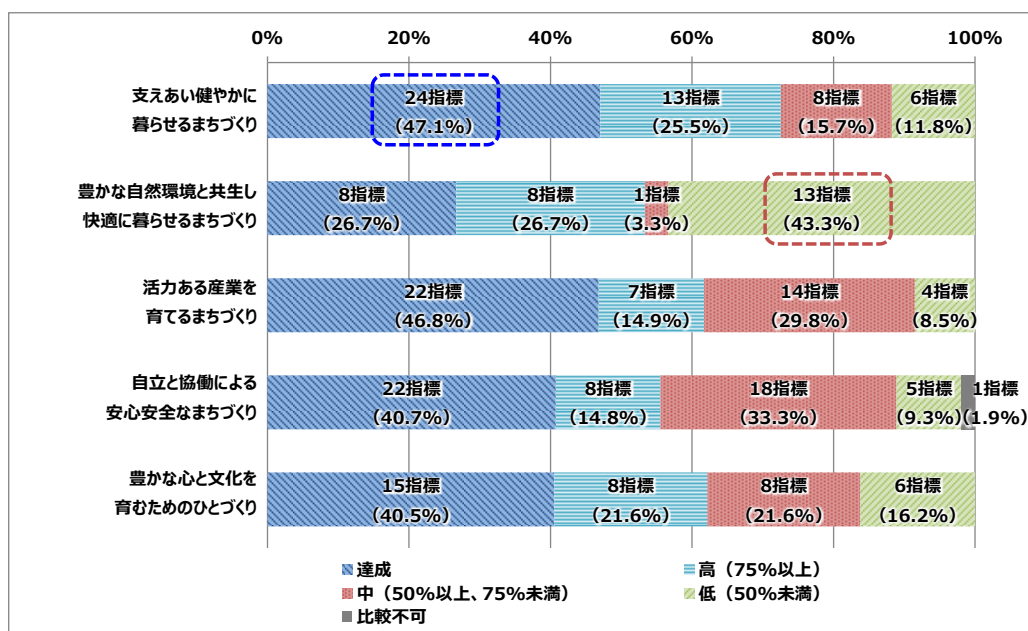
#### ■ 〈政策別〉 施策の成果指標動向 (47 指標)



#### 〈基本事業階層〉 目標達成度

- ・ 目標を達成したと評価した割合が多い政策・・・「支えあい健やかに暮らせるまちづくり」
- ・ 目標達成度が低いと評価した割合が多い政策・・・「豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり」

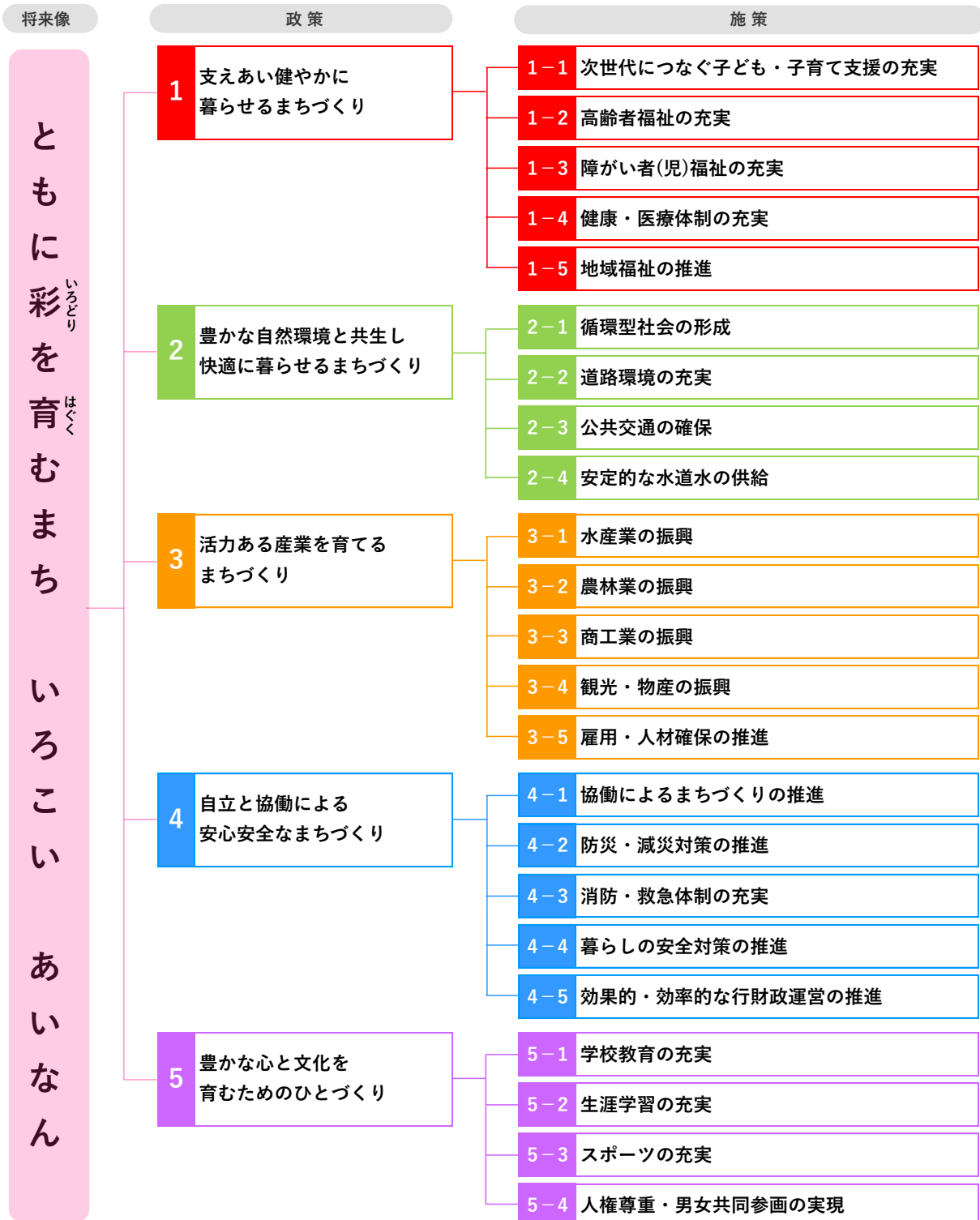
#### ■ 〈政策別〉 基本事業の成果指標動向 (219 指標)



## 5 まちづくりの分野別進行状況

愛南町の将来像「ともに彩（いろどり）を育（はぐく）むまち いろこい あいなん」を実現するために、愛南町の課題を踏まえ、5つの政策を柱に、23の施策、97の基本事業を設定し、まちづくりを推進しました。

まちづくりの分野別進行状況では、施策及び基本事業ごとに設定した成果指標に基づき、どれぐらいまちづくりの「めざす姿」に近づいているのかを、指標の動向や変動要因の分析などによりお知らせします。



## 政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

施策を実現する手段

#### 基本事業 01-01-01 子どもの健やかな成長

#### 基本事業 01-01-02 保育サービス等の充実

#### 基本事業 01-01-03 地域における子育て支援

#### 基本事業 01-01-04 子どもの人権尊重

#### 基本事業 01-01-05 家族形成意識醸成の支援

#### 基本事業 01-01-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

保育所の入所児童数は令和6年度末329名（広域受託児童除く）で、待機児童はありません。入所児童数は減少傾向にあることから、統廃合の基準に該当する保育所もできており、令和6年度末をもって家申保育所が休所となっています。平成28年度から保育料第2子無料化を実施し、令和元年10月から幼児教育・保育無償化、令和5年10月からは3歳以上児に係る副食費の無償化が開始され、保護者の経済的な負担軽減が図られています。課題としては慢性的な保育士不足など保育サービスの在り方を長期的に考える必要があります。

就学後については、放課後児童クラブを3か所設置し、令和6年度末現在で93名が利用しています。定員の超過に対しては、弾力的な受け入れを行い待機児童なく運営できています。また、放課後子ども教室など、放課後に子どもが安心して過ごせる多様な居場所づくりに努めています。令和7年度から、放課後児童クラブを拡充し、全学年の利用を開始したことに伴い、令和6年度末をもって、放課後図書クラブ事業は廃止しました。課題としては、支援員不足に加え新たな居場所づくりが挙げられるため、今後も関係機関が連携して検討していきます。

結婚支援については、町主催婚活イベントを1回開催し、男女15名が参加、6組のカップルが成立しました。定員を超える応募があり、参加者・カップル成立数ともに前年度を上回りました。結婚を希望する独身者が出会い、安心して子どもを産み、育てていくためのサポートとして、交流の場の提供や経済的な支援を引き続き実施していきます。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.93 (2.95)	2.96 (2.92)	3.04 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.88 (3.67)	3.93 (3.72)	3.79 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>家族形成を考える世代、子育て中の世帯（保育所、幼稚園及び学童保育を利用する子どもの保護者）</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>安心して産み、子育てができる環境を整えます。</p>
---	--

施策の成果状況と評価

指標	保護者による「子育てしやすいまち」に関する評点（100点満点） 上がると良い指標 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		点	76.4	76.2	70.3	80	 (低下) 対前年度  (低下) 目標達成度  (高)
評価	(状況) 令和6年度は70.3点で前年度を5.9ポイント下回っており、目標を達成していません。 (原因) 「とても子育てしやすいまちだと思う」の割合が減り、「やや子育てしやすいまちだと思う」「普通だと思う」の割合が増えたことにより、評点が下がっています。保育所及び放課後児童クラブの満足度については良好であることから、保育所・放課後児童クラブ以外の子育てサービスが満足いくものではなかったと思われます。そのため、保育所等のサービス以外での住民のニーズを把握する必要があります。						

指標	合計特殊出生率 上がると良い指標 【保健福祉課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		( )	1.12	1.25	1.05	1.5	 (低下) 対前年度  (低下) 目標達成度  (中)
評価	(状況) 令和6年度は1.05で前年を0.20ポイント下回っています。 (原因) 前年度と比較し15歳から49歳の女性人口が137人減少し、出生数も9人減少したことが、低下の要因と考えます。25歳～39歳の出生数は減少しており、特に25歳～29歳までが11人減少しています。婚姻率を上げるための取組みや子どもを産み育てやすい環境づくりに努めていきます。						

施策のコスト（千円）

R05	R06
843,238	1,056,520

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-01 子どもの健やかな成長

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 妊娠期から思春期の子どもと保護者	<b>基本事業がめざす姿</b> 妊娠期から思春期まで親子が健やかに過ごすことができます。
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	妊娠20週以降の妊娠届出数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【保健福祉課】	件	0	0	2	0	☔ (低下)
評価	(状況) 20週以降の妊娠届出数は2件で、前年度と比較して2件増加しており、目標を達成していません。 (原因) 経済的事情等により、医療機関の受診が遅くなった妊婦がいたことが影響しています。						☔ (低下)
		対前年度	☔ (低下)	☔ (低下)	☔ (低下)	☔ (低下)	

指標	3歳児健診の受診率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	100	98.4	100	100	☀ (向上)
評価	(状況) 3歳児健診の受診率は100%で、前年度より1.6ポイント増加し、目標を達成しています。 (原因) 健診未受診の子どもの保護者に継続して受診勧奨を行ったことが要因と考えられます。						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	☀ (向上)	☀ (向上)	☀ (向上)	

指標	3歳児健診におけるむし歯のある子どもの割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【保健福祉課】	%	18.1	13.1	14.5	16.0	☀ (向上)
評価	(状況) むし歯のある子どもの割合は14.5%と前年度より1.4ポイント増加していますが、目標を達成しています。 (原因) 乳児期からのむし歯予防や、仕上げ磨きの必要性についての情報提供により、保護者のむし歯予防に対する意識が向上していることが考えられます。						☔ (低下)
		対前年度	☔ (低下)	☔ (低下)	☔ (低下)	☔ (低下)	

指標	若年妊婦の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【保健福祉課】	%	1.5	3.4	2.2	1.0	☔ (低下)
評価	(状況) 若年妊婦の割合は2.2%で前年度と比較して1.2ポイント低下していますが、目標を達成していません。 (原因) 若年妊婦の届出件数は横ばいですが、妊娠届出件数が減少傾向にあるため、全体に占める若年妊婦の割合が横ばいになっています。						☔ (低下)
		対前年度	☔ (低下)	☔ (低下)	☔ (低下)	☔ (低下)	

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
38,430	37,725

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-02 保育サービス等の充実

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 子育て中の世帯（保育所、幼稚園及び学童保育等を利用する子どもの保護者）	<b>基本事業がめざす姿</b> 保育サービスや放課後の居場所の充実により、保護者が安心して子どもが預けられ、働くことができます。
---	--

基本事業の成果状況と評価

指標	保育所を利用している保護者の満足度(100点満点)	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	点	80.6	86.0	86.0	80	(横ばい)
評価	(状況)令和6年度は86.0点で前年度と同数となっており、目標を達成しています。 (原因)待機児童なしで受け入れできており、また、提供している各種保育サービスについても概ね満足を得られていることが要因と考えます。						対前年度
							(横ばい)
							目標達成度
							(達成)
指標	学童保育を利用している保護者の満足度(100点満点)	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	点	76.8	80.0	82.5	80	(横ばい)
評価	(状況)令和6年度は82.5点で前年度を2.5点上回っています。 (原因)令和6年度は待機児童がなく、全ての児童の受け入れができました。アンケートの結果からは、子どもへの接し方や行事に高い満足度が得られており、また、全体的にも概ね満足を得られています。継続してサービスの質の向上に努めていることが要因と考えられます。						対前年度
							(横ばい)
							目標達成度
							(達成)
指標	放課後の児童の受入事業(施設)設置数	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	対基準値
	その他の指標 【保健福祉課】	か所	8	10	9	8	(横ばい)
評価	(状況)令和6年度は、前年度から設置数が1か所減少しています。 (原因)放課後の居場所づくりは、保護者や児童のニーズを確認しながら進めており、令和6年度は閉校に伴い、放課後子ども塾を1箇所廃止したことが要因です。						対前年度
							(横ばい)
							目標達成度
							(達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
224,062	276,487

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-03 地域における子育て支援

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 子育て中の世帯（保育所、幼稚園及び学童保育を利用する子どもの保護者）	<b>基本事業がめざす姿</b> 子育ての不安や悩みを取り除きます。
--	---------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	子育てについて相談できる相手（場所）がいる（ある）保護者の割合 【保健福祉課】	%	93.5	94.6	96.1	100	☁ (横ばい)
	上がる和良好的指標						☁ (横ばい)
評価	（状況）令和6年度は96.1%で前年度を1.5ポイント上回っていますが、目標を達成していません。 （原因）アンケート結果では、相談先に行政機関を選出した人の割合は全回答者の59.2%となっています。相談先があると回答した割合は高い数値となっていますが、一方で新たな相談先や情報の入手先が増えていないため、ほぼ横ばいになったと考えられます。						☁ (横ばい)
							■ (高)

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	子育てについて相談できる相手（場所）の相談先の数（人、行政機関等） 【保健福祉課】	相談先数	4.2	4.0	4.0	4.5	☁ (横ばい)
	上がる和良好的指標						☁ (横ばい)
評価	（状況）令和6年度は4.0件で前年度と同数となっており、目標を達成していません。 （原因）相談できる相手がいる保護者の割合が昨年からはほぼ変わっていないことが要因の一つと考えられます。相談先がないと回答した人の割合は3.9%になっています。また、相談先として行政機関と回答する保護者は例年14%～16%程度に推移しており、この割合が伸びていないことも一つの要因と考えられます。						☁ (横ばい)
							■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
34,894	121,180

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実

基本事業 01-01-04 子どもの人権尊重

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 子ども	基本事業がめざす姿 人権や権利が守られ、生活できます。
----------------	--------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	虐待ケースの終結の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値															
	上がると良い指標 指標のとらえ方の変更による 【保健福祉課】	%	28.0	27.7	33.9	30.0	☁️															
評価	(状況) 令和6年度は33.9%で前年を6.2ポイント上回っています。 (原因) 令和6年度は、対象者の転出や協議により母子保健での見守り支援に切り替えた家庭が若干多かったためと考えます。引き続き関係機関と連携して、虐待防止に向けた啓発と妊娠期からの継続した支援に努めていきます。	<table border="1"> <caption>実績値と目標値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>28.0</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>27.7</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>33.9</td> <td>30.0</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>30.0</td> <td>30.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	基準	28.0	30.0	R04	27.7	30.0	R05	33.9	30.0	R07	30.0	30.0	(横ばい) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																				
基準	28.0	30.0																				
R04	27.7	30.0																				
R05	33.9	30.0																				
R07	30.0	30.0																				

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
0	0

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実**

**基本事業 01-01-05 家族形成意識醸成の支援**

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b>	<b>基本事業がめざす姿</b>
20歳以上の独身者	若い世代を中心に婚姻率が高まります。 若い世代の婚姻や家族形成意識を醸成し、次世代が育成されます。

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
<b>出会いの場を提供したカップルの延べ成婚数（基本計画期間累計）</b> 上がると良い指標 【企画財政課】	組	5	6	9	9	☀️ (向上)
<b>評価</b> (状況) 令和6年度において、出会いの場を提供したカップルの延べ成婚数が新たに3組確認されました。その結果延べ成婚数は9組となり、目標を達成しています。 (原因) 結婚意欲の高い方を対象としたイベントを定期的を実施し、結婚新生活支援事業などの関連施策を効果的に周知できたことが要因と考えられます。						☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 👑 (達成)
<b>婚姻率（人口1,000人当たり）</b> 上がると良い指標 【企画財政課】	%	2.0	2.2	1.7	2.5	☔️ (低下)
<b>評価</b> (状況) 婚姻率は1.7%で、前年度から0.5ポイント低下しています。 (原因) 人口の減少、出会いの場が少ないこと、経済的な問題等が要因と考えられます。かつての皆婚規範に対して、近年では結婚を選択的行動として捉える見方が広まり、個人の意識の問題も要因として考えられます。						☔️ (低下) 対前年度 ☔️ (低下) 目標達成度 🚧 (中)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
10,971	10,434

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-01 次世代につなぐ子ども・子育て支援の充実**

**基本事業 01-01-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
534,881	610,694

## 政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 01-02 高齢者福祉の充実

施策を実現する手段

**基本事業** 01-02-01 安心と尊厳のある暮らしの保持

**基本事業** 01-02-02 介護予防・健康づくり・生きがいづくりの推進

**基本事業** 01-02-03 地域における支えあい・連携の強化

**基本事業** 01-02-04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備

**基本事業** 01-02-05 介護保険サービスの充実

**基本事業** 01-02-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

令和6（2024）年4月1日現在の高齢化率は47.0%で、令和22（2040）年には58.6%になると推計されています。また、町内の127地区（行政区）のうち65地区が限界集落であることに加え、単身高齢者世帯の割合の増加や活動している老人クラブ数が減少するなど、地域力の低下や人間関係の希薄化が進んでいます。一方で介護人材の不足も進んでいることから、地域における支え合い連携の強化が必要となっています。

要支援・要介護認定の新規該当者の平均年齢は、令和6（2024）年度では82.5歳・84.0歳と昨年度、また、総合計画基準値と比較しても向上しています。これまでも高齢者になるべく要介護状態にならず自立した生活が送れるように「自立支援・重度化防止」に向けた取組を推進してきましたが、今後も介護予防の普及・啓発を継続していく必要があります。令和5年度に制作した介護予防体操を今後も広く活用し、高齢者等が介護予防（フレイル予防）についての正しい知識や技術を習得し、運動機能の維持向上に取り組みながら、健康でいきいきとした生活が送れるよう支援していきます。

介護人材の不足については、介護給付の適正化を行う一方で、新たな介護の担い手の確保と地域で支える仕組みづくりを進めていき、地域包括ケアシステムの更なる深化に向け取り組んでいきます。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	2.96 (2.92)	2.99 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.79 (3.67)	3.84 (3.72)	3.78 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-02 高齢者福祉の充実**

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
高齢者、家族、地域住民、事業者	高齢者が健康で、生きがいをもって住み慣れた地域で生活できます。

施策の成果状況と評価

指標	自立高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 <span style="float: right;">【高齢者支援課】</span>	%	79.2	79.4	79.0	80.0	(横ばい) 対前年度
評価	(状況) 自立高齢者の割合は79.0%で、前年度より0.4ポイント低下し、停滞しています。 (原因) 介護予防への取組を行っているものの、要支援・要介護認定者数が微増となったことが要因です。						(横ばい) 目標達成度
							■ ■ ■ (高)

施策のコスト(千円)

R05	R06
4,066,800	4,144,918

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-02 高齢者福祉の充実**

**基本事業 01-02-01 安心と尊厳のある暮らしの保持**

基本事業のプロフィール

<p style="text-align: center;">基本事業の対象</p> <p>高齢者、家族</p>	<p style="text-align: center;">基本事業がめざす姿</p> <p>高齢者の権利が守られるとともに必要な時に相談することができ、安心して暮らせるための支援を受けられます。</p>
--	---

基本事業の成果状況と評価

指標	高年齢者の人権が侵害された件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値												
	【高齢者支援課】	件	4	2	4	0	(横ばい)												
	下がるが良い指標	(件)					対前年度												
評価	<p>(状況) 高齢者の人権が侵害された件数は4件で、前年度と比べて2件増加し、悪化しています。</p> <p>(原因) 地域住民、民生児童委員、関係機関等との連携強化を図ってきたことにより、高齢者虐待の発見・相談・通報件数が増加したことが要因と思われます。</p>	<table border="1" style="display: none;"> <caption>実績値の推移</caption> <tr><th>年度</th><th>実績値 (件)</th></tr> <tr><td>基準</td><td>4</td></tr> <tr><td>R04</td><td>3</td></tr> <tr><td>R05</td><td>2</td></tr> <tr><td>R06</td><td>4</td></tr> <tr><td>R07</td><td>0</td></tr> </table>					年度	実績値 (件)	基準	4	R04	3	R05	2	R06	4	R07	0	目標達成度
年度	実績値 (件)																		
基準	4																		
R04	3																		
R05	2																		
R06	4																		
R07	0																		
							(中)												

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
11,486	11,174

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-02 介護予防・健康づくり・生きがいくりの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者	基本事業がめざす姿 自発的な社会活動や各種事業を通じて、介護予防・健康づくりに取り組み、生きがいを持って生活しています。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	要支援認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	歳	81.8	81.5	82.5	82.3	☀️ (向上)
評価	(状況) 要支援認定者の新規該当者の平均年齢は82.5歳で、昨年度と比べて1.0歳延伸し、順調です。 (原因) 介護予防教室等において、介護予防に関する知識や技術の普及・啓発を実施してきた成果が表れたものと思われま						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	🏠 (達成)		

指標	要介護認定者の新規該当者の平均年齢	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	歳	82.4	82.2	84.0	83.3	☀️ (向上)
評価	(状況) 要介護認定者の新規該当者の平均年齢は84.0歳で、昨年度と比べて1.8歳延伸し、順調です。 (原因) 介護予防教室等において、介護予防に関する知識や技術の普及・啓発を実施してきた成果が表れたものと思われま						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	🏠 (達成)		

指標	生きがいをもっている高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	%	55.2	67.0	58.8	60.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 生きがいをもっている高齢者の割合は58.8%で、昨年度と比べて8.2ポイント減少しています。目標値には届きませんが、おおそ5人に3人の高齢者は生きがいをもって生活しており、順調に推移していると考えられます。 (原因) 老人クラブの休会等が減少の一因であると考えられますが、アンケートの結果、趣味・娯楽、仕事、健康・スポーツ活動及び地域活動に生きがいを感じているとの回答が多く、それらの活動を通じて地域づくりや仲間づくりができているものと考えます。						☁️ (横ばい)
		対前年度	☔️ (低下)	目標達成度	🏠 (高)		

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
101,646	92,031

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-03 地域における支えあい・連携の強化

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 高齢者、地域住民、医療・介護従業者	<b>基本事業がめざす姿</b> 地域における支え合いや連携を強化することで、高齢者が住み慣れた地域で生活していくことができます。
-------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	相談相手がない高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【高齢者支援課】	%	10.1	12.0	16.5	8.0	☔ (低下)
評価	(状況) 相談相手がない高齢者の割合は16.5%で、昨年度と比べて4.5ポイント増加しましたが、統計誤差の範囲といえ、横ばい状態で、目標を達成していません。 (原因) 家族や友人、近隣住民以外にも、地域に相談できる人や機関があることを知らない高齢者がいることが考えられ、引き続き広く周知する必要があると思われます。						☁ (横ばい) 目標達成度 ■ (低)
指標	第2層協議体の設置数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標 【高齢者支援課】	協議体	0	2	3	4	☀ (向上)
評価	(状況) 第2層協議体の設置数は3協議体で昨年度と比べて1協議体増加し、順調です。 (原因) 旧5か町村に毎年1か所ずつ設置し、地域の支え合いや助け合いの活動を推進していく計画としています。						☀ (向上) 目標達成度 ■ (高)
指標	他の事業所との連携ができていると答える医療・介護従事者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標 【高齢者支援課】	%	72.3	69.3	-	73.0	比較不可
評価	統計年次の関係で取得できない年次であり、現状値がないため、評価コメントを記載いたしません。						比較不可 目標達成度 ■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
6,100	5,132

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-02 高齢者福祉の充実**

**基本事業 01-02-04 住み慣れた地域で安心して暮らすための体制整備**

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b>	<b>基本事業がめざす姿</b>
高齢者、家族	在宅において日常生活の支援や住まいの支援を受けることで高齢者が安心して暮らすことができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	高年齢福祉サービスの利用者数 上がると良い指標 【高齢者支援課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		人	1,367	2,265	2,319	1,400	(向上) (横ばい) (達成)
評価	(状況) 高齢者福祉サービスの利用者数は2,319人で、総合計画基準値より952人増加し目標値を達成しています。タクシー助成2事業、免許返納支援事業等の利用者数は増加しました。その他の事業については、横ばいまたは減少傾向にあります。積極的な周知に努めます。 (原因) 特にタクシー助成2事業、免許返納支援事業について周知が図れたことが要因と考えます。						(向上) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
137,647	144,055

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-02 高齢者福祉の充実

基本事業 01-02-05 介護保険サービスの充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 高齢者、介護保険事業者	基本事業がめざす姿 介護や支援が必要になっても、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができます。
------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	介護保険サービス利用者のうち施設サービスの利用割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【高齢者支援課】	%	21.4	22.0	22.0	21.0	☔ (低下)
評価	(状況) 介護保険サービス利用者のうち施設サービスの利用割合は22.0%で、総合計画基準値より0.6ポイント増加し、停滞しています。 (原因) 24時間体制で介護が受けられる安心感から、利用者が増加しているものと考えられます。						☔ (低下)
		(状況) 介護保険サービス利用者のうち施設サービスの利用割合は22.0%で、総合計画基準値より0.6ポイント増加し、停滞しています。 (原因) 24時間体制で介護が受けられる安心感から、利用者が増加しているものと考えられます。	(横ばい) 目標達成度 ■■■ (低)				
指標	町外施設に入所している高齢者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【高齢者支援課】	%	0.3	0.3	0.3	0.2	☁ (横ばい)
評価	(状況) 町外施設に入所している高齢者の割合は0.3%で、総合計画基準値と変化なしです。 (原因) 介護給付の適正化を図っているところですが、高齢化率が増加していることから介護サービスの需要は高く、町内の限られた福祉資源はすでに活用されているためと考えられます。						☁ (横ばい)
		(横ばい) 目標達成度 ■■■ (中)					
指標	町内介護保険サービス事業所及び施設に勤務する介護従事者等の人数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【高齢者支援課】	人	707	699	670	700	☔ (低下)
評価	(状況) 町内介護保険サービス事業所及び施設に勤務する介護従事者等人数は670人で、総合計画基準値より37人減少し、低下しています。 (原因) 介護サービスのニーズが高まっていますが、事業所の閉鎖や離職者数に対して就職者数が少なく、人材不足が要因と考えられます。						☔ (低下)
		(低下) 目標達成度 ■■■ (低)					

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
3,490,858	3,575,346

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-02 高齢者福祉の充実**

**基本事業 01-02-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
319,063	317,180

## 政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策を実現する手段

#### 基本事業 01-03-01 児童発達支援の充実

#### 基本事業 01-03-02 自立支援及び地域生活支援の推進

#### 基本事業 01-03-03 社会参加の促進と就労支援

#### 基本事業 01-03-04 障がい者の人権尊重

#### 基本事業 01-03-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

2023年4月1日に「こどもまんなか社会」の実現に向けて、こども家庭庁が発足し、障がい児支援については、こども施策全体の中でより一層の推進が図られることとなりました。

また、国は2024年4月の改正児童福祉法の施行を踏まえ、児童発達支援センターが地域における障がい児支援の中核的役割を担う機関として、幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能、地域の障がい児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーション機能、地域のインクルージョンの推進、地域の障がい児の発達支援の入口としての相談機能の4つを果たすことができるよう、児童発達支援ガイドラインや障がい児通所支援体制整備の手引き等を作成し、地域における障がい児支援体制整備を推進しています。

愛南町は、支援機関で連携を図りながら子どもや保護者に関わっていますが、関わり切れていないケースがあることから児童発達支援センターのような地域の中核的役割を担う機関を整備し、包括的に関わっていく体制を整備を行う必要があります。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.99 (2.95)	2.96 (2.92)	2.98 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.65 (3.67)	3.70 (3.72)	3.69 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
障がい者(児)	障がい者(児)が町内で自ら望む地域生活をいきいきと営むことができます。

施策の成果状況と評価

指標	町内で生活をしている障がい者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 <span style="float: right;">【保健福祉課】</span>	%	95.2	95.7	95.2	95.0	(横ばい) 対前年度
評価	(状況) 令和6年度は95.2%と昨年度を0.5ポイント下回っていますが、目標は達成しています。 (原因) 施設入所等により町外生活者が55人から59人に増加したことが要因として考えられます。						(横ばい) 目標達成度 (達成)

施策のコスト(千円)

R05	R06
865,936	917,999

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実**

**基本事業 01-03-01 児童発達支援の充実**

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 発達が気になる子、障がい者(児)とその家族	<b>基本事業がめざす姿</b> 障がい児支援を、健診・相談から子育て支援の一環としてとらえ、ライフステージに沿って切れ目のない支援が得られ、家族は安心して子育てできます。
---	---

基本事業の成果状況と評価

指標	各種児童発達支援サービスを受けている子ども数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 <span style="float: right;">【保健福祉課】</span>	人	89	93	99	90	
評価	(状況)令和6年度の療育利用者は99人で前年度比較して6人増加しています。 (原因)乳幼児健診や保育所で発達が気になる子どもの早期発見や医療機関などで療育が必要と判断された子どもが、適切に療育につながっていることが要因として考えられます。	(人)					比較不可 対前年度
							比較不可 目標達成度 (達成)

指標	適切なサービスを受けるために相談支援を利用している子ども数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 <span style="float: right;">【保健福祉課】</span>	人	76	93	99	80	
評価	(状況)令和6年度の相談支援を利用している子どもの数は、99人と前年度と比較して6人増加しています。 (原因)支援が必要な子どもが適切に相談支援につながる体制が確立されていることが要因として考えられます。	(人)					比較不可 対前年度
							比較不可 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
96,639	98,227

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-02 自立支援及び地域生活支援の推進

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 障がい者(児)	<b>基本事業がめざす姿</b> 障がい種別に応じたサービスを受けることにより、住み慣れた地域で生活を送ることができます。
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	自立支援給付を受けている人数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 <span style="float: right;">【保健福祉課】</span>	人	477	394	406	500	比較不可
評価	(状況)令和6年度の自立支援給付利用者は、406人で前年度から12人増加しました。 (原因)相談支援の充実により、本人の意向に沿ってサービス利用につながっていることが要因として考えられます。	(人)					比較不可 対前年度 比較不可 目標達成度 ■■■ (高)

指標	地域生活支援事業の利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 <span style="float: right;">【保健福祉課】</span>	人	520	391	340	530	比較不可
評価	(状況)令和6年度の利用者実人数は340人で前年度と比較すると、51人減少しており、基準値と比較しても低調です。 (原因)日常生活用具給付事業の利用者数と相談支援事業の利用者数が減少しています。どちらの事業も新規の対象者はあるものの、自然減や対象児童数の減少によるものと考えられます。	(人)					比較不可 対前年度 比較不可 目標達成度 ■■■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
761,214	813,675

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実

基本事業 01-03-03 社会参加の促進と就労支援

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 障がい者(児)、事業者、町民	<b>基本事業がめざす姿</b> 障がい者(児)が社会参加しやすい環境が整い、地域社会の一員であるという意識が醸成します。
----------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町内の就労支援事業所利用率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	87.8	73.3	69.1	88.0	☔ (低下)
評価	(状況) 令和6年度の町内での就労継続支援事業所利用率は69.1%で、前年に比べて4.2ポイント減少しています。 (原因) 就労継続支援事業所の利用希望者が、町内に希望する仕事がなく、町外の事業所を利用する人が増えたことが主な要因として考えられます。						☔ (低下)
							☔ (低下)
							■ (中)
							☀ (向上)
							☀ (向上)
							☀ (達成)

指標	障がい者の日中活動の場を提供する事業所等の数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	箇所	10	10	12	12	☀ (向上)
評価	(状況) 令和6年度は12か所で目標を達成しています。 (原因) 日中活動系の事業所は増えていませんが、保護者団体が休日における日中活動の場を作ったことが要因です。						☀ (向上)
							☀ (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
707	707

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実**

**基本事業 01-03-04 障がい者の人権尊重**

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b>	<b>基本事業がめざす姿</b>
障がい者(児)、事業者、町民	地域で、安全に暮らすために人権が尊重されています。

基本事業の成果状況と評価

指標	障がい者に関する権利が損なわれた件数(子ども、高齢者以外)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	下がると良い指標 【保健福祉課】 (状況) 障がい者に関する権利が損なわれた件数は、0件です。 (原因) 権利が損なわれた件数は0件でしたが、引き続き広報などの媒体を活用して障がいのある人の権利擁護に関する周知をしていきます。	件	0	0	0	0

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
0	0

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-03 障がい者(児)福祉の充実**

**基本事業 01-03-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
7,376	5,390

## 政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

#### 施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策を実現する手段

基本事業 01-04-01 生活習慣病の予防

基本事業 01-04-02 早期発見・早期治療の推進

基本事業 01-04-03 こころの健康づくり

基本事業 01-04-04 感染症予防対策の推進

基本事業 01-04-05 医療保険制度の健全運営

基本事業 01-04-06 福祉医療費助成制度の充実

基本事業 01-04-07 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業 01-04-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

令和6（2024）年4月1日現在の高齢化率は47.0%と前年度と比較して0.7ポイント増加し、高齢化に伴う疾患の慢性化、長期化、重症化等の影響で、医療ニーズはますます増大しています。

一人当たりの年間保険給付費は医療費の高額化や被保険者の高齢化等により増加傾向にあることから、引き続き、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりを推進し、生活習慣病の発症予防・重症化予防を行うことで限りある医療資源を守ることが必要です。

医療提供体制を確保するために、県立南宇和病院、愛媛大学、愛南町が連携し、継続して医師確保、看護師確保の取組を行っています。令和3年度から実施している愛南町での生活への不安払拭や地域への定着を目的とした赴任医師に対する生活応援事業を継続して実施するとともに、愛南町の地域医療や魅力について紹介したプロモーション動画を医学生や臨床研修医、県内外の医師等に対して発信しています。また、地域医療や地域のよさにふれることを目的とした医療にふれる会を継続して開催しています。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.59 (2.95)	2.48 (2.92)	2.51 (2.95)	--- (---)	
重要度	4.12 (3.67)	4.18 (3.72)	4.10 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>健康な暮らしができる町民が増えます。 町民が安心して医療を受けることができます。</p>
------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	65歳以上で介護認定を受けていない町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	79.2	79.5	79.0	80.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 65歳以上で介護認定を受けていない町民の割合は79.0%で、前年度より0.5ポイント低下し、横ばい状態です。 (原因) 生活習慣病の重症化予防や特定保健指導を実施して壮年期からの健康づくりに取り組んでいることが影響していると考えられます。</p>					対前年度	
		(横ばい)	目標達成度	■■■ (高)			

指標	自分で健康と感じている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	78.4	73.5	77.8	80.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 自分で健康と感じている町民の割合は77.8%と、前年度、前々年度と比較して上昇しており、順調です。 (原因) パンデミックを機に、集団活動や交流の場が減少していましたが、元の生活様式に戻りつつあることで、主観的健康観が回復傾向にあるためと考えられます。</p>					対前年度	
		(向上)	目標達成度	■■■ (高)			

指標	65歳未満の死亡率 (65歳未満人口千対)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【保健福祉課】	-	2.2	3.0	2.3	1.8	(横ばい)
評価	<p>(状況) 65歳未満の死亡率は2.3と、前年度より0.7ポイント低下し、順調です。 (原因) 生活習慣病の重症化予防の取組や、若年層への健康教育等により、心身の健康が保たれているためと考えられます。</p>					対前年度	
		(向上)	目標達成度	■■■ (高)			

指標	町内の医療体制に対する満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	8.9	11.2	11.9	40.0	(向上)
評価	<p>(状況) 満足度は11.9%と昨年度と比較して0.7ポイント向上していますが、目標には到達していません。 (原因) 県立南宇和病院の常勤医師不足が続いており、救急医療や専門的な治療を町外の医療機関に頼らざるを得ない状況があることが要因だと考えられます。町内の医療機関や大学病院等の支援を受け、救急医療体制や地域医療を維持していくことが必要だと考えます。 成果指標の値である住民アンケート回答割合の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値の修正を行っています。</p>					対前年度	
		(横ばい)	目標達成度	■■ (低)			

施策のコスト (千円)

R05	R06
4,727,406	4,765,505

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-01 生活習慣病の予防

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民	自分に合った健康づくりの方法で健康管理ができます。

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
喫煙している町民の割合 【保健福祉課】	%	12.3	13.3	12.0	10.0	(横ばい)
下がると良い指標	(%)					☁️ 対前年度 ☁️ 目標達成度 ■■ (高)
評価	<p>(状況) 喫煙している町民の割合は12.0%で、前年度より1.3ポイント減少しており、順調です。 (原因) 健診受診者や児童・生徒に対し、たばこの害や禁煙についての周知を行っていることが要因と考えられます。</p>					

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している町民の割合 【保健福祉課】	%	10.9	8.4	6.9	7.0	(向上)
下がると良い指標	(%)					☀️ 対前年度 ☁️ 目標達成度 🏰 (達成)
評価	<p>(状況) 生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている町民の割合は6.9%で、前年度より1.5ポイント減少し、目標に達しています。 (原因) 年齢を問わず、健康教育の場で、適正飲酒について周知を行ったことが要因と考えられます。</p>					

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
20歳の時の体重から10kg以上増加している町民の割合 【保健福祉課】	%	40.4	38.3	38.6	30.0	(横ばい)
下がると良い指標	(%)					☁️ 対前年度 ☁️ 目標達成度 ■■ (高)
評価	<p>(状況) 20歳の時の体重から10kg以上増加している町民の割合は38.6%で、前年度より0.3ポイント増加しており、横ばい状態です。 (原因) 適正体重の維持・管理について、町民への啓発・指導が不十分であるためと考えられます。</p>					

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している町民の割合 【保健福祉課】	%	36.3	39.6	42.3	40.0	(向上)
上がると良い指標	(%)					☀️ 対前年度 ☀️ 目標達成度 🏰 (達成)
評価	<p>(状況) 1日30分以上の軽く汗をかく運動を週2日以上、1年以上実施している人の割合は42.3%で、前年度より2.7ポイント上昇し、目標に達しています。 (原因) 壮年期からの健康づくりの目標として、手軽にできる運動の啓発を行っていることが要因と考えられます。</p>					

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
1,205	1,080

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-02 早期発見・早期治療の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 健（検）診を定期的に受診し、病気が早期に発見され、早期に治療を行います。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	年1回健診を受けている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	69.0	73.8	71.9	73.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 年1回健診を受けている町民の割合は71.9%で、前年度より1.9ポイント減少しましたが、町民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲といえ、横ばい状態です。 (原因) 県や健診機関と連動した受診勧奨を行っていることや、web予約・健診予約ダイヤルを導入したことで健診の受けやすさにつながったことが要因と考えられます。						☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
指標	年1回がん検診を受けている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	49.6	54.3	55.9	55.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 年1回がん検診を受けている町民の割合は55.9%で、前年度より1.6ポイント増加し目標値に達しています。 (原因) 全世帯への受診勧奨通知や、検診を無償で実施していることが要因と考えられます。						☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
56,435	46,971

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-03 こころの健康づくり

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 こころの悩みを相談したり、軽減することでこころの健康を保ちます。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
ストレスを解消する方法をもっている町民の割合 上がると良い指標 【保健福祉課】	%	69.8	65.3	72.5	70.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
(状況) ストレスを解消する方法をもっている町民の割合は、72.5%と前年度と比較して7.2ポイント増加し、目標を達成しています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症による行動制限もなくなり、人との交流も増え、ストレスが軽減されてきたことなどが要因と考えられます。						
人口10万人あたり自殺死亡率 下がると良い指標 【保健福祉課】	-	14.3	24.9	25.5	12.8	(低下) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)
(状況) 人口10万人あたり自殺死亡率は25.5と前年度と比較して0.6ポイント増加しており、目標を達成していません。 (原因) 前年度と比較して自殺者数は横ばいですが、人口が減少しているため、自殺死亡率は増加しています。自殺の背景には、こころの問題だけでなく、生活困窮、過労、介護疲れ、孤立等の様々な要因が関連していると考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
324	317

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-04 感染症予防対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 感染症の予防・啓発に努め、発生・まん延を防ぎます。
---------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	各種予防接種の接種率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	70.6	65.9	60.9	72.0	☂ (低下)
評価	(状況) 子どもの麻疹風しん(2期)と高齢者のインフルエンザの接種率は60.9%で、昨年度と比較して5.0ポイント低下しており、目標を達成していません。 (原因) 麻疹風しん(2期)の接種率は横ばい、高齢者インフルエンザの接種率が低下しています。新型コロナとインフルエンザの同時流行に対する危機感が薄れたことによるものと考えられます。						☂ (低下) 対前年度
							☂ (低下) 目標達成度
							■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
124,625	86,421

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-05 医療保険制度の健全運営

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 国民健康保険被保険者、後期高齢者医療被保険者	<b>基本事業がめざす姿</b> 医療保険制度を健全に運営します。
--	--------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	国民健康保険の一人当たりの年間保険給付費	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【町民課】	円	336,188	373,528	399,532	336,000	☔ (低下)
評価	(状況) 国民健康保険の一人当たりの年間保険給付費は399,532円で、前年度より26,004円増加し、また、目標値より63,532円高く、目標を達成していません。 (原因) 被保険者数は、人口減少や高齢化、被用者保険の適用拡大により減少していますが、一方で、生活習慣病などの治療長期化、入院を要する治療、医療の高度化による医療費の高額化と被保険者の高齢化による影響が考えられます。						☔ (低下)
		対前年度	☔ (低下)	目標達成度	☐ (高)		

指標	国民健康保険税の収納率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【町民課】	%	97.22	98.27	98.58	98.00	☀ (向上)
評価	(状況) 国民健康保険税の収納率は98.58%で、前年度より0.31ポイント増加し、また、目標を達成しています。 (原因) 被保険者への丁寧な制度説明と未納者に対する滞納処分強化の取り組みによるものと考えられます。						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)	目標達成度	☑ (達成)		

指標	後期高齢者医療の一人当たりの年間保険給付費	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【町民課】	円	712,750	706,324	719,344	712,000	☔ (低下)
評価	(状況) 後期高齢者医療の一人当たりの年間保険給付費は719,344円で、前年度より13,020円増加し、また、目標値より7,344円高く、目標を達成していません。 (原因) 被保険者の増加及び、生活習慣病などの治療長期化、入院を要する治療、医療の高度化による治療費の高額化の影響が考えられます。						☔ (低下)
		対前年度	☔ (低下)	目標達成度	☐ (高)		

指標	後期高齢者医療保険料の収納率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【町民課】	%	99.85	99.93	99.77	99.86	☔ (低下)
評価	(状況) 後期高齢者医療保険料の収納率は99.77%で、前年度より0.16ポイント低下し、目標を達成していません。 (原因) 被保険者への丁寧な説明と未納者に対する滞納処分の強化等により高い数値を維持できていますが、75歳到達の資格取得者が前年と比較し増加したことにより、普通徴収者が増えたことなどの影響が考えられます。						☔ (低下)
		対前年度	☔ (低下)	目標達成度	☐ (高)		

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
3,977,669	4,026,428

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-04 健康・医療体制の充実**

**基本事業 01-04-06 福祉医療費助成制度の充実**

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 子ども、障がい者、ひとり親家庭	<b>基本事業がめざす姿</b> 社会的・経済的に弱い立場にある方の医療費に係る経済的負担を軽減します。
-----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	福祉医療費年間助成額	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		その他の指標 <span style="float: right;">【町民課】</span>	千円	119,580	131,761	122,328	125,000
評価	(状況)令和6年度の福祉医療費年間助成額は122,328千円で、前年より9,433千円減少しましたが、対象者へ適正に医療費を助成しています。 (原因)人口減少に伴い受給者数、医療費助成額とも減少傾向にありますが、医療の高度・高額化により一人当たりの助成額は増加傾向にあります。						比較不可

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
133,455	123,966

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-04 健康・医療体制の充実

基本事業 01-04-07 安心して医療を受けられる体制の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、医療機関	基本事業がめざす姿 一次・二次救急医療体制の確保と町内医療機関の連携により、地域医療の充実を図ります。
--------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	一次救急医療に従事する常勤医師数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値												
	上がると良い指標 【保健福祉課】	人	12	13	14	13	(横ばい)												
評価	(状況) 一次救急医療に従事する常勤医師数は14人で、目標を達成しています。 (原因) 新たに一か所開院したため、医師が1名増加しています。開業医の協力を得て、一次救急医療体制を維持できています	(人)	<table border="1"> <caption>一次救急医療に従事する常勤医師数 (人)</caption> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準</td><td>12</td></tr> <tr><td>R04</td><td>12</td></tr> <tr><td>R05</td><td>13</td></tr> <tr><td>R06</td><td>14</td></tr> <tr><td>R07</td><td>13</td></tr> </table>				項目	値	基準	12	R04	12	R05	13	R06	14	R07	13	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
項目	値																		
基準	12																		
R04	12																		
R05	13																		
R06	14																		
R07	13																		
指標	二次救急医療に従事する常勤医師数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値												
	上がると良い指標 【保健福祉課】	人	10	10	10	10	(横ばい)												
評価	(状況) 二次救急医療に従事する常勤医師数が10人と維持しており、目標を達成しています。 (原因) 南宇和郡医師会等の協力を得て、二次救急医療を維持することができます。	(人)	<table border="1"> <caption>二次救急医療に従事する常勤医師数 (人)</caption> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準</td><td>10</td></tr> <tr><td>R04</td><td>9</td></tr> <tr><td>R05</td><td>10</td></tr> <tr><td>R06</td><td>10</td></tr> <tr><td>R07</td><td>10</td></tr> </table>				項目	値	基準	10	R04	9	R05	10	R06	10	R07	10	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
項目	値																		
基準	10																		
R04	9																		
R05	10																		
R06	10																		
R07	10																		
指標	かかりつけ医をもっている人の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値												
	上がると良い指標 【保健福祉課】	%	62.0	65.7	67.5	70.0	(横ばい)												
評価	(状況) かかりつけ医をもっている人の割合は67.5%と前年度と比較して1.8ポイント増加していますが、目標を達成していません。 (原因) 健診や健康教育時に、適正受診を勧め、かかりつけ医やかかりつけ薬局をもつことについて周知を行ったことが要因だと考えられます。	(%)	<table border="1"> <caption>かかりつけ医をもっている人の割合 (%)</caption> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> <tr><td>基準</td><td>62.0</td></tr> <tr><td>R04</td><td>63.0</td></tr> <tr><td>R05</td><td>65.7</td></tr> <tr><td>R06</td><td>67.5</td></tr> <tr><td>R07</td><td>70.0</td></tr> </table>				項目	値	基準	62.0	R04	63.0	R05	65.7	R06	67.5	R07	70.0	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (高)
項目	値																		
基準	62.0																		
R04	63.0																		
R05	65.7																		
R06	67.5																		
R07	70.0																		

基本事業のコスト (千円)

R05	R06
290,681	303,915

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-04 健康・医療体制の充実**

**基本事業 01-04-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
143,012	176,407

## 政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 01-05 地域福祉の推進

施策を実現する手段

**基本事業** 01-05-01 総合相談窓口による支援

**基本事業** 01-05-02 地域福祉活動への参画推進

**基本事業** 01-05-03 社会福祉制度の円滑運営

**基本事業** 01-05-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

福祉サービスの充実や生活基盤となる施設整備を進めるとともに、地域福祉を担う民生児童委員や社会福祉協議会などが様々な地域福祉活動に取り組んでいますが、地域のつながりの希薄化や担い手の高齢化が深刻化しています。今後は、地域で自立した生活を望む町民からの声に応えるなど、地域福祉力の更なる強化や多様化する福祉ニーズへ対応する「地域共生社会の実現」に向けた体制づくりが求められています。

地域をとりまく福祉の課題が複雑・多様化している状況を踏まえ、制度や分野、支え手と受け手の関係を超えて、誰もが役割を持ち、活躍ができる「地域共生社会」を目指すため、令和3年度からの6年間を計画期間とする「第4次愛南町地域福祉計画」を策定しています。計画は、住民、地域、関係団体、行政が協働し、地域福祉活動の推進と社会福祉制度の円滑運営を目指してより良い方策を見出していくことを基本的な考え方としています。

また、令和6年度の地域福祉活動は横ばい傾向にあります。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.96 (2.95)	2.90 (2.92)	2.94 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.67 (3.67)	3.73 (3.72)	3.70 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-05 地域福祉の推進**

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	住み慣れた地域で、お互いに支えあいながら安心して暮らすことができます。

施策の成果状況と評価

指標	地域で支えあっていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 <span style="float: right;">【保健福祉課】</span>	%	67.8	65.3	68.0	70.0	(横ばい)
評価	<p>(状況) 令和6年度は68.0%で、前年度より2.7ポイント増加しましたが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であり、横ばい状態(現状維持)です。</p> <p>(原因) 各地域で地域共生社会の実現に向け、世代や分野を問わず誰もが気軽に集える住民主体の拠点づくりを社会福祉協議会、行政協力員、民生児童委員、ボランティアの地域住民が連携して取り組んでいることが、高い割合を維持できている原因と考えます。</p>						対前年度
							(横ばい)
							目標達成度
							■■■ (高)

施策のコスト(千円)

R05	R06
602,268	527,683

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-05 地域福祉の推進**

**基本事業 01-05-01 総合相談窓口による支援**

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b>	<b>基本事業がめざす姿</b>
町民	いつでもどこでも誰でも相談ができ、適切な支援を受けられます。

基本事業の成果状況と評価

指標	総合相談窓口での相談・支援件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	その他の指標 <span style="float: right;">【保健福祉課】</span> (状況) 令和6年度は28件で、前年度に比べ3件増加しています。 (原因) 物価高騰などの様々な要因による不安定な社会情勢などにより、生活が困窮し、何らかの支援を希望する人が継続的にいると考えられます。	件	15	25	28	15

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
17,786	23,161

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-05 地域福祉の推進**

**基本事業 01-05-02 地域福祉活動への参画推進**

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b>	<b>基本事業がめざす姿</b>
町民	地域住民が福祉活動に参画しやすい環境を整備することで、地域福祉活動を活性化します。

基本事業の成果状況と評価

指標	民生児童委員の年間延べ相談・支援件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 <span style="float: right;">【保健福祉課】</span>	件	2,292	2,198	2,432	3,200	(横ばい)
評価	(状況) 令和6年度は2,432件で、前年度と比べて234件増加しています。 (原因) 令和6年度は高齢者に関する相談件数は昨年並みでしたが、子どもに関する相談件数等が増加したことによるものと考えられます。						対前年度
		(高)  目標達成度 (向上)					

指標	福祉分野のボランティア参加者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 <span style="float: right;">【保健福祉課】</span>	人	770	1,199	951	2,400	(向上)
評価	(状況) 令和6年度は951人で、前年度と比べて248人減少しています。 (原因) ボランティア参加者数はやや減少していますが、横ばい状況であると考えられます。						対前年度
		(低)  目標達成度 (横ばい)					

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
38,056	37,895

政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり

施策 01-05 地域福祉の推進

基本事業 01-05-03 社会福祉制度の円滑運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 社会福祉制度を円滑に運営します。
---------------	-------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	公的な社会福祉制度に基づく延べ支援者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	【保健福祉課】	人	6	8,856	4,295	3,700	
評価	(状況) 令和6年度は4,295人で、前年度と比べて4,561人減少しました。 (原因) 令和6年度は物価高騰重点給付金の給付回数が増えたことが要因です。					比較不可 対前年度  比較不可 目標達成度 (達成)	

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
470,260	374,418

**政策 01 支えあい健やかに暮らせるまちづくり**

**施策 01-05 地域福祉の推進**

**基本事業 01-05-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
76,166	92,209

## 政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

### 施策の構成

施策を実現する手段

### 施策 02-01 循環型社会の形成

施策を実現する手段

#### 基本事業 02-01-01 生活環境の保全

#### 基本事業 02-01-02 再生可能エネルギーの推進

#### 基本事業 02-01-03 生活排水の適正処理

#### 基本事業 02-01-04 4Rの推進

#### 基本事業 02-01-05 ごみ処理体制の適正化

#### 基本事業 02-01-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

今日の環境問題は、身近な生活環境や自然環境に加えて、地球温暖化の影響や生物多様性の危機、更には、東日本大震災を契機とした再生可能エネルギーの活用など新たな局面を迎えています。このような状況を踏まえ、近年の環境をめぐる社会の動き等に対応するため、第2次愛南町環境基本計画を策定し、本計画に基づいて「環境がすべての生命の生存基盤であり、限りあるものであること」を共通認識として、住民、事業者及び行政が一層連携を深め、自然と共生する循環型社会の実現に向けた取組を進めていく必要があります。

特に集落排水処理施設による下水道事業やPFI手法での町営浄化槽整備推進事業の促進により、水環境の改善や汚水処理人口普及率の向上を図るとともに、ごみ減量化やリサイクルなどの取組を強化し、廃棄物処理の改善を図ります。さらに、新エネルギー利用機器の導入促進、再生可能エネルギーの活用と省エネルギー対策に対する住民の理解を深める取組を行うことによって更なる行動変容を促し、自然環境負荷が少ない持続可能な社会の形成を目指します。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.93 (2.95)	2.89 (2.92)	2.90 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.51 (3.67)	3.57 (3.72)	3.57 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民、事業者、行政、愛南町の自然、廃棄物</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>環境負荷の少ない生活を実践し、廃棄物の排出を抑制することにより、自然環境にやさしいまちになります。</p>
--	---

施策の成果状況と評価

<p>指標</p> <p>最終処分量</p> <p>下がると良い指標 【環境衛生課】</p>	<p>単位</p> <p>基準値</p> <p>実績値 (R05)</p> <p>実績値 (R06)</p> <p>目標値 (R07)</p>	<p>対基準値</p> <p>(向上)</p> <p>対前年度</p> <p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(達成)</p>
<p>評価</p> <p>(状況) 前年度より643 t 減少し、目標値に到達しています。 (原因) 人口減少に伴い、ごみの排出量が減少した結果、愛南町から排出されるごみの最終処分量が減少したと考えられます。</p>	<p>t</p> <p>1,153</p> <p>989</p> <p>346</p> <p>1,107</p>	

<p>指標</p> <p>愛南町のCO2排出量 (産業、家庭含む)</p> <p>下がると良い指標 【環境衛生課】</p>	<p>単位</p> <p>基準値</p> <p>実績値 (R05)</p> <p>実績値 (R06)</p> <p>目標値 (R07)</p>	<p>対基準値</p> <p>(向上)</p> <p>対前年度</p> <p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(高)</p>
<p>評価</p> <p>(状況) 令和7年度に公表された令和4年度の排出量は、122千t-CO2で、前年度に比べて15千t-CO2減少しました。 (原因) 令和4年度の部門別CO2排出量の実績から産業部門や家庭部門での削減が見て取れました。これは、環境保全意識の高揚に伴う、省エネ機器の導入や節電等の行動変容によるものと考えられます。</p>	<p>1,000tCO</p> <p>135</p> <p>137</p> <p>122</p> <p>120</p>	

<p>指標</p> <p>公共水域の水質の基準達成率</p> <p>上がると良い指標 【環境衛生課】</p>	<p>単位</p> <p>基準値</p> <p>実績値 (R05)</p> <p>実績値 (R06)</p> <p>目標値 (R07)</p>	<p>対基準値</p> <p>(横ばい)</p> <p>対前年度</p> <p>(向上)</p> <p>目標達成度</p> <p>(低)</p>
<p>評価</p> <p>(状況) 公共水域の水質基準の達成率は81.3%で、前年度と比較して6.3ポイント上昇しました。 (原因) 水質基準を達成できていない市街地の2水路では全窒素や全燐の項目が超過しており、合併浄化槽への転換の遅れや市街地の住宅から排出される生活雑排水の影響が大きいと考えられます。</p>	<p>(%)</p> <p>81.3</p> <p>75.0</p> <p>81.3</p> <p>100</p>	

施策のコスト (千円)

R05	R06
970,347	569,999

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-01 生活環境の保全

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業者、愛南町の自然</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>生活環境が適正に管理され、安全で快適に暮らせます。</p>
-------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	自然や住居の周囲が適正な管理がされてきていると感じている町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値												
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	70.5	72.8	72.7	75	☀️ (向上)												
評価	<p>(状況) アンケート結果は72.7%で、前年度と比較して0.1ポイント低下しましたが、町民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲です。</p> <p>(原因) 啓発活動などによって住民の環境保全に対する関心は高いものの、そのことが住民の美化活動や不法投棄の発生抑制といった行動には結びついていないと考えられます。また、住民の7割が現状を「適正に管理されている」と感じており、現状維持への満足意識が強いこともアンケート結果が上がりにくい一因となっている可能性があります。</p>	<table border="1"> <caption>実績値データ</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>70.5</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>72.8</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>72.7</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>72.7</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>75.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	基準	70.5	R04	72.8	R05	72.7	R06	72.7	R07	75.0	☁️ (横ばい)
年度	実績値 (%)																		
基準	70.5																		
R04	72.8																		
R05	72.7																		
R06	72.7																		
R07	75.0																		
							■ (低)												

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
37,801	14,114

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-02 再生可能エネルギーの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、事業者	住民の環境意識が高揚し、エネルギーの有効活用、再生可能エネルギーの利用が増え、脱炭素が進んでいます。

基本事業の成果状況と評価

指標	再生可能エネルギー設備の導入容量	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値												
	上がると良い指標 <span style="float: right;">【環境衛生課】</span>	kW	39,895	44,639	44,968	75,000	☀️ (向上)												
評価	<p>(状況) 令和7年度に公表された令和5年度の太陽光発電設備等の再生可能エネルギー導入設備容量は、前年度に比べて329kw増加しましたが、導入量は鈍化しており、横ばい状態です。</p> <p>(原因) 化石燃料価格の高騰に伴う光熱費上昇を受け、家庭では町の補助事業を活用した太陽光発電システムの導入が一定程度進んでいます。しかし、産業用発電においては、売電価格の低下や固定価格買取制度の改正が太陽光発電設備の新設を抑制する要因となっており、全体として太陽光発電設備の新規導入量が減速傾向にあると考えられます。</p>	<table border="1" style="display: none;"> <caption>再生可能エネルギー設備の導入容量 (kW)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>基準</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> <th>R07</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>導入容量 (kW)</td> <td>39,895</td> <td>44,639</td> <td>44,968</td> <td>44,968</td> <td>75,000</td> </tr> </tbody> </table>					年度	基準	R04	R05	R06	R07	導入容量 (kW)	39,895	44,639	44,968	44,968	75,000	☁️ (横ばい)
		年度	基準	R04	R05	R06	R07												
導入容量 (kW)	39,895	44,639	44,968	44,968	75,000														
						■ (低)													

基本事業のコスト (千円)

R05	R06
14,583	10,688

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-03 生活排水の適正処理

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 町民、行政、公共用水域	<b>基本事業がめざす姿</b> 公共用水域の水質を保全し、衛生的な水環境を維持します。
-------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
<b>汚水処理人口普及率</b> 上がると良い指標 【環境衛生課】	%	47.4	51.6	53.2	61.8	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (低)
(状況) 令和6年度は53.2%で、前年度に比べて1.6ポイント増加しました。 (原因) 集落排水施設への接続件数及び浄化槽設置基数の増加が指標値向上の要因と考えられます。しかし、住宅密集地における浄化槽設置用地の確保が困難であることや、近年の物価高騰の影響により浄化槽設置基数は伸び悩んでいることが普及率低調の原因として考えられます。						
<b>農業・漁業集落排水処理施設への接続率</b> 上がると良い指標 【環境衛生課】	%	82.7	83.4	83.9	85.1	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (低)
(状況) 令和6年度は83.9%で、前年度に比べて0.5ポイント増加しました。 (原因) 新築住宅等による接続件数の増加が影響しているものの、集落排水に接続していない住宅の半数は、既に浄化槽を設置している住宅であるため、新規接続が見込めないという点が接続率低調の原因として考えられます。						
<b>合併浄化槽設置基数 (家庭用、事業用)</b> 上がると良い指標 【環境衛生課】	基	2,223	2,392	2,438	2,648	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (中)
(状況) 令和6年度は2,438基で、前年度に比べて46基増加しました。 (原因) 町が設置主体となり、浄化槽を整備する町営浄化槽整備事業の推進が設置基数の増加の要因と考えられます。しかしながら、年間目標設置基数85基を下回っています。その要因として、住宅密集地での浄化槽設置用地の確保が困難であること、近年の物価高騰の影響が考えられます。						

基本事業のコスト (千円)

R05	R06
566,533	218,500

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-04 4Rの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者、行政	基本事業がめざす姿 ごみの発生抑制（Refuse）、削減（Reduce）、再利用（Reuse）及び再生利用（Recycle）を進めることにより、環境への負荷を軽減します。
----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりのごみの排出量	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	g/日	622	614	613	597	☀️ (向上)
評価	(状況)ごみ排出量は、前年度より1g減少しました。不燃ごみ、びん・缶、ペットボトルについては前年度と変わりはなく、可燃ごみについては僅かに減少しています。令和6年度のごみ排出量は基準値を9g下回っているものの、目標値へは届いていない状況です。 (原因)人口減少に伴い全体のごみ排出量は減少していますが、一人当たりのごみ排出量については横ばいの状態です。ごみの排出量削減へ向けた具体的な取組みの啓発が不足しているためと考えられます。						☁️ (横ばい)
		目標達成度	■ (低)				

指標	リサイクル率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	22.4	23.3	30.9	27.0	☀️ (向上)
評価	(状況)前年度より7.6ポイント増加し、目標値に到達しています。 (原因)4R推進のための啓発活動を行っており、住民による資源ごみの分別が定着し継続されていることや、事業系ごみ収集運搬業者による資源ごみのリサイクル活動の成果が上がったためと考えられます。						☀️ (向上)
		目標達成度	🏰 (達成)				

指標	分別不適合件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	件	58	70	95	29	☔️ (低下)
評価	(状況)分別不適合件数は、前年度より25件増加し、基準値を大きく上回る状況にあります。 (原因)不燃ごみの分別作業において、不適合と判断された袋の半数以上に産業廃棄物などの禁止物が混入していたためであり、住民の分別に対する認識誤りや、正しい分別方法の周知不足があるものと考えられます。						☔️ (低下)
		目標達成度	■ (低)				

指標	不法投棄苦情件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	件	23	30	30	12	☔️ (低下)
評価	(状況)前年度と比較して横ばいで推移しており、不法投棄苦情件数は、依然として多い状況です。 (原因)周知・啓発活動や監視カメラ、看板の設置といった対策が不法投棄者の意識を変えるまでには至っておらず、新たな不法投棄の発生抑制に結びついていないと考えられます。						☁️ (横ばい)
		目標達成度	■ (低)				

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
108,798	101,688

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-01 循環型社会の形成

基本事業 02-01-05 ごみ処理体制の適正化

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 町民、事業者、行政、町域	<b>基本事業がめざす姿</b> 災害時の対応を含め、廃棄物を安全かつ適正に処理します。
--------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町民一人当たりの廃棄物処理費用	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【環境衛生課】	円	9,798	11,103	11,962	9,406	☂ (低下)
評価	(状況) 前年度より859円増加し、基準値と比較しても2,164円高く、年々処理費用が増加傾向にあります。 (原因) 愛南町環境衛生センターの経常経費については減少傾向にありますが、一方で、宇和島地区広域事務組合環境センターの分担金が増額したことにより、町民一人当たりの廃棄物処理費用は増加しています。分担金が増加した主な理由は、物価高騰に伴う処理施設の運営固定費の増加、熱回収施設で発電した電気の売電単価下落等による収入減少によるものです。						☂ (低下) 対前年度 ☂ (低下) 目標達成度 ■ ■ (低)
指標	災害時の廃棄物処理について知っている町民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【環境衛生課】	%	22.4	16.4	19.0	80	☂ (低下)
評価	(状況) 住民アンケートの結果では、前年度より2.6ポイント上昇し、認知度が若干上がっているものの、割合が低い状態が続いています。 (原因) ホームページや広報紙による啓発が不足しており、災害廃棄物処理に対する住民の関心の喚起や認知度の向上が図れていません。						☂ (低下) 対前年度 ☁ (横ばい) 目標達成度 ■ ■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
112,551	112,723

**政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり**

**施策 02-01 循環型社会の形成**

**基本事業 02-01-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
130,081	112,286

## 政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 02-02 道路環境の充実

施策を実現する手段

**基本事業** 02-02-01 愛南町への高速道路の早期延伸

**基本事業** 02-02-02 国・県道の整備促進

**基本事業** 02-02-03 町道等の整備と維持管理

**基本事業** 02-02-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

本町は、「四国8の字ネットワーク」を形成する高規格道路の空白地帯として長く整備を待ち望んでいます。現在、津島道路については、「津島南IC～内海IC」間の工事に着手しており、柏地区において新内海トンネルや内海IC附近の改良工事を実施しています。

令和6年4月に「四国8の字ネットワーク」を形成する「宿毛内海道路」が全線事業化されたことにより、今後は、一日も早い開通に向けた整備促進を強く要望していくとともに、国の事業に協力していきます。

また、本町の道路実延長は、国道29km、県道155km及び町道528kmです。一方、道路改良率は、町道52.4%と県道81.9%に比べ低い水準となっています。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.67 (2.95)	2.63 (2.92)	2.72 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.89 (3.67)	3.91 (3.72)	3.86 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、道路利用者、道路	町外への移動時間が短縮され、安全で快適な通行ができます。 町内の道路において安全で快適な通行ができます。

施策の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間 下がるが良い指標 【建設課】	分	130	130	130	130	(横ばい)
評価 (状況) 愛南町役場から松山市までの自動車での所要時間は130分で基準値となっている令和3年度から所要時間の変化はありません。 (原因) 四国8の字ネットワークを形成する津島道路「津島岩松IC～内海IC」間は、平成28年度から用地買収と並行して柏地区等で道路本線となる橋梁・トンネル工事など本格的な工事に着手していますが、新規開通区間がなかったことによるものです。						対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
町内の道路環境の満足度 上がるが良い指標 【建設課】	%	13.6	13.0	12.9	14.0	(低下)
評価 (状況) 町内の道路環境の満足度は、12.9%で前年度に比べ0.1ポイント減少していますが、住民アンケートの結果であり統計誤差の範囲で横ばいです。基準値からは0.7ポイント下回っており、満足度は停滞しています。 (原因) 地区要望に迅速に対応していますが、町道の総延長が528kmあり、全体的な老朽化も進んでいることや地区内の人口減少や高齢化により、草刈り等の維持管理ができなくなった地区があること等が要因と考えられます。 成果指標の値の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。						対前年度 (横ばい) 目標達成度 (高)

施策のコスト(千円)

R05	R06
528,447	610,151

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-01 愛南町への高速道路の早期延伸

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 町民、道路利用者、四国横断自動車道	<b>基本事業がめざす姿</b> 町外（宇和島・幡多圏域等）への移動時間が短縮され、快適で安全な通行ができます。
-------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	宿毛市までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【建設課】	%	67.4	75.5	75.7	70.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 宿毛市までの高速道路延伸は、町の発展のために必要と考える町民の割合は75.7%で、前年度に比べ0.2ポイント増加しており、高い割合で推移しています。 (原因) 宿毛内海道路が令和6年度に全線事業化され、事業が順調に進んでいることで町民の関心が高くなっていることが考えられます。 成果指標の値である住民アンケート回答割合の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。					(対前年度) ☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)	

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
573	508

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-02 国・県道の整備促進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>国道、県道道路利用者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>道路環境が改善され、町外への移動時間が短縮されるとともに、快適で安全な通行ができます。</p>
----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	国道・県道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	20.2	19.6	20.0	21.0	(横ばい)
評価	<p>【建設課】</p> <p>(状況) 国道・県道の道路満足度は20.0%で前年度に比べて0.4ポイント増加していますが、住民アンケートの結果であり統計誤差と考えられるため、横ばい状態です。基準値からは、0.2ポイント低下しており、満足度は停滞しています。</p> <p>(原因) 本町は、近隣市町に比べ、国・県道整備が遅れていることから、国道・県道の道路満足度が低い原因となっているものと考えます。</p> <p>成果指標の値である住民アンケート回答割合の算定見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。</p>					<p>(横ばい)</p> <p>対前年度</p> <p>(横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■■ (高)</p>	

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
17,350	16,401

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-02 道路環境の充実

基本事業 02-02-03 町道等の整備と維持管理

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町道、道路利用者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>町民に身近な生活道路を整備及び適正な維持管理を行い、安全で快適な通行ができます。</p>
--------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町道の道路満足度	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【建設課】	%	17.8	14.4	15.7	19.0	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 町内の道路満足度は、15.7%で前年度に比べて1.3ポイント増加しており、向上しているものの基準値からは、2.1ポイント低下しており、満足度は停滞しています。</p> <p>(原因) 地区要望等を着実に対応している結果、基準値を下まわっているものの、町道の道路満足度を維持しているものと考えます。しかしながら町道延長が528kmあり、目標値に達していないことから、引き続き町民の望む道路環境の整備を図る必要があります。</p> <p>成果指標の値の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。</p>					☀ (向上)	
							■ (低)

指標	町道（規格道路）の改良率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【建設課】	%	52	52.4	52.5	54	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 町内の町道（規格道路）の改良率は、52.5%で前年度に比べて0.1ポイント増加していますが、微増で推移しています。</p> <p>(原因) 計画的な道路改良事業を実施していますが、指標値が微増なのは、愛南町の管理する町道の総延長が528kmと長いため、指標値の増加として表れにくいためだと考えます。しかしながら、指標値の向上に向けて、今後も町民の望む道路環境の整備を図る必要があります。</p>					☁ (横ばい)	
							■ (高)

指標	改修により安全性が確保された橋梁数(基本計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【建設課】	橋	0	7	9	8	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 改修により安全性が確保された橋梁数は9橋で、目標値を達成し順調に事業推進しています。</p> <p>(原因) 令和6年度は、2件の改修を行ったためです。今後も計画的な橋梁の改修が必要と考えます。</p>					☀ (向上)	
							🏰 (達成)

指標	道路管理上の損害賠償請求件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【建設課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 道路管理上の損害賠償請求件数は0件を維持しています。</p> <p>(原因) 町内パトロール強化や地域からの通報等に迅速に対応し、必要な箇所については早急に修繕等を実施していることが原因と考えます。</p>					☀ (向上)	
							🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
411,575	464,026

**政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり**

**施策 02-02 道路環境の充実**

**基本事業 02-02-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
98,949	129,216

## 政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 02-03 公共交通の確保

施策を実現する手段

#### 基本事業 02-03-01 町による生活交通の確保

#### 基本事業 02-03-02 公共交通機関の利用促進

#### 基本事業 02-03-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

本町では、民間事業者のバス路線の一部廃止に伴い、平成18(2006)年度からあいなんバス(コミュニティバス)を運行し、公共交通の維持に努めてきました。令和6(2024)年度からは、町内7路線であいなんバスを運行しています。

令和4年度に運行路線を2路線追加したことや、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことにより、あいなんバスの利用者は近年増加傾向にありましたが、令和6年度は人口減少もあり令和5年度と比較して減少しています。

平成18(2006)年10月の道路運送法の改正により、地方公共団体、交通事業者、住民、関係者等が地域交通のあり方を検討する地域公共交通会議の仕組みが導入されました。また、本町では、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に基づき、平成26(2014)年度に愛南町地域公共交通網形成計画を策定しました。

令和2(2020)年11月の地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正により、地域公共交通網形成計画から改称された地域公共交通計画の策定が求められ、本町では令和5年度に計画を策定しました。現在は当該計画に基づき、地域の実情に応じた持続可能な公共交通体系の構築に取り組んでいます。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.63 (2.95)	2.61 (2.92)	2.62 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.80 (3.67)	3.84 (3.72)	3.84 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	町内の移動に困る方が減少します。

施策の成果状況と評価

指標	町内での移動に困らない世帯割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値												
	上がると良い指標	%	82.2	83.3	81.9	80	☂ (低下)												
	【総務課】	(%)					対前年度												
評価	(状況) 町内での移動に困らない世帯割合は81.9%で前年度より1.4ポイント減少しましたが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であるため、横ばい状態です。基準値を若干下回りましたが、目標値については達成しております。 (原因) 自家用車の利用が中心であることや、公共交通(バス、タクシー)を利用して移動手段を確保できているためだと考えられます。	<table border="1"> <caption>移動に困らない世帯割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>82.2</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>83.3</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>81.9</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>81.9</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>80</td> </tr> </tbody> </table>					項目	値 (%)	基準	82.2	R04	83.3	R05	81.9	R06	81.9	R07	80	☁ (横ばい)
項目	値 (%)																		
基準	82.2																		
R04	83.3																		
R05	81.9																		
R06	81.9																		
R07	80																		
							目標達成度												
							🏰 (達成)												

施策のコスト(千円)

R05	R06
115,251	114,381

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

基本事業 02-03-01 町による生活交通の確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 需要に合わせた効果的・効率的で持続可能な交通手段を確保します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町営の交通手段の年間利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	人	36,725	61,145	60,779	45,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 町営の交通手段の年間利用者数は60,779人で、前年度より366人減少し、停滞しています。基準値及び目標値を上回っています。 (原因) 人口減少に伴い利用者が減少したものと考えられます。						☔️ (低下)
							🏆 目標達成度 (達成)

指標	町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	円	3,833	7,758	7,223	7,000	☔️ (低下)
評価	(状況) 町営の交通手段を運営するために必要な一世帯当たりの負担額は7,223円で、前年度より535円減少しています。基準値及び目標値を下回っています。 (原因) 令和5年度は25人乗りの車両購入8,881千円があったのに対し、令和6年度は車両購入がなかったためです。						☀️ (向上)
							🏆 目標達成度 (高)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
84,666	78,134

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-03 公共交通の確保

基本事業 02-03-02 公共交通機関の利用促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、民間事業者	基本事業がめざす姿 既存のバス路線維持のために、町民のバスの利用を促進します。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	町内を運行する民間運行バスの年間利用者数	人	209,447	204,318	210,567	175,000	☀️ (向上)
	上がると良い指標 【総務課】						☀️ (向上)
評価	(状況) 町内を運行する民間運行バスの年間利用者数は210,567人で、前年度に比べて6,249人増加し、順調に推移しています。基準値及び目標値共に上回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者が増加したものと考えられます。						☀️ (向上)
	(状況) 町内を運行する民間運行バスの年間利用者数は210,567人で、前年度に比べて6,249人増加し、順調に推移しています。基準値及び目標値共に上回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者が増加したものと考えられます。						☀️ (向上)
指標	町内を運行する民間運行バスの平均乗車率	%	5.21	25.19	25.96	24.0	☀️ (向上)
	上がると良い指標 【総務課】						☀️ (向上)
評価	(状況) 町内を運行する民間運行バスの平均乗車率は25.96%で、前年度から0.77ポイント増加し、順調に推移しています。基準値及び目標値を上回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者が増加したものと考えられます。						☀️ (向上)
	(状況) 町内を運行する民間運行バスの平均乗車率は25.96%で、前年度から0.77ポイント増加し、順調に推移しています。基準値及び目標値を上回っています。 (原因) 新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、利用者が増加したものと考えられます。						☀️ (向上)
指標	民間運行バスの町内路線維持に必要な一世帯当たりの負担額	円	5,322	3,091	3,725	2,000	☀️ (向上)
	下がると良い指標 【総務課】						☀️ (向上)
評価	(状況) 民間運行バスの町内路線維持に必要な一世帯当たりの負担額は3,725円で、昨年度から634円増加しており、基準値を上回りましたが、目標値には届いていません。 (原因) 人件費及び新紙幣対応に伴う施設整備費等の増加や、人口減少に伴い世帯数が減ったことによるものと考えられます。						☀️ (向上)
	(状況) 民間運行バスの町内路線維持に必要な一世帯当たりの負担額は3,725円で、昨年度から634円増加しており、基準値を上回りましたが、目標値には届いていません。 (原因) 人件費及び新紙幣対応に伴う施設整備費等の増加や、人口減少に伴い世帯数が減ったことによるものと考えられます。						☀️ (向上)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
30,585	36,247

**政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり**

**施策 02-03 公共交通の確保**

**基本事業 02-03-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
0	0

## 政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 02-04 安定的な水道水の供給

施策を実現する手段

#### 基本事業 02-04-01 安定的な給水の推進

#### 基本事業 02-04-02 経営の安定化

#### 基本事業 02-04-03 地震・災害に強い水道の整備

#### 基本事業 02-04-04 安全な給水の推進

#### 基本事業 02-04-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

公営企業が、将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」の策定が総務省から求められ、本町におきましては平成29年3月に平成28年度版「経営戦略」を策定しました。（計画期間：平成29年度～令和8年度）

5年毎に見直しを行う必要があることから、平成28年度版「経営戦略」について見直しを行い、令和4年度から10年間の計画期間とする令和3年度版「経営戦略」に改定を行いました。（計画期間：令和4年度～令和13年度）

給水人口の減少を受け、水道料金収入は年々減少傾向にある中、災害時でも安定した水道水の供給を維持するため、老朽化した施設や管路の更新・耐震化が求められています。安全な水を持続して供給し町民が安心して住み続けられるよう、「経営戦略」では、健全な水道事業運営に必要な財源の確保のため水道料金収入の適正化を行うこととしています。

「経営戦略」のもと、投資計画においては、施設、設備の廃止・統合（ダウンサイジング）や合理化（スペックダウン）等について取り組みます。また、財政計画においては、料金、企業債等財源の適正化による経営基盤の強化を図ります。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.57 (2.95)	3.55 (2.92)	3.51 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.34 (3.67)	3.40 (3.72)	3.42 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
愛南町営水道の給水区域内の町民	安定的に「安心・安全な水道水」を利用することができます。

施策の成果状況と評価

指標	水道水に満足している町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値																		
	上がると良い指標 <span style="float: right;">【水道課】</span>	%	39.8	42.9	39.5	39.8	☁️ (横ばい)																		
評価	(状況) 令和6年度は39.5%で、前年度より3.4ポイント減少しており、停滞しています。 (原因) 安心・安全な水道水を安定的に供給することが水道事業者の責務であり、そのために必要な浄水場や配水管等の水道施設に係る継続的な更新と耐震化への取組を推進しています。長期的な取組となるため、一部の地域では施設の更新が遅れている等、改善の余地があることから、水道水の供給設備や水压等への満足度停滞に繋がっているものと思われます。 成果指標の値の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。	<table border="1" style="display: none;"> <caption>水道水満足度推移表</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>39.8</td> <td>39.8</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>42.9</td> <td>39.8</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>42.9</td> <td>39.8</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>39.5</td> <td>39.8</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>39.5</td> <td>39.8</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	基準	39.8	39.8	R04	42.9	39.8	R05	42.9	39.8	R06	39.5	39.8	R07	39.5	39.8	☔️ (低下)
							年度	実績値 (%)	目標値 (%)																
基準	39.8	39.8																							
R04	42.9	39.8																							
R05	42.9	39.8																							
R06	39.5	39.8																							
R07	39.5	39.8																							
							■ (高)																		

施策のコスト(千円)

R05	R06
283,839	280,706

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-01 安定的な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 水道施設	基本事業がめざす姿 老朽施設（配水管等）が整備され安定的に給水できています。 有収率の向上により、施設維持管理費が低減できます
-----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	有収率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水道課】	%	76.0	72.9	73.9	76.5	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和6年度は73.9%で、前年度より1.0ポイント増加していますが、ほぼ横ばい状態です。 (原因) 経年劣化した水道管の更新や漏水調査により、有収率向上の取組を継続して行っていますが、高度経済成長期に集中整備された水道管の多くが法定耐用年数を経過しているため、老朽化による漏水を抑制出来ていないことが原因です。					☁️ (横ばい) 対前年度	
							☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
指標	突発的な断水件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【水道課】	件	60	44	56	45	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和6年度は56件で、前年度より緊急な断水が12件増加しており、目標値は達成していません。 (原因) 老朽化した水道管の更新及び漏水調査委託等の漏水解消に係る取組を行っていますが、法定耐用年数を経過した水道管の漏水が増えたことが原因です。					☁️ (横ばい) 対前年度	
							☔️ (低下) 目標達成度 ■■ (低)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
0	0

政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-02 経営の安定化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>給水区域内の町民、水道事業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>水道の運営基盤を強化し、適正な料金で使用できる体制を確立できています。</p>
--------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	公営企業会計における経常収支比率（一般会計基準外繰入金を除く。） 上がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
評価	<p>(状況) 令和6年度は77.33%で、前年度より0.17ポイントとやや減少しており、横ばいです。 (原因) 給水人口の減少及び節水機器の普及の影響を受け、料金収入は減少傾向にあり、経常収益は前年度より16,801千円減少し、修繕費等の営業費用が減少したため、経常費用も20,257千円減少したことが原因です。</p>	(%)	82.35	77.50	77.33	80.00	<p>☔ (低下)</p> <p>対前年度</p> <p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>

指標	料金収納率 上がると良い指標 【水道課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
評価	<p>(状況) 令和6年度は98.3%で、前年度より0.3ポイント減少していますが、目標値に近い水準で推移しています。 (原因) 水道料金未納者に対する戸別訪問の実施や、電話連絡による未納の通知、また、毎月の支払督促及び給水停止の業務を行っていることが成果の維持に結びついたと考えられます。</p>	(%)	98.8	98.6	98.3	98.8	<p>☁ (横ばい)</p> <p>対前年度</p> <p>☁ (横ばい)</p> <p>目標達成度</p> <p>■■ (高)</p>

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
263,740	261,601



政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり

施策 02-04 安定的な水道水の供給

基本事業 02-04-04 安全な給水の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
浄水水質	清浄で安全な水道水を利用できます。

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	浄水場の施設維持管理上の不具合件数	件	0	0	0	0	☀️ (向上)
	下がると良い指標 【水道課】	(件)					☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度は前年度と同様の0件で、目標値の水準で推移しており、安定的な水道水の供給を図ることができました。 (原因)職員による日々の浄水施設点検業務に加え、専門技術を有する委託業者による浄水施設保守業務を実施してきたことが、施設異常の早期発見・早期改善につながり、成果の向上に結びついたと考えられます。						☀️ (向上)
		目標達成度 🏰 (達成)					

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	水道水の水質検査において、基準値を上回った件数	件	0	2	1	0	☔️ (低下)
	下がると良い指標 【水道課】	(件)					☔️ (低下)
評価	(状況)令和6年度は1件で、前年度より1件減少しましたが、目標値の0件とすることが出来ておらず、順調ではありません。 (原因)城辺浄水場配水区域の一部である施設(一本松地区:大駄馬配水池)の水道水から、基準値を超える塩素酸が検出されました。塩素酸は消毒剤として使用する次亜塩素酸ナトリウムの長期貯蔵による経時劣化が原因の物質です。直ちに設備の洗浄、薬液の交換、施設内の水道水抜き替え等を行ったことにより、基準値内に回復しました。現在は、薬品貯蔵量を見直し、保管期間の短縮と劣化防止を図っています。						☁️ (横ばい)
		目標達成度 🏠 (低)					

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
0	0

**政策 02 豊かな自然環境と共生し快適に暮らせるまちづくり**

**施策 02-04 安定的な水道水の供給**

**基本事業 02-04-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
20,099	19,105

## 政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 03-01 水産業の振興

施策を実現する手段

#### 基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

#### 基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

#### 基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

#### 基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

#### 基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成

#### 基本事業 03-01-06 持続可能な漁業の推進

#### 基本事業 03-01-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

漁業生産額については、漁船漁業においてカツオの一本釣り漁業が豊漁であり、魚類養殖業においても順調に推移しているため、増加が見込まれています。加えて、国内外でのマダイの需要増加や飼料高騰により、漁協の販売額も増加傾向にあります。

一方で、漁業従事者の割合については、高齢化及び後継者不足による廃業等によって減少傾向にあります。

ぎょしょく教育については、町内の参加者は人口減少に伴い減少傾向にありますが、町外は、関東圏でぎょしょく伝道師の育成を行い出前授業の実施回数の増加を図り、全体の参加者は増加傾向にあります。給食における水産物の利用は、町内は増加傾向にありますが、町外は輸送にかかる燃油高騰の影響により低下しています。

真珠・真珠母貝養殖については、アコヤ貝の大量死対策として、原因ウイルスのPCR検査や、生存率が高い11月の種苗生産に集中・増産することで、大量死軽減に向けた効果が表れてきました。

漁港及び漁港海岸施設の整備については、漁業者の減少や高齢化が進む中、住みやすく働きやすい環境づくりの推進が不可欠であります。そのため、老朽化した漁港・漁港海岸施設等の長寿命化対策を推進し、機能の維持・保全を計画的に実施することにより、予防保全的な施設の維持管理・更新を図ります。また、今後激甚化が懸念される台風・集中豪雨等に対する防災・減災対策に取り組み、災害に強い基盤づくりを推進する必要があります。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.25 (2.95)	3.19 (2.92)	3.18 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.62 (3.67)	3.69 (3.72)	3.63 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>漁業者、町民</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>漁業経営の安定化及び持続可能な水産業が推進されています。</p>
----------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	漁業生産額	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	百万円	18,133	22,774	-	21,000	
評価	<p>(状況) 港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていませんが、漁協の水揚げ金額を示す基本事業の成果指標である地区内漁業種別水揚げ金額は減少しており、漁業生産額も目標値を下回ることが推測されます。</p>					<p>比較不可 対前年度</p> <p>比較不可 目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (中)</p>	

指標	漁業経営体数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	経営体	490	341	-	500	
評価	<p>(状況) 港勢調査の確定が11月であるため、指標値は取得できていませんが、町内の漁業従事者の割合を示す基本事業の成果指標である町内の漁業従事者の割合が減少しており、目標値を下回ることが推測されます。</p>					<p>比較不可 対前年度</p> <p>比較不可 目標達成度</p> <p>■ ■ ■ (中)</p>	

施策のコスト(千円)

R05	R06
582,009	535,956

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

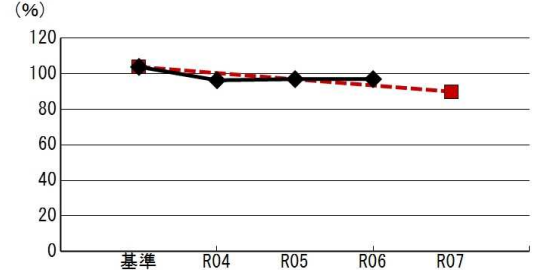
基本事業 03-01-01 水産基盤の整備

基本事業のプロフィール

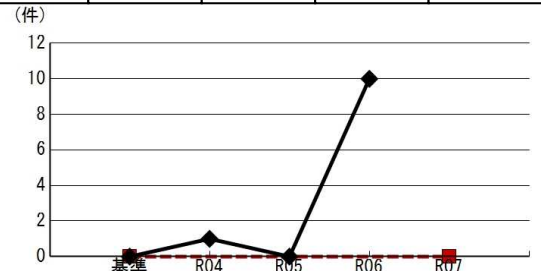
基本事業の対象 漁業者、漁協、町民	基本事業がめざす姿 漁港機能の充実を図り、漁業活動の安全性と稼働率が高まっています。高潮、津波等による被害から背後地の生命や財産を防護します。災害に強い強靱な施設が維持をされています。
----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	漁港・海岸施設の漁船最多利用率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【水産課】	%	103.9	97.0	97.0	90.0	☔ (低下)
評価	(状況) 令和6年度の漁港・海岸施設における漁船最多利用率は97.0%となり、基準値と比べて6.9ポイント減少しました。一方、前年と比べると横ばいで推移しています。 (原因) 基準年である令和2年度の数値と比較した場合の減少要因は、漁協組合員数の減少と運動していると考えられます。対前年比については、企業による大型船舶等の導入が進み、荒天時においても出漁可能となったことで出漁回数が増加したことが、利用率が横ばいとなった要因として考えられます。	(%)					☁ (横ばい)
							🏠 (達成)



指標	漁港・海岸施設の施設災害発生件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【水産課】	件	0	0	10	0	☔ (低下)
評価	(状況) 令和6年度において、漁港及び漁港海岸施設災害復旧事業を10件実施しました。災害査定から工事発注、完成までの施工監理において適切に対応した結果、災害発生から14ヵ月で全施設の機能復旧を完了しました。 (原因) 令和6年4月17日に豊後水道を震源とする震度6弱の地震が発生し、震源に近い柏崎漁港をはじめとする外4漁港の岸壁等が被災しました。一方、管内のその他の漁港及び漁港海岸施設については、日頃からの適切な管理体制により、軽微な被災にとどまったと考えられます。	(件)					☔ (低下)
							🏠 (達成)



基本事業のコスト(千円)

R05	R06
367,654	290,617

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-02 漁業の安定経営

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 漁船漁業生産者、養殖業者、漁業者	<b>基本事業がめざす姿</b> 新技術の確立及び支援体制の整備によって、付加価値の高い水産物を安定的に供給できるようになります。 良好な漁場環境を保全し、安心安全な水産業の振興を目指します。
------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	地区内漁業種別水揚金額 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		百万円	2,637	4,204	3,592	2,800	☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度の愛南漁協及び久良漁協の水揚金額は、3,592百万円で、前年と比べて612百万円下回っています。 (原因)昨年度に比べてカツオ一本釣り漁業が豊漁で、また養殖業の水揚げ額も昨年度と同様に好調であったものの、まき網漁業の水揚げ額が減少したため、昨年度を下回ったと考えられます。						☀️ (向上)
		対前年度	☔️ (低下)	☀️ (向上)	☀️ (達成)		
指標	アコヤ貝（真珠母貝）種苗生産量 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		万個	1,841	2,753	2,494	2,060	☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度のアコヤガイ種苗生産量は2,494万個で、前年に比べて259万個減少しているものの、対基準値では、653万個増加し、前期目標値も達成しました。 (原因)対前年値で259万個減少した理由としては、稚貝へい死対策として生存率の高い1月の種苗生産を256万個増やし、死亡率の高い時期の種苗生産を515万個減らすなど、種苗生産時期の最適化を果たした結果であると考えられます。						☀️ (向上)
		対前年度	☔️ (低下)	☀️ (向上)	☀️ (達成)		
指標	水産用水基準の不適合件数 下がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度の水産用水基準の不適合件数は0件であり、目標値を達成しています。 (原因)一部で計測値が高い漁場が見られてはいますが事前に底質改善剤を散布するなど、各養殖業者で適正管理がされているため、現状では水産用水基準の不適合となる漁場は確認されていません。						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	☀️ (達成)			

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
56,814	54,027

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-03 ぎょしょく教育と消費拡大

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 住民、消費者	基本事業がめざす姿 ぎょしょく教育の普及推進活動によって、魚食と健康に関する理解が進み、魚の消費が拡大します。 ぎょしょく教育を通じて、地産地消を推進し、地元水産物の消費が拡大します。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	ぎょしょく教育に参加した延べ人数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【水産課】	人	5,251	3,887	5,873	5,000	☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度のぎょしょく教育に参加した延べ人数は5,873人で、前年に比べて1,986人多い状況です。 (原因)新型コロナウイルス感染症の影響により出前事業の実施が困難な状況が続いていましたが、5類移行に伴い順調に増加していると考えられます。	<p>対前年度 (向上) ☀️ 目標達成度 (達成) 🏠</p>					☀️ (向上)
		公共施設の給食における地元水産物の利用額	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)
上がると良い指標 【水産課】	千円	22,493	20,465	16,739	30,000	☔️ (低下)	
評価	(状況)令和6年度の公共施設の給食における地元水産物の利用額は16,739千円で、前年に比べて3,726千円少ない状況です。 (原因)物価の高騰等の影響で給食でのマダイの利用が少なかったことが低下の要因と考えられます。	<p>対前年度 (低下) ☔️ 目標達成度 (中) 📊</p>					☔️ (低下)
		漁協直販増加額	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)
上がると良い指標 【水産課】	千円	501,998	577,500	668,310	550,000	☀️ (向上)	
評価	(状況)令和6年度の漁協直販増加額は668,310千円で、前年と比べて90,810千円上回っています。 (原因)海外向け及び国内飲食店向けにマダイの需要が高まったことで増加したと考えられます。また、漁協が販売する飼料の価格が高騰したことも考えられます。	<p>対前年度 (向上) ☀️ 目標達成度 (達成) 🏠</p>					☀️ (向上)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
5,890	9,929

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-04 生産者、漁協、行政及び大学の共同連携強化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>漁業者、漁協、大学、行政、企業等</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>関係者が連携を図ることにより、地域の抱える水産課題を解決します。</p>
--	--

基本事業の成果状況と評価

指標	共同開発研究をした延べ件数 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	14	12	13	15	
評価	<p>(状況) 令和6年度の共同研究を行った延べ件数は13件であり、昨年度から1件増加しています。</p> <p>(原因) マサバ養殖業者が1件、スマ養殖業者1件が増加しています。一方でヒロメ養殖業者が1件減少したため、合計で1件の増加となっています。</p>						
指標	市場で付加価値が高い水産物数 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		種	4	4	4	5	
評価	<p>(状況) 令和6年度の水産物は4種であり、現状は横ばいで推移しています。</p> <p>(原因) 愛媛県、愛媛大学、水産関係者等と共同連携して事業を推進しており、スマに関しては付加価値を高めるため種苗の質を高める試験を県が継続していますが、水産物の高付加価値化やブランド化には時間を要すると考えられます。</p>						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
42,970	25,319

**政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり**

**施策 03-01 水産業の振興**

**基本事業 03-01-05 漁業後継者の育成**

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
漁業者	地域漁業を担う漁業者を育成します。

基本事業の成果状況と評価

指標	町内の漁業従事者の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 <span style="float: right;">【水産課】</span>	%	8.1	7.2	6.9	8.2	☂ (低下)
評価	(状況) 町内の漁業従事者数の占める割合は6.9%となり、前年に比べて0.3ポイント低下しています。 (原因) 高齢化及び後継者不足による廃業などが従事者の減少要因であると考えられます。						☂ (低下) 対前年度
							☂ (低下) 目標達成度
							■ (中)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
75	69

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-01 水産業の振興

基本事業 03-01-06 持続可能な漁業の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 漁業者	基本事業がめざす姿 カーボンニュートラル漁業を目指し、環境負荷の軽減と資源の持続性に配慮した漁業が推進されています。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	水産エコラベル認証に基づく輸出量 上がると良い指標 【水産課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		t	53.0	87.0	102.0	63.6	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)

評価	(状況) 令和6年度の水産エコラベル認証に基づく輸出量は102tで、前年に比べて15.0t上回っています。 (原因) 令和5年3月に国際認証のBAP認証を取得した結果、海外市場への販路が拡大し継続的な販売促進活動に取り組めたことが要因と考えられます。	
----	--	--

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
6,262	11,568

**政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり**

**施策 03-01 水産業の振興**

**基本事業 03-01-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
102,344	144,427

## 政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 03-02 農林業の振興

施策を実現する手段

**基本事業** 03-02-01 担い手の育成と確保

**基本事業** 03-02-02 農地の継承

**基本事業** 03-02-03 経営安定と産地化の推進

**基本事業** 03-02-04 農地の保全・農村環境の整備

**基本事業** 03-02-05 新たな森林管理システムの推進

**基本事業** 03-02-06 農業地域資源を活用した農作物の高付加価値化

**基本事業** 03-02-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

農林業を取り巻く環境は、農林畜産物価格の低迷及び資材価格の高騰のほか、気候変動による作物の影響、鳥獣被害や災害リスクの増加など厳しい状況が続いています。また、営農環境では、地域農業の担い手の高齢化による労働力不足により、農作業等の負担や危険性が拡大しているため、後継者をはじめとする新規就農者等の担い手の確保が課題となっています。

これらの課題を解消するため、将来の地域農業のあり方を地域で作り上げる地域計画等に基づき、意欲ある経営体や集落営農組織の育成、効率的な農地集積の推進及び鳥獣被害防止支援を組み合わせた適正な農地管理と併せて、安定した収入の確保に向けた農林畜産物の産地化や高付加価値化に取り組んでいく必要があります。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.97 (2.95)	2.96 (2.92)	2.95 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.63 (3.67)	3.70 (3.72)	3.64 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。



政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-01 担い手の育成と確保

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者	基本事業がめざす姿 県、JA等と連携し、募集、研修、経営定着、経営発展、経営継承まで、一貫した支援が受けられ、意欲のある経営体や集落営農組織などの多様な担い手が確保・育成されています。
----------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	新規就農者数(基本計画期間累計)	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)	目標値(R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	人	0	6	9	12	☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■■ (中)
評価	(状況)令和6年度は独立自営が3名(うち新規就農2名、親と別部門1名)新規に就農しており、目標値の達成に向け順調に推移しています。 (原因)大きく増加しない背景として、雇用就農者が増加しており、法人の経営基盤の強化に向けた雇用確保の動きが影響していることが要因と考えられます。						
		指標	認定農業者数	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)
	上がると良い指標 【農林課】	人	158	152	127	158	☔️ (低下) 対前年度 ☔️ (低下) 目標達成度 ■■ (高)
評価	(状況)認定農業者数は127名で、前年度より25名減少、総合計画基準値より31名減少しました。 (原因)認定農家の高齢化等により26名が認定更新等を辞退しましたが、新たに1名を認定農業者として認定したため、全体として25名の減となりました。						
		指標	農地所有適格法人数	単位	基準値	実績値(R05)	実績値(R06)
	上がると良い指標 【農林課】	経営体	14	18	18	18	☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)
評価	(状況)令和6年までに報告のあった法人数は、昨年度から増減はなく18経営体となっており、目標値を達成しています。 (原因)令和6年度に新たに農地所有適格化法人となった法人はありません。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
33,740	16,814



政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-03 経営安定と産地化の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 農業者	基本事業がめざす姿 経営安定のための各種支援が活用され、産地化が進み、農業経営が継続されています。
----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	産地化、高付加価値化を進める農産物（野菜）の作付面積	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	36.3	45.4	31.5	40.0	☔ (低下)
評価	(状況)産地化、高付加価値化を進める農産物（野菜）の作付面積は31.5haで、前年度より13.9ha減少し、目標には達しませんでした。 (原因)特にブロッコリーの作付けが大きく減少しており、農家の高齢化や大口農家が作付けを減らしたことが要因と考えられます。						☔ (低下) ☔ (低下) ■ (中)

指標	産地化、高付加価値化を進める農産物（柑橘）の作付面積	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	449.7	451.9	453.9	450.0	☁ (横ばい)
評価	(状況)令和5年産柑橘の栽培面積は453.9haで、前年度より2.0ha増加しており、町内の主要品目である柑橘の栽培面積は維持されています。 (原因)果樹経営支援対策事業等を活用し新植、改植等を進めることで、優良園地として栽培が継続されていることが要因と考えられます。						☁ (横ばい) ☁ (横ばい) ■ (達成)

指標	水田の有効活用面積	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	24.4	24.6	18.8	28.0	☔ (低下)
評価	(状況)産地交付金の対象としている高収益作物の栽培面積は18.8haで、前年度より5.8ha減少し、目標には達しませんでした。 (原因)高齢化等により、高収益作物の作付農家が減少したことが原因と考えられます。						☔ (低下) ☔ (低下) ■ (中)

指標	セーフティネット加入経営数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	件	422	358	336	422	☔ (低下)
評価	(状況)前年度と比較し、収入保険事業の加入者は3名増加しましたが、農業共済事業の加入者は25名減少しました。 (原因)経営状況リスク回避のため収入保険への加入者は増えましたが、共済事業については高齢化により見直しを行った農家が増えことが減少した要因と考えられます。						☔ (低下) ☔ (低下) ■ (高)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
13,463	11,017



政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-02 農林業の振興

基本事業 03-02-05 新たな森林管理システムの推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 林業者、森林	基本事業がめざす姿 森林経営管理制度と森林環境譲与税を両輪とした新たな森林管理システムを推進し、林業事業者の事業量と担い手が安定確保されています。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	間伐面積	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	ha	110.0	81	45	130	☂ (低下)
評価	(状況) 間伐面積は、前年度に比べ36ha減少しました。目標値は達成できませんでした。 (原因) 森林環境譲与税を活用し、計画的な間伐を実施していますが、林業従事者の減少により労働力の確保ができず、間伐面積が減少したと思われます。						☂ (低下) 対前年度
							☂ (低下) 目標達成度 ■■ (低)

指標	林業従業者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【農林課】	人	28	17	12	35	☂ (低下)
評価	(状況) 林業従業者数は、前年度から5名、基準値から16名減少しており、減少傾向にあります。 (原因) 福利厚生充実や新規林業従事者の募集等を実施していますが、新たな労働力の確保に繋がっていないことが原因とされます。						☂ (低下) 対前年度
							☂ (低下) 目標達成度 ■■ (低)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
53,584	46,994



**政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり**

**施策 03-02 農林業の振興**

**基本事業 03-02-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
90,561	99,860

## 政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 03-03 商工業の振興

施策を実現する手段

#### 基本事業 03-03-01 経営面の支援強化

#### 基本事業 03-03-02 創業・事業承継への支援

#### 基本事業 03-03-03 企業誘致・留置の推進

#### 基本事業 03-03-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

本町の商工業者数は、近年減少傾向となっています。商工業者の8割以上が従業員数5人以下等の小規模事業者であり、事業主の高齢化や後継者不足等が廃業につながりやすいことが主な要因となっています。そのような状況の中、新たなビジネスの創業支援や事業承継といった課題に取り組み、地域産業を維持していくことが求められています。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.80 (2.95)	2.80 (2.92)	2.83 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.64 (3.67)	3.73 (3.72)	3.65 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
商工業者	商工業者の生産性や販売力が強化されることにより、事業活動が継続され、地域が活性化しています。

施策の成果状況と評価

指標	町内の商工業者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	業者	1,144	1,082	974	1,000	☂ (低下)
	【商工観光課】	(業者)					対前年度
評価	(状況) 町内の商工業者数は974業者で、総合計画基準値より170業者減少しており、目標値を26下回っています。 (原因) 事業承継や新規創業が少なく、事業主の高齢化による廃業が進み、町内の商工業者数が減少したことが原因です。						☂ (低下)
							目標達成度
							■ (低)

施策のコスト(千円)

R05	R06
271,255	175,316

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

基本事業 03-03-01 経営面の支援強化

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 中小企業者及びその他法人	<b>基本事業がめざす姿</b> 中小企業者等の経営力が向上し、その経営が安定しています。
--------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	黒字化している事業所（町民税の法人税割課税事業所）割合 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値											
評価	(状況) 黒字化している事業所割合は67.8%で、総合計画基準値より32.1ポイント上回り、目標値を達成しています。 (原因) 事業者の業績が上がり、課税事業者の割合が増加したことが主な要因と考えられます。	(%)	35.7	65.9	67.8	38.0	(向上) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)											
		<table border="1"> <caption>黒字化している事業所割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>基準</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> <th>R07</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合 (%)</td> <td>35.7</td> <td>65.9</td> <td>67.8</td> <td>67.8</td> <td>38.0</td> </tr> </tbody> </table>						年度	基準	R04	R05	R06	R07	割合 (%)	35.7	65.9	67.8	67.8
年度	基準	R04	R05	R06	R07													
割合 (%)	35.7	65.9	67.8	67.8	38.0													

指標	町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業者数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値											
評価	(状況) 町の経営支援制度により経営力向上に取り組んでいる事業者数は10業者で、総合計画基準値より7業者上回っていますが、目標達成度は低い状況となっています。 (原因) 町の経営支援制度を活用して、生産性向上等に取り組む事業者が少ないことが原因です。	(業者)	2	16	26	60	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (低)											
		<table border="1"> <caption>経営力向上に取り組んでいる事業者数の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>基準</th> <th>R04</th> <th>R05</th> <th>R06</th> <th>R07</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>業者数</td> <td>2</td> <td>16</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>						年度	基準	R04	R05	R06	R07	業者数	2	16	26	26
年度	基準	R04	R05	R06	R07													
業者数	2	16	26	26	60													

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
218,260	110,313

**政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり**

**施策 03-03 商工業の振興**

**基本事業 03-03-02 創業・事業承継への支援**

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b>	<b>基本事業がめざす姿</b>
中小企業者	地域資源を活かした起業が行われるとともに、事業承継により事業活動が継続されています。

基本事業の成果状況と評価

指標	新規に法人化した事業者数（基本計画期間累計）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	上がるの良い指標 【商工観光課】 （状況）新規に法人化した事業者数は16業者で、既に前期目標値を達成しています。 （原因）業績が良く、法人成りした事業者が多く設立されたことが主な要因です。	業者	11	18	34	15

年度	実績値 (業者)	目標値 (業者)
基準	11	11
R04	18	11
R05	18	11
R06	34	11
R07	34	15

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
0	0

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-03 商工業の振興

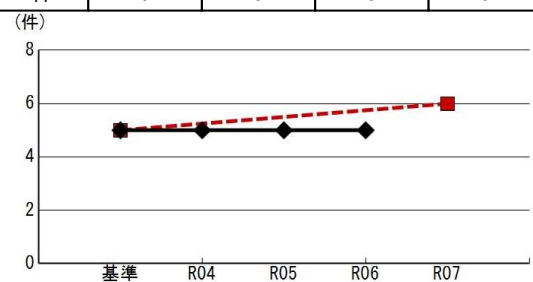
基本事業 03-03-03 企業誘致・留置の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
製造業、情報通信業、運輸業、卸売・小売業又は宿泊業を営む事業者	町内に企業が進出するとともに、進出した企業が留まっていることで、雇用が拡大し、地域が活性化しています。

基本事業の成果状況と評価

指標	企業の誘致・留置件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がる和良好的指標	【商工観光課】	件	5	5	5	6
評価	(状況) 企業の誘致・留置件数はこれまで5件で、令和6年度は新たな企業誘致の動きがありました。 (原因) 企業の地方進出意向は低い状況ではありますが、令和7年度開業に向けた宿泊業者の動きがありました。	(件)					(横ばい)
							目標達成度
							(中)



基本事業のコスト (千円)

R05	R06
959	539

**政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり**

**施策 03-03 商工業の振興**

**基本事業 03-03-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
52,036	64,464

## 政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 03-04 観光・物産の振興

施策を実現する手段

#### 基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

#### 基本事業 03-04-02 観光PRの推進

#### 基本事業 03-04-03 観光資源の充実

#### 基本事業 03-04-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

本町の年間観光客数は、平成28（2016）年度は1,231千人ありましたが、令和2（2020）年度には新型コロナウイルス感染症の拡大の影響等により790千人と約36%減少していましたが、令和5（2023）年度は1,006千人と回復傾向にあります。しかしながら令和6（2024）年度は、4月に豊後水道を震源とする震度6の地震が発生し、976千人の入込客数となりました。今後は、観光に携わる町内事業者との連携を強化し、民間活力を取り入れた効果的な観光イベントの実施など、観光資源のPRや受け入れ態勢の充実を図り、町の魅力が十分に発信できる環境づくりに取り組みます。

近年、観光を取り巻く状況は、国内観光等のマイクロツーリズムを主体として、新たな観光需要に対応することが求められています。町観光協会の機能を充実・強化することにより、ニューノーマルな視点での観光プログラムの造成、情報発信力や広域連携による誘客機能の向上を図り、まちづくりの情報発信拠点となるよう取り組んでいきます。

本町の魅力を広く発信し、町内に点在する地域資源を利活用しながら、観光・物産振興に対する町民の理解を深め、町民が地域への誇りと愛着を持つことができる、活力に満ちた地域社会の実現を目指します。また、ふるさと納税や統一ブランディングロゴマーク「いろこいあいなん」の活用により、特産品等のブランド力の向上を図ります。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.76 (2.95)	2.75 (2.92)	2.82 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.78 (3.67)	3.86 (3.72)	3.78 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
観光客	地域の魅力を理解し、愛南町を好きな方が増加するとともに、多くの観光客が訪れます。

施策の成果状況と評価

指標	年間観光客数(入込客数)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	評価	上がると良い指標 【商工観光課】 (状況) 基準値に比べ、186,057人増加しているものの目標値には大きく届いていません。 (原因) 4月におきた豊後水道を震源とする震度6の地震の影響により、観光施設等の予約キャンセルが多くなりました。このため観光客が減少したと考えられます。	人	790,032	1,006,341	976,089	1,500,000

項目	値
基準	790,032
R04	1,006,341
R05	976,089
R06	976,089
R07	1,500,000

施策のコスト(千円)

R05	R06
1,420,953	1,932,059

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-01 地域資源の有効活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 特産品、観光スポット	基本事業がめざす姿 地域の資源（特産品や観光スポット）を活かしたイベントやふるさと納税事業の実施により、誘客の促進と特産品が全国に認知されます。
-----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標 町内で観光客誘致のため開催される各種イベントにおける参加者数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位 人	基準値 11,286	実績値 (R05) 36,185	実績値 (R06) 30,349	目標値 (R07) 100,000	対基準値 (向上)
評価 (状況) 基準値に比べ、19,063人増加しているものの目標値には大きく届いていません。 (原因) 4月におきた豊後水道を震源とする震度6の地震の影響により、観光施設等の予約キャンセルが多くなりました。このため各種イベントについても観光客が減少したと考えられます。						

指標 町が実施又は支援する観光・物産振興イベントの開催回数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位 回	基準値 2	実績値 (R05) 20	実績値 (R06) 20	目標値 (R07) 25	対基準値 (向上)
評価 (状況) 基準値に比べ、イベントの実施回数も18回増の20回と増加しているものの目標値には届いていません。 (原因) 観光振興等イベント補助金を活用するイベントも定着しており、安定的なイベント開催が実施されています。						

指標 ふるさと納税の寄附件数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位 件	基準値 16,336	実績値 (R05) 206,554	実績値 (R06) 244,214	目標値 (R07) 100,000	対基準値 (向上)
評価 (状況) 基準値を227,878件、目標値を144,214件上回り好調に推移しています。 (原因) 返礼品数や掲載サイトの増加及び積極的なPR、並びにふるさと納税市場の拡大によるものと考えられます。						

指標 ふるさと納税の返礼品登録数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位 品	基準値 320	実績値 (R05) 1,200	実績値 (R06) 1,200	目標値 (R07) 700	対基準値 (向上)
評価 (状況) 基準値を880件、目標値を500件上回り好調に推移しています。 (原因) 令和4年度からのふるさと納税事業の業務委託により、同社と連携した新規返礼品開発が可能になったことが要因と考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
1,143,282	1,614,929

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-02 観光PRの推進

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 行政、町民、民間企業	<b>基本事業がめざす姿</b> 具体的な効果のあるブランド、PRを充実させ、観光協会、旅行会社等と連携することにより、観光客が望む内容を理解し、多くの方々に本町の魅力を知ってもらうための情報発信を行います。
------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町ホームページ内の観光ページへのアクセス件数 【商工観光課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	20,846	26,888	36,808	30,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 基準値のアクセス件数と比較すると、15,962件増加しています。また、目標値に対しても6,808件の増となっています。 (原因) 内容の充実を図り、イベントや観光・物産のPRを行ったことで、基準値・目標値よりアクセス件数が増加したと考えられます。						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	☀️ (向上)	🏠 (達成)		
指標	町及び観光協会の公式SNSフォロワー数及び登録者数 【商工観光課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		人	1,167	3,053	3,707	1,300	☀️ (向上)
評価	(状況) 目標値に対し、2,407人増の3,707人とフォロワー数が増加しており、目標を達成しています。 (原因) SNSの投稿を週1回以上を目標に実施しており、これにより、フォロワー数が増加したと考えられます。						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	☀️ (向上)	🏠 (達成)		
指標	統一ブランディングロゴマーク「いろこいあいなん」の利用登録件数(基本計画期間累計) 【商工観光課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	11	22	30	22	☀️ (向上)
評価	(状況) 前年度に比べて8件増加し、目標値を達成しました。 (原因) 事業者に対し補助金事業が周知され、ロゴマーク「いろこいあいなん」が浸透していることが要因だと考えられます。						☀️ (向上)
		対前年度	☀️ (向上)	☀️ (向上)	🏠 (達成)		
指標	新聞、テレビ、雑誌等及びSNS等へのリリース・情報発信件数 【商工観光課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	26	28	27	30	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 基準値に対し、1件増の27件の情報発信を実施していますが、目標値に届いていません。 (原因) SNSを活用した情報発信が多く、プレスリリース件数が減少したことで目標値に届きませんでした。						☁️ (横ばい)
		対前年度	☁️ (横ばい)	☁️ (横ばい)	🏠 (達成)		

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
20,401	21,597

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-04 観光・物産の振興

基本事業 03-04-03 観光資源の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民、民間企業	基本事業がめざす姿 観光施設の維持管理やリニューアル、体験型観光等のメニュー・ルート作りをして、魅力の向上を図り、多くの方が訪れます。
-----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	観光施設の利用支障件数（修繕件数）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【商工観光課】	件	25	13	15	20	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 基準値に対し、本年度は15件となり、目標値以下で達成できています。 (原因) 各施設と連絡を密にし、初期段階で状況を確認し対策することで施設の不具合箇所の影響拡大をある程度抑えることができました。今後も早期対応に努める必要があります。	(件)					☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)
指標	観光資源を活用した体験メニュー数(基本計画期間累計)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標 【商工観光課】	件	2	5	8	10	☀️ (向上)
評価	(状況) 基準値の2メニューに対し、8メニューとなっており目標値の10メニューに届いていません。 (原因) 町内事業者との関係を強化したことや他自治体との広域的な連携を実施したことによるものと考えます。	(件)					☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ▬ (中)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
234,343	272,672

**政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり**

**施策 03-04 観光・物産の振興**

**基本事業 03-04-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
22,927	22,861

## 政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

#### 施策 03-05 雇用・人材確保の推進

施策を実現する手段

##### 基本事業 03-05-01 雇用の促進

##### 基本事業 03-05-02 労働人材の確保

##### 基本事業 03-05-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

人口減少や少子高齢化に伴って生産年齢人口が減少し、町内の従業者数も減少が続いています。このような状況の中、求人募集事業者と求職者のニーズが一致しない、いわゆる雇用のミスマッチが起こっており、愛南町就職支援センターにおける有効求人倍率も令和4（2022）年度からの3か年度平均は4.28倍と高い水準になっています。雇用関係の成立や企業誘致・留置施策による雇用の創出・維持など労働人材の確保が課題となっています。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.47 (2.95)	2.43 (2.92)	2.57 (2.95)	--- (---)	
重要度	4.05 (3.67)	4.02 (3.72)	3.97 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民及び事業者</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>雇用及び労働人材が確保されることにより、地域産業が持続し、町民が安心して働き、生活できます。</p>
-----------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	町内の従業者数 上がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		人	6,310	5,903	5,903	5,500	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 町内の従業者数は5,903人(令和3年調査)で、総合計画基準値より407人減少しており、推計通りの減少傾向となっています。</p> <p>(原因) 人口の減少、事業主の高齢化による廃業などによって生産年齢人口が減少していることが原因です。</p>					対前年度 比較不可	
		目標達成度 ■■ (中)					
指標	有効求人倍率 下がると良い指標 【商工観光課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		倍	3.54	4.46	4.10	3.00	☔ (低下)
評価	<p>(状況) 町内の有効求人倍率は4.10倍で、前年度と比較し0.36ポイント減少しましたが、総合計画基準値を0.56ポイント上回っています。</p> <p>(原因) 雇用のミスマッチは従来から原因の一つとされていますが、近年では人口減少や高齢化に伴い求職活動を行う人が減少しています。就職支援センターにおける相談者数及び求人の紹介件数が減少していることも、有効求人倍率の上昇原因として挙げられます。</p>					対前年度 ☀ (向上)	
		目標達成度 ■■ (低)					

施策のコスト(千円)

R05	R06
1,013	658

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

基本事業 03-05-01 雇用の促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民及び事業者	基本事業がめざす姿 求職者が雇用相談や各種研修などを活用することにより、雇用が促進されます。
--------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	求職者の就職割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	%	53.5	54.9	56.8	58.0	☀️ (向上)
評価	(状況) 求職者の就職割合は56.8%で、前年度より1.9ポイント増加し、総合計画基準値は上回っていますが、目標値を1.2ポイント下回っています。 (原因) 雇用側が、人手不足に伴い採用基準のハードルを下げ、より広い範囲の求人を行っているものの、求職者との間でミスマッチがあったこと等が要因として考えられます。						☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■■■ (高)

指標	誘致・留置した企業の町内雇用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【商工観光課】	人	238	241	250	250	☀️ (向上)
評価	(状況) 誘致・留置した企業の町内雇用者数は250人で、総合計画基準値を12人上回り、目標値を達成しています。 (原因) 誘致・留置した企業が、労働人材の不足により採用活動を積極的に行っていることが主な要因と考えられます。						☀️ (向上) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
76	81

政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり

施策 03-05 雇用・人材確保の推進

基本事業 03-05-02 労働人材の確保

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、事業者及び移住者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>事業承継や町内外からの就業・起業が促進され、人材不足が解消されています。</p>
-----------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	町と関係機関が連携・支援して、事業承継した事業者数及び新規参入者数(基本計画期間累計) 【商工観光課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		業者	15	16	20	24	
評価	<p>(状況)町と関係機関が連携・支援して、事業承継した事業者数及び新規参入者数は、農林課1人、水産課3人及び商工観光課0人の計4人で、単年度目標値6に比べて2人下回りました。</p> <p>(原因)農業・水産業・商工業の各分野における補助金制度が活用されていますが、事業開始時期の変更などにより減少となっています。</p>						

指標	町外向けの仕事紹介への取組数(短期、定住) 【商工観光課】 上がると良い指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0	0	9	4	
評価	<p>(状況)町外向けの仕事紹介への取組数は9件で、総合計画目標値4件(累積)を上回りました。</p> <p>(原因)移住フェアへの出展での仕事紹介など、算定式の解釈を変更したため件数が増加しました。</p> <p>令和7年度から情報誌への掲載等の取組も行います。</p>						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
738	99

**政策 03 活力ある産業を育てるまちづくり**

**施策 03-05 雇用・人材確保の推進**

**基本事業 03-05-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
199	478

## 政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

#### 施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策を実現する手段

**基本事業** 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

**基本事業** 04-01-02 ボランティア・NPO活動の推進

**基本事業** 04-01-03 広報の充実

**基本事業** 04-01-04 町民の町政への参画の推進

**基本事業** 04-01-05 情報公開の推進

**基本事業** 04-01-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

協働によるまちづくりは、愛南町自治基本条例に明記されているとおり、町民が主体的に町政へ参画できる機会を提供し、その意見を町政へ反映させることにより推進されますが、町民の町政への参画はまだ十分ではない状況です。

また、人口減少や少子高齢化が進行する中、町の周辺地域においては衰退が著しい地区が発生しています。地域コミュニティの運営・維持は、町の活性化の大きな課題となっており、地域と連携した効果的・効率的な地域コミュニティへの支援が必要な状況となっています。

時代の変化に伴い多様化していく行政ニーズに対応していくため、NPO法人、ボランティア団体などの多様な主体と連携し、福祉、産業等のまちづくりに取り組む必要があります。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	2.97 (2.92)	3.03 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.51 (3.67)	3.55 (3.72)	3.50 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

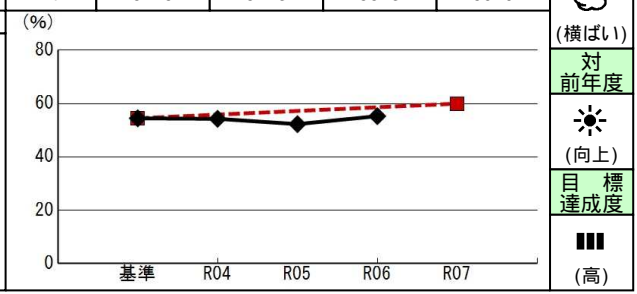
施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民、行政	町民、事業者及び行政、それぞれの役割を認識し、協働の精神で連携した、自立した地域社会ができています。

施策の成果状況と評価

指標	町民、事業者及び行政が協働したまちづくりがなされていると思う町民の割合 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況)令和6年度は基準値を0.8ポイント上回り、前期目標値を4.7ポイント下回りました。 (原因)コロナ後の事業の再開等により住民の満足度が向上し、基準値を上回ることができましたが、協働に対する満足度は十分ではないことが原因と考えられます。	%	54.5	52.3	55.3	60.0	(横ばい)
							(対前年度)
							(向上)
							目標達成度
							■■■ (高)



施策のコスト(千円)

R05	R06
165,136	213,889

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-01 地域コミュニティ活動の支援

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 行政区の機能が維持され、地域の運営・維持がされています。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
町民の行政区への加入率 上がると良い指標 【総務課】	%	73.4	72.1	71.5	75.0	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
(状況) 令和6年度は71.5%で、目標値には3.5ポイント届きませんでした。 (原因) 人口減少により行政区に加入する世帯が減少したことに加え、若い世帯や転入・転居世帯の新規加入が進まないことなどが原因として考えられます。						
地域コミュニティ活動への参加率 上がると良い指標 【総務課】	%	31.7	39.5	42.1	50.0	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)
(状況) 令和6年度は42.1%で、目標値には7.9ポイント届きませんでした。 (原因) 行政区加入世帯数は70%を超えているものの、生活スタイルの変化や近隣関係の希薄化により地域コミュニティ活動の役割が薄れてきていること、地域コミュニティに対する若い世代と高齢世代の意識のずれ等が要因と思われます。						
行政区の活動継続のために行政として支援や情報提供を実施した件数 上がると良い指標 【総務課】	件	1	1	0	3	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)
(状況) 令和6年度の情報提供等の回数及び行政区からの相談等の回数は、いずれも0回でした。 (原因) 各行政区において自治的な運営を行っており、基本的に行政からの積極的な支援や指導は難しいため、相談等は少ない傾向にあります。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
69,996	69,267

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-02 ボランティア・NPO活動の推進

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 町民、NPO、ボランティア団体、行政	<b>基本事業がめざす姿</b> 多様な市民活動（NPO法人、ボランティア等）が、協働担い手として、活動できる環境となっています。
--------------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	団体情報ファイルに記載されている各分野のNPO法人及びボランティア団体の数 【企画財政課】	団体	19	18	16	19	☔ (低下)
	上がる和良好的指標	(団体)					☔ (低下)
評価	（状況）令和6年度は16団体で、前年度に比べて2団体減少しました。 （原因）活動自体は継続していますが、会員の減少や活動の縮小によりボランティア連絡会から脱退した団体があったこと、団体の解散があったことが一因です。						☔ (低下)
							■ (中)
指標	ボランティア活動やNPO活動をしている町民割合 【企画財政課】	%	11.0	17.0	15.5	18.0	☁ (横ばい)
	上がる和良好的指標	(%)					☔ (低下)
評価	（状況）令和6年度は15.5%で前年より1.5ポイント低下しています。おおよそ1割強の住民が町内でのボランティア活動及びNPO法人活動に参加しており、基準値は超えています。前期目標値は達成できておりません。 （原因）ボランティア活動やNPO法人活動をしていた方の引退等が原因と考えられます。						☔ (低下)
							■ (中)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-03 広報の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
町民、行政	町の出来事や行政の情報が十分に伝わっています。

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	町からの広報（広報紙及びホームページ）の量や内容が十分だと思ふ町民の割合	%	29.2	30.7	33.3	35.0	☁️ (横ばい)
	上がると良い指標 【総務課】						☁️ (横ばい)
評価	<p>（状況）令和6年度の指標値は33.3%で、前年に比べると2.6ポイント増加していますが、目標値には1.7ポイント届きませんでした。</p> <p>（原因）目標値まで届いていませんが、それでも前年に引き続き30%を超える満足、やや満足であるとの評価を得ています。これはホームページや広報紙には最新のイベント情報や各課からのお知らせを掲載しているためと考えます。</p> <p>成果指標の値である住民アンケート回答割合の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。</p>						☁️ (横ばい)
		目標達成度	■ (中)				

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	広報紙を読んでいる町民の割合	%	69.2	92.1	92.7	75.0	☀️ (向上)
	上がると良い指標 【総務課】						☁️ (横ばい)
評価	<p>（状況）90%を超える町民が広報紙を読んでいると回答しており、目標は達成できていると言えます。</p> <p>（原因）町内で行われるイベントや各種行政情報の掲載など、幅広い層の読者に興味を持ってもらえる内容を意識した結果、多くの町民が求める紙面になっていると考えられます。また、FacebookやLINEなどのSNSを利用した広報紙発行情報の発信や、ホームページへの記事の掲載も、多くの町民に広報あいなんを届けるための一助になっていると考えられます。</p>						☀️ (向上)
		目標達成度	🏰 (達成)				

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
6,562	6,324

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-01 協働によるまちづくりの推進

基本事業 04-01-04 町民の町政への参画の推進

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 町民、行政	<b>基本事業がめざす姿</b> 町の事業、施策等における計画、実施、評価及び見直しに至るまでの各過程に町民が主体的に関わることによって、町民の町政への参画を図ります。
-------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
<b>公募による委員の割合</b> 上がると良い指標 【総務課】 (状況) 令和6年度は12.6%で、目標値には7.4ポイント届きませんでした。 (原因) 就業している住民にとっては日中の会議開催に参加し難い状況であること、公募可能な委員会の中にはその協議内容が未経験者にはハードルが高く、公募し難い状況にあることなどが原因として考えられます。	%	11.4	11.0	12.6	20.0	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (中)
<b>町政に町民の意見が反映できていると感じている住民の割合</b> 上がると良い指標 【総務課】 (状況) 令和6年度は54.5%で、目標値に5.5ポイント届きませんでした。 (原因) 意見表明制度への意見件数や委員の公募件数の低迷が町政への意見が反映できていないと感じる一因であると考えられます。	%	52.8	50.7	54.5	60.0	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (高)
<b>意見表明制度の実施回数</b> 上がると良い指標 【総務課】 (状況) 令和6年度の実施件数は7件で、基準値より2件減少し、目標値にも届いていない状況です。 (原因) 令和6年度には、意見表明制度の実施の対象となる計画等の件数が少なかったことが原因と考えられます。	回	9	7	7	10	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (中)
<b>地区要望のうち当該年度に実施した事業の割合</b> 上がると良い指標 【総務課】 (状況) 令和6年度は75.8%で、目標値を0.8ポイント上回りました。 (原因) 昨年度から13ポイント上昇し、目標値を達成することができました。実施可能な要望が多かったことが原因と考えられます。	%	68.9	62.8	75.8	75.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
35,699	35,231



**政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり**

**施策 04-01 協働によるまちづくりの推進**

**基本事業 04-01-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
52,879	103,067

## 政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策を実現する手段

#### 基本事業 04-02-01 家庭の防災力の向上

#### 基本事業 04-02-02 地域の防災力の強化

#### 基本事業 04-02-03 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

#### 基本事業 04-02-04 災害対応力の強化

#### 基本事業 04-02-05 防災・減災ハード対策の推進

#### 基本事業 04-02-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

南海トラフ沿いで想定されるマグニチュード8から9クラスの大規模地震の発生確率は、今後30年以内に70から80%に高まっています。また、地震・津波だけでなく、豪雨による水害や土砂災害についても、全国各地に毎年甚大な被害を与えており、自治体による適切な避難情報の発令や住民が適切に避難行動をとれる支援が求められています。

一方、住民一人一人の「自らの命は自らが守る」（自助）、地域住民が連携して「地域の安全はみんなで守る」（共助）意識の向上、日頃からの備え、発災時における命を守るための主体的な行動、地域住民相互の助け合いなど、地域防災力の向上が求められています。

また、大規模災害による復旧・復興が長期化することで、人口流出や地域活力の衰退が懸念されており、事前の復興手順や体制、復興後のまちづくり計画など事前復興の取組が求められています。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.04 (2.95)	2.96 (2.92)	3.04 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.73 (3.67)	3.86 (3.72)	3.77 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町民、行政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>地域に密着し機能する持続可能な防災地域社会システム（防災文化）を創造することにより、町の防災力・減災力が向上し、被害が少なくなっています。</p>
---------------------------	---

施策の成果状況と評価

指標	自然災害による死傷者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【防災対策課】	人	0	0	2	0	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 自然災害による死傷者数は2人で、平成25年度より0人を維持していましたが、初めて自然災害での負傷者が発生しました。</p> <p>(原因) 令和6年4月に発生した豊後水道を震源とする震度6弱の地震や、8月末に発生した台風第10号など、大規模な災害が発生したことが影響しています。</p>	(人)					☂ (低下)
							☂ (低下)
							■ (低)

指標	自然災害による被害戸数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【防災対策課】	棟	0	0	12	0	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 令和5年度は0棟で順調に推移していましたが、大規模な地震が発生したため、一部損壊の住家被害が12棟発生しました。</p> <p>(原因) 令和6年4月に豊後水道を震源とする震度6弱の地震が町域で発生したためです。</p>	(棟)					☂ (低下)
							☂ (低下)
							■ (低)

施策のコスト（千円）

R05	R06
252,824	216,927

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-01 家庭の防災力の向上

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>一人ひとりが、日頃から災害に対する心構えを身につけ、災害に対する備えを行い、自分の命は自分で守る（自助）ことができるようになっています。</p>
--------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	家庭での防災対策実践項目数（全12項目における平均実践度）	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	目標値（R07）	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	項目	3.65	3.6	3.9	7	☀️ (向上)
評価	<p>（状況）令和6年度の「家庭での防災対策実践項目数」は、3.9項目で、基準値より0.25ポイント上昇し、順調です。</p> <p>（原因）令和6年4月に発生した大規模な地震を契機に、住民の防災への関心が高まったことと、防災対策にかかる各種補助制度を見直し、利用者の負担軽減が図られたことが影響していると考えられます。</p>					☀️ (向上)	
							☀️ (向上)
							■ (中)

指標	住宅の新耐震基準適合率	単位	基準値	実績値（R05）	実績値（R06）	目標値（R07）	対基準値
	上がると良い指標 【防災対策課】	%	54.3	55.5	55.7	90.0	☁️ (横ばい)
評価	<p>（状況）令和6年度の住宅の新耐震基準適合率は55.7%で、前年度より0.2ポイント増加していますが、横ばい状態です。</p> <p>（原因）耐震診断の申請件数は増加しているものの、耐震工事までに至る物件が少ない状況です。耐震化率の上昇は自然的な住宅更新によるものです。</p>					☁️ (横ばい)	
							☁️ (横ばい)
							■ (中)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
10,980	12,308

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-02 地域の防災力の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 自主防災組織	基本事業がめざす姿 災害時に地域住民が連携協力し合えるよう、自主防災組織が活性化し、日頃から防災教育や訓練などを行い、自分たちの地域は自分たちで守る（共助）ことができるようになっていきます。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
訓練等を実施している自主防災組織の割合	%	19.3	29.0	53.4	50.0	対基準値
上がると良い指標	【防災対策課】					☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度は53.4%で、前年度より24.4ポイント、21組織の増加となり、前期目標値を達成しました。 (原因)近年頻発化する自然災害により、住民の防災に対する関心が高まってきており事業に影響していると考えられます。御荘地域全体で総合防災訓練を実施したことも実施率の増加に大きく寄与しています。					☀️ 対前年度 (向上)
						☀️ 目標達成度 (達成)
避難支援プラン個別計画の整備割合	%	12.1	8.4	28.3	50.0	対基準値
上がると良い指標	【防災対策課】					☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度は28.3%で、基準値より16.2ポイントの増加となり、前年度と比較して向上しました。 (原因)居宅介護支援事業所等と委託契約を結び、福祉専門職等の協力を得て、個別避難計画の作成に取り組んだ結果です。今後も、個別避難計画の作成に向けて福祉専門職や関係課等と協力して、戸別訪問等を実施していく必要があります。					☀️ 対前年度 (向上)
						☀️ 目標達成度 (中)
地区防災計画を策定している自主防災組織の割合	%	0	3.5	3.5	50.0	対基準値
上がると良い指標	【防災対策課】					☁️ (横ばい)
評価	(状況)令和6年度は3.5%と86組織中3組織で作成済みです。前年度と比較し増減はなく横ばいです。 (原因)作成にあたりノウハウが乏しく作成が進んでいないことが要因として考えられます。目標値を達成するためには啓発活動のみならず、作成済み地域の事例を横展開していく必要があります。					☁️ 対前年度 (横ばい)
						☁️ 目標達成度 (低)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
15,735	53,708

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-03 継続的・普遍的な防災教育・学習の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、町全体	基本事業がめざす姿 迫りくる未曾有の危機に対する正しい知識をもち、学校・家庭・地域の連携で自分の命は自分たちで守る「生き抜く力」を育て、親から子、子から孫へと継承されていく防災地域社会システム（防災文化）ができています。
-------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	社会教育における防災教育プログラムを履修した延べ町民数 上がるの良い指標 【防災対策課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和6年度は、20,328人で前年度より4,893人増加し、基準値と比べても10,128人の増加で、前期目標値を達成しました。 (原因) 令和6年度は、隔年で実施している町総合防災訓練を御荘地区で実施したことで地区住民の訓練参加者が多かったことが大幅に増加した原因だと考えられます。	人	10,200	15,435	20,328	18,000	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
指標	義務教育課程における防災教育プログラムを履修した延べ児童・生徒数 上がるの良い指標 【防災対策課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
評価	(状況) 令和6年度に義務教育課程における防災教育プログラムを履修し卒業した中学生は102人で、延べ2,441人となり前期目標値を達成しました。 (原因) 各学校等において防災学習等が行われ、児童・生徒は「自分の命は自分が守る」という「自助」の意識を持ち、積極的に防災学習や避難訓練などに取り組んでいます。	人	1,945	2,339	2,441	2,400	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
955	1,316



政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-02 防災・減災対策の推進

基本事業 04-02-05 防災・減災ハード対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町管理道ほか	基本事業がめざす姿 防災・減災のための道路や砂防等の工事を行い、安全性を高めます。災害時の復旧をおこないます。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	防災・減災のハード対策が完了した件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標	【建設課】	件	45	45	50	45
評価	(状況) 防災・減災のハード対策が完了した件数は50件の実施となり、目標を達成しました。 (原因) 梅雨前線豪雨等による災害復旧工事数が全体の6件に増加したものの、老朽危険空き家除却数が全体の31件、6割超えの対策を講じたことによるものです。						(横ばい)
							目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
191,425	106,991

**政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり**

**施策 04-02 防災・減災対策の推進**

**基本事業 04-02-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
16,304	20,039

## 政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

#### 施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策を実現する手段

##### 基本事業 04-03-01 消防力の強化

##### 基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

##### 基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

##### 基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

##### 基本事業 04-03-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

大雨、台風及び地震による自然災害、突発的に発生する感染症対策など消防を取り巻く環境は大きく変化しています。この環境変化に対応し、消防は住民の生命、財産を守らなければなりません。そのためには、消防力の整備指針に基づき、計画的な消防車両の更新や資機材の整備を行い、職員が専門的な知識を身に付けるため各種研修を受講し、訓練を重ね多様化する災害に対応する必要があります。

また、平成27年に運用を開始した消防通信指令台の更新、修繕については費用が高額なため計画的に行う必要があります。高齢化が進む中、救急件数は年間で1,300件を超え過去最多となりました。長時間の搬送になる管轄外搬送も救急件数の25.6%を占めており割合が高くなっています。このため、搬送途上での高度な処置、観察を行う必要があるため、救急救命士の養成を引き続き行う必要があります。さらに、火災を予防するため、不特定多数の人が利用する建物や高齢者が入所している施設などの予防査察を強化し、消防用設備の点検、設置状況を確認して違反等があれば是正していくことに努めます。一般住宅では住宅用火災警報器の多くが設置から10年以上経過し、電池の交換が必要になることから維持管理の啓発を推進しています。

地域防災の要である消防団では、団員数の減少や高齢化のほか団員のサラリーマン化等により、防災力が低下している地域も見られます。このため、少ない団員数で災害対応可能な資機材等を導入するほか、新規団員の確保と現役団員の退団等を防ぐため、団員の報酬や出動手当等の処遇改善を行っています。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.19 (2.95)	3.13 (2.92)	3.14 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.65 (3.67)	3.70 (3.72)	3.68 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

施策のプロフィール

<b>施策の対象</b> 町民、消防団、消防職員	<b>施策がめざす姿</b> 施設及び人員を活用して、生命、身体及び財産を守り、被害を軽減することによって、安心安全な町になります。
-----------------------------	---

施策の成果状況と評価

指標	1万人当たりの火災発生件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	件	5.39	3.62	2.64	2	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和6年度に発生した火災は、建物火災2件、車両火災1件、林野火災0件、その他の火災2件で合計5件の火災が発生しました。令和6年4月1日現在の愛南町の人口は18,878人で、1万人当たりの火災発生率は2.64件となり、前年より0.98件向上しました。 (原因) 不注意により発生した火災が減少したことが影響していると考えられます。					☀️ (向上)	
		対前年度	☀️ (向上)	目標達成度	☐ (高)		
指標	火災による損害額	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	千円	20,276	4,575	4,561	1,000	☀️ (向上)
評価	(状況) 令和6年度に発生した火災は、建物火災2件、車両火災1件、林野火災0件、その他火災2件、合計5件でした。損害額は4,561千円となり、基準値より15,715千円減少しました。 (原因) 建物火災が2件発生しましたが、1件当たりの損害額が低かったことが要因に挙げられます。					☀️ (向上)	
		対前年度	☁️ (横ばい)	目標達成度	☐ (高)		
指標	救急車の平均到着時間	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	分	10	10.2	10.1	9	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和6年度の救急出場件数は1,347件であり、救急車の現場までの平均到着時間は10.1分で、基準値に0.1分届きませんでした。 (原因) 現場までの到着時間が短縮できていない要因として、城辺・御荘地区以外の救急が29.6%を占めており、現場までの走行距離が長いことが要因と考えられます。					☁️ (横ばい)	
		対前年度	☁️ (横ばい)	目標達成度	☐ (高)		
指標	救急車の平均収容時間	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	119番通報を受けてから病院に収容するまでに要した時間 下がると良い指標	分	41.6	39.7	44.2	39.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和6年度の傷病者搬送人員は1,253人であり、救急車の平均収容時間は、44.2分でした。基準値に2.6分達することができませんでした。 (原因) 病院収容まで時間のかかる管轄外搬送が増加したことが要因と考えられます。					☔️ (低下)	
		対前年度	☔️ (低下)	目標達成度	☐ (高)		

施策のコスト(千円)

R05	R06
577,835	527,205

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-01 消防力の強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 消防施設、消防車両、消防職員	基本事業がめざす姿 国が定める消防力の整備指針に基づく基準人員、装備の確保及び設備更新をすることにより消防力を強化します。
---------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	消防力基準の達成率（装備）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	100	100	100	100	(横ばい)
評価	(状況) 消防力の整備指針に基づき、消防ポンプ自動車、救急自動車、救助工作車を配備しており、老朽化した車両は随時更新を行い基準値を達成しています。 (原因) 車両の整備を行い計画的に更新することで消防力を維持しています。						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
指標	消防力基準の達成率（人員）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標	%	69.6	71.0	75.4	72.5	(向上)
評価	(状況) 消防力の整備指針に基づく基準人員は69名、令和6年度の消防職員数は52名で75.4%となり基準値、目標値ともに達成しました。消防職員52名の内、行政職員が9名含まれており、43名の消防吏員で消防業務を行っています。管轄外搬送を含む救急件数が増加しているなか、隔日勤務者の人員が少ないため、救急出場等が重複した場合は非番職員を招集し災害に対応しています。 (原因) 令和6年度から職員定数を50名から55名に改正したことにより1名の消防吏員と2名の行政職員が増員されたことが要因と考えられます。						(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
143,624	46,214

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-02 救急救命体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、消防職員	基本事業がめざす姿 町民による救命、救急車の適正利用等により、救急救命体制が充実し、救命率の向上を図ります。
--------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	町民による心肺停止傷病者への心肺蘇生法実施率	%	44.4	53.2	53.6	100	☀️ (向上)
	上がると良い指標 【消防本部】	(%)					☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (中)
評価	(状況) 令和6年度心肺停止傷病者は28人であり、現場に居合わせた町民が心肺蘇生法を実施した人数は15人でした。心肺蘇生法実施率は基準値より9.2ポイント向上しました。 (原因) より多くの住民が救命講習を受講することで、救急要請時の口頭指導により積極的に心肺蘇生法を実施したことが要因と考えられます。						
指標	管外搬送件数	件	206	273	345	180	☔️ (低下)
	下がると良い指標 【消防本部】	(件)					☔️ (低下) 対前年度 ☔️ (低下) 目標達成度 ■ (中)
評価	(状況) 令和6年度の管轄外搬送は345件となり、基準値に届きませんでした。また、救急件数の25.6%を管轄外搬送が占めている状況です。 (原因) 町内基幹病院の医師不足により緊急手術ができず、宇和島市、宿毛市などの救急病院へ搬送しなければならない状況が継続しているためです。						
指標	軽症者の搬送割合(転院搬送を除く)	%	38	45.7	42.9	30	☔️ (低下)
	下がると良い指標 【消防本部】	(%)					☔️ (低下) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (中)
評価	(状況) 令和6年度の転院搬送を除く軽症者の搬送割合は搬送人員1022人中438人で、基準値に4.9ポイント届きませんでした。 (原因) 救急車の適正利用に対する意識がまだ低いことが要因だと考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
6,019	10,400

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-03 火災予防体制の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、事業者	基本事業がめざす姿 消防法令に基づく消防用設備等の設置により、火災の被害を軽減します。
-------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	消火器と住宅用火災警報器の両方を設置している世帯割合 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		上がると良い指標	%	15.55	9.5	10.6	25.00
評価	(状況) 消火器と住宅用火災警報器の両方を設置している世帯の割合は基準値に4.95ポイント届きませんでした。総務省消防庁の調査では町内の住宅用火災警報器の設置率は53.7%となっています。 (原因) 住宅用火災警報器は設置の義務がありますが、消火器は設置の義務がないため、両方を設置している世帯の割合が低くなっていると考えられます。						
指標	火災予防条例等関連法に違反している事業所数 【消防本部】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		下がると良い指標	事業所 (事業所)	0	0	0	0
評価	(状況) 管内の防火対象物851件と危険物施設86件に火災予防条例等関連法に違反している事業所はなく基準値を達成することができました。 (原因) 定期的に予防査察を実施していることが要因と考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
83	79

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-03 消防・救急体制の充実

基本事業 04-03-04 消防団の充実強化

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 消防団	基本事業がめざす姿 地域防災の要となる消防団員が確保され、火災や災害時等に出勤し機能的に活動することで、被害を軽減しています。
----------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	火災時消防団員出勤率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【消防本部】	%	35.7	26.1	41.8	40.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況) 火災時の消防団員出勤率は41.8%で、前年度より15.7ポイント増加しており、前期目標値を達成している状況です。 (原因) 団員の多くは地区外で勤務していますが、火災への出勤には対応できており、出勤率の増加に繋がっています。						
指標	災害等の消防団年間出勤人数(火災以外)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	その他の指標 【消防本部】	人	501	187	143	-	比較不可
評価	(状況) 災害等における消防団の出勤人数は143人で、前年度より44人減少しています。 (原因) 前年に比べ風水害の発生数が少なかったことが原因と思われる。						比較不可 対前年度 比較不可 目標達成度 ---

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
104,468	114,840

**政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり**

**施策 04-03 消防・救急体制の充実**

**基本事業 04-03-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
323,641	355,672

## 政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

#### 施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策を実現する手段

##### 基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

##### 基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

##### 基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

##### 基本事業 04-04-04 消費生活の安定

##### 基本事業 04-04-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

町内の交通事故発生件数は減少傾向にありますが、依然として高齢者が当事者となるケースが多くなっています。高齢者の交通安全意識の高揚を図るため、啓発事業を行っています。

町内で発生した刑法犯のうち、窃盗犯の認知件数が多数を占めています。令和6年度は、町内でエアコン室外機の窃盗事件が多発したため、例年より認知件数が大幅に増加しています。また、年々巧妙化する振り込め詐欺等特殊詐欺と思われる予兆事案も後を絶ちません。防犯意識の高揚を図るため、愛南警察署、愛南地区防犯協会等と連携し、啓発事業を行っています。

施設整備の面では、事件・事故を未然に防ぐため、道路反射鏡（カーブミラー）やガードレール（ガードパイプ）の整備を行うほか、地区が整備する防犯灯に対して補助を行っています。令和6年度には他市町で道路反射鏡が転倒し怪我人がでる事故が発生したため、愛南町内のカーブミラー一斉点検を実施しました。

消費生活については、町民が安全に消費生活を送ることができるよう、消費生活相談窓口により、トラブルに対処しています。さらに、町民に対して情報提供や注意喚起を行い、多様化・複雑化している消費者トラブルの未然防止に取り組んでいます。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.07 (2.95)	3.01 (2.92)	3.05 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.60 (3.67)	3.68 (3.72)	3.62 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	交通事故の発生が抑制されます。 犯罪の発生が抑制されます。

施策の成果状況と評価

指標	交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	17	7	9	15	対基準値 (向上)
評価	(状況)交通事故発生件数は9件で、前年度より2件増加しており停滞しています。基準値及び目標値ともを上回りました。 (原因)愛南警察署や南宇和交通安全協会など関係機関による交通安全啓発活動が推進され、交通安全意識の高揚が図られたためと考えられます。	<p>対前年度 (低下)</p> <p>目標達成度 (達成)</p>					
指標	刑法犯認知件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	65	61	120	60	対基準値 (低下)
評価	(状況)刑法犯認知件数は120件で、前年度より59件増加しており停滞しています。基準値及び目標値に届きませんでした。 (原因)町内でエアコン室外機の窃盗事件が多発したため、認知件数も大幅に増加しました。室外機窃盗事件は全て検挙されており、検挙件数も大幅に増加しています。	<p>対前年度 (低下)</p> <p>目標達成度 (低)</p>					

施策のコスト(千円)

R05	R06
28,529	30,385

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-01 交通安全意識の高揚

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 町民（特に高齢者）、交通安全協会	<b>基本事業がめざす姿</b> 町民、特に高齢者の交通安全意識が高まり、交通事故の発生が抑制されます。
------------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	町民が第1当事者となった交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	件	17	6	9	15	☀️ (向上)
評価	(状況) 町民が第1当事者となった交通事故発生件数は9件で、前年度より3件増加しており停滞しています。基準値及び目標値を共に上回りました。 (原因) 愛南警察署や南宇和交通安全協会など関係機関による交通安全啓発活動が推進され、交通安全意識の高揚が図られたためと考えられます。	(件)					☔️ (低下)
							🏆 (達成)

指標	高齢者の交通事故発生件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【総務課】	件	15	4	5	15	☀️ (向上)
評価	(状況) 高齢者の交通事故発生件数は5件で、前年度より1件増加しており、停滞しています。基準値及び目標値を上回りました。 (原因) 愛南警察署や南宇和交通安全協会など関係機関による交通安全啓発活動が推進され、交通安全意識の高揚が図られたためと考えられます。	(件)					☔️ (低下)
							🏆 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
8,719	8,488

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-02 交通安全施設の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、町道	基本事業がめざす姿 必要な交通安全施設が整備され、危険箇所が少なくなります。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	ガードレール（ガードパイプ）整備延長距離数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【建設課】	m	284.5	478.2	709.6	1,000	☀️ (向上)
	(状況) 令和6年度のガードレール（ガードパイプ）整備延長距離数は231.4m（9工事）で、基準値と比べて53.1mの減少となりました。 (原因) 地区要望等により順次必要なガードレールやガードパイプの整備を図ったことにより、単年度の整備延長、件数が減少したものと考えます。						☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (高)

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	安全性確保のために新設及び修繕したカーブミラー箇所数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【総務課】	件	24	72	137	100	☀️ (向上)
	(状況) 令和6年度に安全性確保のために新設及び修繕したカーブミラー箇所数は65件（新設10件、改修49件、角度調整6件）で、前年度より24件増加しました。基準値及び目標値共に上回り、順調に推移しています。 (原因) 他市町でカーブミラーが転倒し怪我人が出たため、愛南町でもカーブミラーの一斉点検を実施しました。この点検結果により、老朽化したカーブミラーの改修を実施したため、増加したものです。						☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏠 (達成)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
8,889	11,846

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-03 防犯対策の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民	基本事業がめざす姿 防犯意識が向上するとともに、防犯環境の整備を進め、犯罪の発生が抑制されます。
---------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	日常生活で犯罪被害に対する不安を感じることがない町民割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	%	92.2	89.4	87.3	90.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)日常生活で犯罪被害に対する不安を感じることがない町民割合は87.3%で前年度より2.1ポイント減少しましたが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲であるため、横ばい状態です。基準値及び目標値ともを下回りました。 (原因)令和6年は刑法犯の認知件数が前年に比べ大幅に増加しており、住民に身近な犯罪である窃盗事件や暴行、傷害事件が全刑法犯の大部分を占めているため、町民の体感治安の改善に至っていないものと考えられます。						☁️ (横ばい) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
10,116	8,974

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-04 暮らしの安全対策の推進

基本事業 04-04-04 消費生活の安定

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 消費生活に対する意識が高まり、消費者トラブルが減少します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
消費者トラブルにあった・あいさうになった町民割合 【商工観光課】 下がると良い指標	%	0.6	8.4	10.7	0.4	☔ (低下)
(状況) 消費者トラブルにあった・あいさうになった町民割合は10.7%で、前年度より2.3ポイント増加し、基準値を10.1ポイント上回っており、前期目標値にも届いていません。 (原因) インターネット利用の拡大により、通信販売等の消費者トラブルが幅広い年齢層に及んでいることが原因と考えられます。						☔ (低下)
(状況) 消費者トラブルに対する対策を知っている町民割合は58.5%で、前年度から1.3ポイント増加しましたが、基準値を0.8ポイント下回っており、前期目標値にも届いていません。 (原因) 多様化・複雑化する消費者トラブルに対する情報提供や啓発が追い付いていないことが原因と考えられます。						☁ (横ばい)
消費者被害救済割合 【商工観光課】 上がると良い指標	%	71	81.8	84.8	90	☀ (向上)
(状況) 消費者被害救済割合が84.8%で、基準値を13.8ポイント上回っており、前年度に比べ3ポイント増加していますが、前期目標値には届いていません。 (原因) 専門の消費生活相談員と連携することにより、成果向上に結びついたと考えられます。						☀ (向上)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
805	1,077

**政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり**

**施策 04-04 暮らしの安全対策の推進**

**基本事業 04-04-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
0	0

## 政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策を実現する手段

#### 基本事業 04-05-01 成果重視の行政経営の推進

#### 基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

#### 基本事業 04-05-03 健全な財政運営

#### 基本事業 04-05-04 ICTによる情報の適切な管理と利活用

#### 基本事業 04-05-05 公共施設マネジメントの推進

#### 基本事業 04-05-06 シティプロモーションと移住定住の促進

#### 基本事業 04-05-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

協働によるまちづくりは、愛南町自治基本条例に明記されているとおり、町民が主体的に町政に参画できる機会を提供するとともに、町政情報を公開することにより透明性のある町政を推進します。

過疎・高齢化が進展し、町の周辺地域においては衰退が著しい地区も発生してきています。地区（自治会）や公民館活動の活性化は、コミュニティの形成に直結する課題であり、地域の意向を踏まえ、直面する課題を解決するために連携した取組を進めることで地域コミュニティの充実を図ります。

時代の変化に伴い多様化していく行政ニーズに対応するため、NPO法人、ボランティア団体などの多様な主体と連携・交流し、福祉、産業等の分野でまちづくりに活かします。

広報紙、ホームページ、SNS等の広報媒体を効果的に利用して、行政情報や町の出来事を町民に分かりやすく伝えるとともに、公募委員や意見表明制度等により町民の声を反映し、町民と行政の一体化を図ります。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.90 (2.95)	2.88 (2.92)	2.91 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.65 (3.67)	3.66 (3.72)	3.65 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

施策のプロフィール

<p>施策の対象</p> <p>町の行財政</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>効率的で計画的な行財政運営がなされています。</p>
---------------------------	--

施策の成果状況と評価

指標	総合計画(施策・基本事業)の成果指標目標値の達成割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	31.0	32.1	38.1	50	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 46の施策成果指標(本施策を除く)の内、10の施策、219の基本事業成果指標の内、91の基本事業において目標を達成し、前年度より6.0ポイント向上しました。</p> <p>(原因) 第3次前期基本計画(R4年度~R8年度)3年目の評価であるためです。次年度は前期計画の最終年度となり、目標を達成する施策や基本事業が増える見込みです。</p>						☀️ (向上) 対前年度
							☀️ (向上) 目標達成度
							■ (中)

指標	町の行財政運営が効果的・効率的に行われていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	80.4	75.7	82.5	90.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 町の行財政運営が効果的・効率的に行われていると思う町民の割合は82.5%で、前年度と比較し6.8ポイント向上しました。</p> <p>(原因) 広報等により町の予算執行状況を公開していることが影響していると考えられます。</p>						☀️ (向上) 対前年度
							☀️ (向上) 目標達成度
							■ (低)

指標	実質公債費比率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	%	8.1	10.0	10.0	8.7	☁️ (横ばい)
評価	<p>(状況) 実質公債費率は10.0%で、前年度と同様でした。</p> <p>(原因) 元利償還金の減(分子)がありますが、基準財政需要額に算入される公債費(分子)も減少したことが主な要因となっています。今後は、元利償還金がさらに減少していくため、目標値に向かって推移していくと見込んでいます。</p>						☁️ (横ばい) 対前年度
							☁️ (横ばい) 目標達成度
							■ (高)

指標	将来負担比率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【企画財政課】	%	0	0	0	0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 将来負担比率は地方債残高等の負担見込額に対し、その負担額を上回る基金などの財源があるため指数として算出されず、0%のまま順調に推移しています。</p> <p>(原因) 地方債発行額が元金償還額の範囲内となり、結果地方債残高が1,344,537千円減少したことが主な向上の要因となっています。</p>						☀️ (向上) 対前年度
							☀️ (向上) 目標達成度
							🏰 (達成)

施策のコスト(千円)

R05	R06
5,685,681	6,233,452

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-01 成果重視の行政経営の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
行政	P D C Aサイクルが確立され、成果重視の行政経営が推進されています。

基本事業の成果状況と評価

指標	成果向上した事務事業割合（通常評価のみ）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	18.8	20.1	19.4	50.0	(横ばい)
	見直し割合(11.0)を含まない基準値へ修正	(%)					(横ばい)
評価	(状況) 第3次総合計画の3年目の成果指標です。 (原因) 今後も、PDCAサイクルによる事業評価を確実に実行することにより、成果は向上すると考えます。						対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)

指標	行政改革提案実施件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【総務課】	件	8	7	7	8	(横ばい)
評価	(状況) 令和6年度は、7件で1ポイント目標値に届きませんでした。 (原因) 職員や行政改革推進委員会からの政策・業務改善提案のうち、単年度で実施を決定するには難しい提案が複数あり、継続して検討していることが原因です。						対前年度 (横ばい) 目標達成度 (高)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
36,025	36,085

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-02 人材育成と効率的な組織運営

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政	基本事業がめざす姿 職員が育成され、働きやすい職場環境で効果的・効率的な組織・人事管理がされています。
---------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
研修受講者の割合 上がると良い指標 【総務課】	%	100	100	100	100	(向上) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
評価 (状況) 職員の研修受講者の割合は100%で、総合計画基準値と比較して増減はなく、前年度と変わりなく職員研修が実施されており、目標を達成しています。 (原因) 職場研修では、職員の階級別実施したメンタルヘルスケア研修や人権研修、ハラスメント防止研修会といったサービス関係の研修等を行いました。職場外研修では、愛媛県や町村会、市町村アカデミー主催の研修に職員の派遣を行いました。計画的に研修を行っていることが、達成の要因と考えています。						
町職員の対応ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合 上がると良い指標 【総務課】	%	30.6	32.9	31.4	35.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (高)
評価 (状況) 町職員の対応ぶりや仕事ぶりに満足している町民の割合は、31.4%で、総合計画基準値と比較して0.8%の増加となり、目標値35.0%に近づきました。 (原因) 会計年度任用職員の任用等で、複雑化かつ多様化する行政サービスに対応した結果、満足度が上がったものと考えられます。 成果指標の値である住民アンケート回答割合の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。						
年次有給休暇取得5日未満の職員数の割合 下がると良い指標 【総務課】	%	34.5	15.3	15.0	15.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (高)
評価 (状況) 年次有給休暇取得5日未満の職員数の割合は15.0%で、総合計画基準値より19.5ポイント減少し、目標値に近づいています。 (原因) 特定事業主行動計画(後期計画)を令和3年度に策定し、目標として掲げた「年次有給休暇の平均取得日数10日」を周知啓発したことが影響していると考えられます。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
0	0

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-03 健全な財政運営

基本事業のプロフィール

<b>基本事業の対象</b> 町の自主財源、町民、町の財政	<b>基本事業がめざす姿</b> 自主財源の安定的な確保を図るとともに、中長期的な視点に立った健全な財政運営を行います。
----------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
一人当たりの地方債残高 【企画財政課】	千円	887	742	691	756	(向上)
下がると良い指標	(千円)					対前年度 (向上)
評価						目標達成度 (達成)
(状況) 住民一人あたりの地方債残高は令和6年度末で691千円となり、昨年度と比較し51千円減少しており、順調に推移しています。 (原因) 令和6年度末の人口は18,337人となっています。人口の減少幅に比べ、地方債残高の減少幅が大きいことが要因です。						
町税の収納率 【税務課】	%	97.6	97.69	98.04	98.0	(横ばい)
上がると良い指標	(%)					対前年度 (向上)
評価						目標達成度 (達成)
(状況) 滞納者数は前年度に比べ23人減少し、収納率は0.35ポイント向上しました。 (原因) 財産調査を積極的に実施し、適性かつ的確な滞納整理を実施したことが原因と考えられます。						
経常収支比率 【企画財政課】	%	99.5	92.6	95.9	94.0	(向上)
下がると良い指標	(%)					対前年度 (低下)
評価						目標達成度 (中)
(状況) 経常収支比率は95.9%で、前年度と比較し3.3ポイント悪化しました。 (原因) 普通交付税や臨時財政対策債発行可能額の減少などにより歳入は減少する一方で、給与改定に伴う人件費の増加などにより経常的な歳出が増加したことが原因です。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
24,225	24,116

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-04 ICTによる情報の適切な管理と活用

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民、行政、事業者</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>適正な情報管理がされるとともに、ICTの活用で行政サービスの向上と効率化が進んでいます。</p>
---------------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	ICTを活用した行政サービス改善件数及び新規導入件数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0	1	1	1	☀️ (向上) 対前年度 ☁️ (横ばい) 目標達成度 🏰 (達成)
評価	(状況)令和6年度は、ICTを活用した行政サービスの新規導入件数が0件となっています。 (原因)各種窓口手続きの利便性向上を図るための行政サービス改善について検討に取り組んでいますが、令和6年度の予算化には至りませんでした。						
指標	情報システムにおける事故件数（セキュリティ及びシステムダウン等） 下がると良い指標 【総務課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0	0	0	0	☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)
評価	(状況)システムダウン件数は0となっており、目標値を達成しています。 (原因)各種システムの監視体制及び障害発生時の対応手順等の整備により、障害発生時に迅速に対応できていることが要因と考えます。また、機器及びシステム異常等のログの確認並びに機器の点検を定期的実施していることが安定稼働につながり、成果に結びついたと考えられます。						

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
377,681	427,912

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-05 公共施設マネジメントの推進

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>公共建築物、公園</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>公共建築物の総量の適正化が図られ、管理費が抑制されています。公園が適正に維持管理され、安全に利用できます。</p>
--------------------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	公共建築物の管理費（日常管理、修繕、改修）	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【企画財政課】	千円	511,891	636,260	593,998	486,296	☂ (低下)
評価	<p>(状況) 令和6年度の指標値は、593,998千円で前年度比42,262千円の減少となりました。</p> <p>(原因) 前年度に比べ大規模な工事が少なかったことが要因です。</p>						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)				
							■ (中)
							■ (中)
指標	町が公園管理者として責任を負うことになった事故件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【総務課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	<p>(状況) 町が公園管理者として責任を負うことになった事故件数は0件となり目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 年に一度公園の遊具点検を行い、危険だと判断された際には修繕や利用停止など、適切な管理を図っていることが成果に結びついたと考えられます。</p>						☀ (向上)
		対前年度	☀ (向上)				
							☀ (達成)
							☀ (達成)

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
232,607	222,518

政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり

施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進

基本事業 04-05-06 シティプロモーションと移住定住の促進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町外在住者	基本事業がめざす姿 空き家バンク登録件数を増やしたり、町ホームページ・SNSを活用して町の魅力や活動等を積極的にPRし、移住者・定住者が増加します。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	移住に関する情報発信数（掲載媒体、イベント、つぶやき、HP更新数） 上がると良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	25	43	105	55	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況)令和6年度は、105件と目標より大幅に増加し、前年度より62件増加しました。 (原因)新たに移住定住用のInstagramを開設したことが情報発信数増加の要因だと考えます。						
		空き家バンク制度による延べ登録件数（基本計画期間累計） 上がると良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)
	件	36	55	72	57	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)	
評価	(状況)令和6年度は17件登録し、累計で72件となり、目標を達成しました。 (原因)空き家バンク制度の周知（HP等）に力を入れたことが主な要因として考えられます。						
		移住者数 上がると良い指標 【企画財政課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)
	人	71	81	75	140	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)	
評価	(状況)令和6年度は、前年度からは6人減少し、前期目標値にはまだまだ及ばない状況です。 (原因)空き家バンクの登録件数を増やしたり、東京や大阪での移住フェアに参加していますが、移住実績には繋がっていない状況です。交通の利便性などの要件が伸び悩みの大きな原因となっています。						

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
6,121	10,505

**政策 04 自立と協働による安心安全なまちづくり**

**施策 04-05 効果的・効率的な行財政運営の推進**

**基本事業 04-05-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
5,009,022	5,512,316

## 政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

#### 施策 05-01 学校教育の充実

施策を実現する手段

**基本事業** 05-01-01 確かな学力の向上

**基本事業** 05-01-02 ICTを活かした教育の推進

**基本事業** 05-01-03 心の教育の充実

**基本事業** 05-01-04 健やかな体の育成

**基本事業** 05-01-05 安心安全な教育環境の整備

**基本事業** 05-01-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

学校教育法施行規則の一部改正に伴い、学校の実情に合わせて、情報通信技術支援員、特別教育支援員、教員業務支援員等の整備を進め、児童生徒一人一人のニーズに応じた教育の充実に努めました。

GIGAスクール構想により整備したICT環境（一人一台端末や高速大容量のネットワーク等）を適切に活用した学習活動の充実に推進しています。

社会環境の変化に伴う児童生徒や保護者の抱える問題の多様化や、複雑化した家庭環境に応じた心のケアに努めるとともに、継続していじめ問題や不登校問題等に適切に対応しています。特に深刻化するSNSやインターネットを介したいじめ問題の未然防止、保護者への啓発や関係機関と連携して不登校児童生徒への支援に努めています。

学校施設の老朽化が進み、安全・安心な教育環境を維持するため、必要に応じ、迅速且つ計画的な修繕・改修に取り組んでいきます。

児童生徒数の減少が進む中、適切な学校再編により、学校教育活動の充実に努めます。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	2.96 (2.95)	2.98 (2.92)	3.05 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.66 (3.67)	3.67 (3.72)	3.60 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

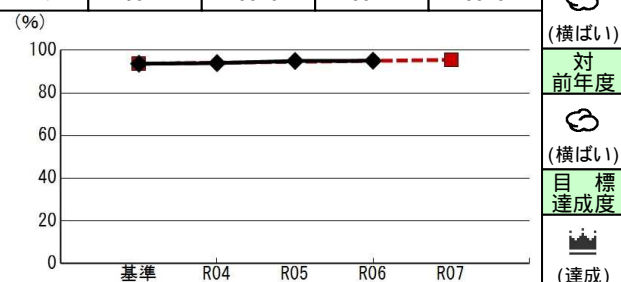
施策 05-01 学校教育の充実

施策のプロフィール

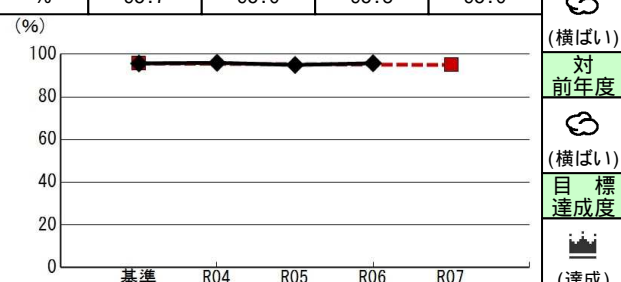
<p>施策の対象</p> <p>幼稚園、小中学校、園児、児童、生徒</p>	<p>施策がめざす姿</p> <p>心身ともに健康な子どもを育成し、教育環境を整備・充実し、安全・安心な学校生活を形成します。</p>
---------------------------------------	---

施策の成果状況と評価

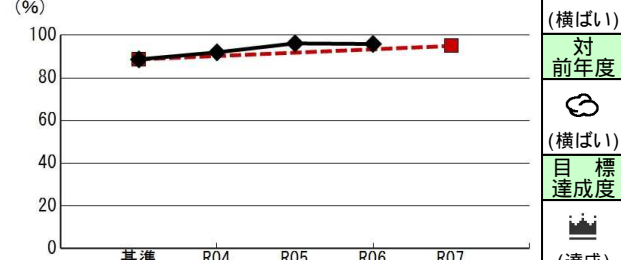
<p>指標</p> <p>楽しく学校生活を送っている児童の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p>	<p>単位</p> <p>%</p>	<p>基準値</p> <p>93.7</p>	<p>実績値 (R05)</p> <p>95.0</p>	<p>実績値 (R06)</p> <p>95.1</p>	<p>目標値 (R07)</p> <p>95.5</p>	<p>対基準値</p> <p>☁ (横ばい)</p>
	<p>評価</p> <p>(状況) 各小学校の学校評価から、95.1%の児童が学校は楽しいと回答しています。内訳は、十分あてはまる60.5%、あてはまる34.6%です。良い評価の「あてはまる」が8.3ポイント上昇しています。</p> <p>(原因) 日頃の授業や学校行事等、学校生活が充実しており、児童や教職員との人間関係が良好であることが考えられます。学校生活が楽しいと思えるように、分かる授業づくり、一人一人の居場所づくり等児童に寄り添った指導や環境づくりの継続の結果であると考えます。</p>					



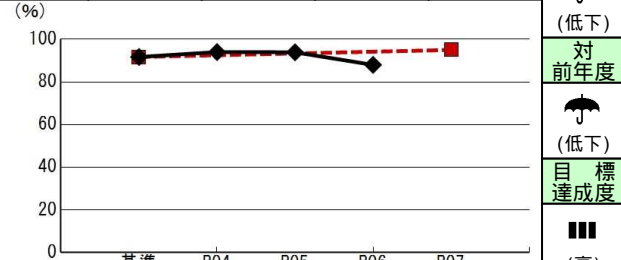
<p>指標</p> <p>児童が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p>	<p>単位</p> <p>%</p>	<p>基準値</p> <p>95.7</p>	<p>実績値 (R05)</p> <p>95.0</p>	<p>実績値 (R06)</p> <p>95.8</p>	<p>目標値 (R07)</p> <p>95.0</p>	<p>対基準値</p> <p>☁ (横ばい)</p>
	<p>評価</p> <p>(状況) 各小学校の学校評価から、95.8%の児童の保護者が児童が楽しく学校生活を送っていると回答しています。内訳は、十分あてはまる51.1%、あてはまる44.7%です。</p> <p>(原因) 学校側のきめ細かな指導等により、教職員と保護者、保護者と学校の関係性が良好であることが考えられます。信頼ある取組を行うとともに、地域とともにある学校づくりを目指し実施している結果であると考えます。</p>					



<p>指標</p> <p>楽しく学校生活を送っている生徒（中学生）の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p>	<p>単位</p> <p>%</p>	<p>基準値</p> <p>88.7</p>	<p>実績値 (R05)</p> <p>96.2</p>	<p>実績値 (R06)</p> <p>95.9</p>	<p>目標値 (R07)</p> <p>95.0</p>	<p>対基準値</p> <p>☁ (横ばい)</p>
	<p>評価</p> <p>(状況) 各中学校の学校評価から、95.9%の生徒が学校は楽しいとの回答しています。内訳は、十分あてはまる62.9%、あてはまる33.0%です。良い評価の「あてはまる」が0.3ポイント上昇しています。</p> <p>(原因) 日頃の授業や学校行事等、互いに協力し合いながら活動に取り組むことが充実感につながっており、良好な人間関係を築くことができていると考えられます。学校生活が楽しいと思えるように分かる授業はもとより、一人一人の生徒に目を向け、小さな問題に対してもスピーディーな対応に努めているためと思われます。</p>					



<p>指標</p> <p>生徒が楽しく学校生活を送っていると思う保護者の割合</p> <p>上がると良い指標 【学校教育課】</p>	<p>単位</p> <p>%</p>	<p>基準値</p> <p>91.7</p>	<p>実績値 (R05)</p> <p>93.9</p>	<p>実績値 (R06)</p> <p>88.0</p>	<p>目標値 (R07)</p> <p>95.0</p>	<p>対基準値</p> <p>☔ (低下)</p>
	<p>評価</p> <p>(状況) 各中学校の学校評価から、88.0%の生徒の保護者が生徒が楽しく学校生活を送っていると回答しています。内訳は、十分あてはまる44.7%、あてはまる43.3%です。</p> <p>(原因) 学校側のきめ細かな指導により、教職員と保護者、保護者と学校の関係性が良好であることが考えられます。継続して個々の生徒に寄り添った指導を行うとともに、生徒が生き生きと活動できるよう、様々な情報発信を通して、保護者や地域との連携を深めているためと思われます。</p>					



施策のコスト（千円）

R05	R06
806,083	714,071

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-01 確かな学力の向上

基本事業のプロフィール

基本事業の対象	基本事業がめざす姿
小中学校	自ら学び考える力を育成し、基礎・基本を定着させることにより確かな学力の向上を図ります。

基本事業の成果状況と評価

指標	授業が分かるという児童の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	95.1	94.5	94.3	95.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況)各小学校の学校評価から、94.3%の児童が授業が分かるかと回答しています。内訳は、十分あてはまる50.7%、あてはまる43.6%です。「あてはまる」の評価が5.8ポイント上昇しています。 (原因)教員の指導方法の工夫や児童への熱心な関わりが見えます。主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善や、個別最適な学びを考えた効果的なICT活用がなされていると考えます。若干のポイントの低下がみられることから、学力の定着のための復習や、個の課題に応じた指導時間の確保など、各校で日頃から時間をかけた取り組みが更に必要であると考えます。						☁️ (横ばい) 対前年度
		☁️ (横ばい) 目標達成度 ■■ (中)					

指標	授業が分かるという生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	89.5	93.9	94.6	95.0	☀️ (向上)
評価	(状況)各中学校の学校評価から、94.6%の生徒が授業が分かるかと回答しています。内訳は、十分あてはまる41.6%、あてはまる53.0%です。最も良い評価の「十分あてはまる」が0.9ポイント上昇しています。 (原因)それぞれの教科での指導方法の工夫がうかがえ、基礎・基本の定着に向けた授業改善の成果と考えます。主体的・対話的で深い学びに向けた学び合い活動、効果的なICT活用など、各校での日頃からの取組も成果として表れているものと思われる。						☀️ (向上) 対前年度
		☀️ (向上) 目標達成度 ■■■ (高)					

指標	学習習慣ができていない児童の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	87.5	79.5	76.9	92.0	☔️ (低下)
評価	(状況)各小学校の学校評価から、76.9%の児童が学習習慣が身に付いていると回答しています。内訳は、十分あてはまる38.8%、あてはまる38.1%です。前年度比2.6ポイント減少しています。 (原因)家庭学習も行われていますが、家庭での学習が習慣化できていなかったり、学年に応じた学習時間の確保ができていない児童が見られました。						☔️ (低下) 対前年度
		☔️ (低下) 目標達成度 ■■ (低)					

指標	学習習慣ができていない生徒の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【学校教育課】	%	59.6	70.5	58.7	85.0	☔️ (低下)
評価	(状況)各中学校の学校評価から、58.7%の生徒が学習習慣が身に付いていると回答しています。内訳は、十分あてはまる20.3%、あてはまる38.4%です。 (原因)各校で自主学習ノートやICTを活用したドリル学習に取り組んでおりますが、習慣化までには至っておりません。						☔️ (低下) 対前年度
		☔️ (低下) 目標達成度 ■■ (中)					

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
111,961	101,332

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-02 ICTを活かした教育の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 児童、生徒、小中学校	基本事業がめざす姿 ICT機器を利用した児童生徒の興味関心の増加と情報リテラシーが向上しています。
-----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
ICT機器を使った学習が楽しいと感じている児童の割合	%	96.0	97.5	97.5	80	(横ばい)
上がると良い指標 【学校教育課】 (状況) ICT機器を使った学習が楽しいと感じている児童の割合は、97.5%となりました。 (原因) 一人一台の端末配備によって、ICTを活用した授業が積極的に行われています。ICT機器を活用することで動画などのデジタル教材によりビジュアルで授業を理解できるようになったことや、パソコンを使った発表が可能になったためと考えられます。						(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (達成)
ICT機器を使った学習が楽しいと感じている生徒の割合	%	93.0	93.6	90.5	80	(低下)
上がると良い指標 【学校教育課】 (状況) ICT機器を使った学習が楽しいと感じている生徒の割合は、90.5%となりました。 (原因) 一人一台の端末配備によって、ICTを活用した授業が積極的に行われていますが、それに伴いパソコンの操作が苦手な生徒が一部いるため減少したと思われる。						(低下) 対前年度 (低下) 目標達成度 (高)
学習端末を使用している児童・生徒の割合	%	85.0	89.5	93.6	80	(向上)
上がると良い指標 【学校教育課】 (状況) 学習端末を学校活動時間内で複数回使用している児童・生徒の割合は、93.6%となりました。 (原因) 一人一台端末の配備により、積極的にICTを活用する授業が積極的に行われていることで、ICT機器が児童生徒にとって文房具となってきています。また、学習用ドリルなどについてもICTを活用しているため、休み時間や宿題など個に応じた学習においても活用しているからだと考えます。						(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
93,646	63,406

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-03 心の教育の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 いじめ・不登校の根絶に努め、家庭や地域と連携した生徒指導の充実を図ります。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
いじめの解消率 上がると良い指標 【学校教育課】	%	95.6	100	100	100	☁️ (横ばい)
(状況) 令和6年度は100%で、基準値、目標値に達しています。 (原因) 各校で児童・生徒のサインに気付くなどのいじめの認知と、教育委員会や警察等の関係機関との連携による適切な初期対応を行った結果であると言えます。						☁️ (横ばい) 対前年度
評価 (達成)						☁️ (横ばい) 目標達成度
評価 (達成)						☁️ (横ばい) 目標達成度
不登校の児童・生徒数 下がると良い指標 【学校教育課】	人	4	12	15	0	☔️ (低下)
(状況) 令和6年度は15名で、基準値、目標値を大幅に上回っています。 (原因) 社会環境の多様化や複雑化した家庭環境など不登校の要因は、様々で「どの子にでも起こりうる」のが現代の不登校の社会状況です。目標値とは乖離がありますが、多様な要因や背景のある不登校を一括に取り扱うことなく、事案ごとに保護者や関係機関と連携しながら丁寧に対応しています。						☔️ (低下) 対前年度
評価 (低)						☁️ (横ばい) 目標達成度
評価 (低)						☁️ (横ばい) 目標達成度
専門機関等へつなげた不登校児童生徒の割合 上がると良い指標 【学校教育課】	%	100	75	87	100	☁️ (横ばい)
(状況) 令和6年度は87%で、基準値、目標値には届いていません。 (原因) 各校で不登校対応の体制を整え、それぞれの役割の中で行動しています。基準値、目標値には届いていませんが、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを派遣し、不登校児童生徒や保護者とのカウンセリングを繰り返しているものの、関係機関が入ることに抵抗を感じる家庭も少なからずあることが要因であると考えます。						☁️ (横ばい) 対前年度
評価 (向上)						☁️ (横ばい) 目標達成度
評価 (中)						☁️ (横ばい) 目標達成度

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
4,481	4,937

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-04 健やかな体の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 健康的な生活習慣の形成を図り、運動を通じて体力を養います。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	愛媛県体力標準値で県平均を上回っている項目数の割合（小5・中2） 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		%	90.6	75.0	84.4	90.0	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 令和6年度は321項目中271項目で県平均を上回っており84.4%の達成率ですが、基準値、目標値には達していません。内訳は、各8項目中、小学5年男女ともに6項目、中学2年男子が7項目、女子が全項目で県平均を上回っています。 (原因) 総合点では県平均を上回っていますが、苦手とする項目があることが要因の一つと考えられます。今後継続して運動に親しむ習慣を身に付けさせることで、成長とともに体力の向上が期待されると考えます。						☀️ (向上)
		目標達成度 ■■■ (高)					

指標	パーフェクト自己新記録賞の割合（小5・中2） 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		%	83.3	42.7	32.9	90.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和6年度は32.9%で、基準値、目標値に達していません。 (原因) 8項目全てが、昨年度の記録よりも向上しなければならなかったため、達成者が少なかったと考えられます。学校体育以外の面で運動に親しむための啓発は行っておりますが、熱中症等の対策により、運動時間の確保が難しくなっているためと思われる。						☔️ (低下)
		目標達成度 ■■ (中)					

指標	健康診断における精検者の受診率 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		%	65.0	29.1	30.5	100	☁️ (横ばい)
評価	(状況) 要精検者の受診率は30.5%で、総合計画基準値、目標値には大きく届きませんでした。この指標の基となる要請検者数及び検診者数は、検査項目ごとの合計件数となっています。 (原因) 要精検対象児童生徒及び保護者への受診勧奨をしていますが、受診の必要性を強く感じる保護者が少ないことが要因と考えられます。						☀️ (向上)
		目標達成度 ■■ (低)					

指標	基本的な生活習慣ができている児童・生徒の割合（早寝早起き、朝ごはんを食べている、あいさつなど） 上がると良い指標 【学校教育課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		%	86.5	87.5	85.4	95.0	☔️ (低下)
評価	(状況) 令和6年度は85.4%で、基準値を満たしていません。また目標値では小学校は86.0%、中学校は84.5%であり、昨年度と比較すると小学校が3ポイント減少しました。 (原因) 継続して児童生徒に基本的な生活習慣の指導を行うとともに、食育の推進について家庭への啓発を行っていますが、基本的な生活習慣の在り方については、意識の持ち方に個人差があることが要因と考えられます。						☔️ (低下)
		目標達成度 ■■ (低)					

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
126,327	112,913

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-01 学校教育の充実

基本事業 05-01-05 安心安全な教育環境の整備

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 幼稚園、小中学校	基本事業がめざす姿 子どもが安心安全な環境で豊かな学校生活を送ることができるよう、教育環境の整備・充実に努めます。
---------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	学校施設維持管理上の支障件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	件	0	0	0	0	(横ばい)
評価	(状況) 児童・生徒の事故につながる不具合や学校運営に支障を来すほどの修繕はありませんでした。 (原因) 学校及び各共同事務室との連携により、不具合の早期発見及び適切な修繕対応ができていることによるものと考えられます。	(件)	基準	R04	R05	R06	対前年度 比較不可 目標達成度 (達成)

指標	登下校の事故・トラブル件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標	件	2	4	3	0	(低下)
評価	(状況) 令和6年度は3件で、基準値、目標値には届きませんでした。内訳は、不審者関連が3件です。 (原因) 個々のとっさの判断力や自転車運転の技術向上と考えられます。各校における交通安全教室や防犯訓練等、警察やスクールガード・リーダーとの連携を継続し、児童生徒や保護者へ啓発も繰り返し続けています。	(件)	基準	R04	R05	R06	対前年度 (横ばい) 目標達成度 (低)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
211,207	188,650

**政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり**

**施策 05-01 学校教育の充実**

**基本事業 05-01-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
258,461	242,833

## 政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 05-02 生涯学習の充実

施策を実現する手段

**基本事業** 05-02-01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化

**基本事業** 05-02-02 青少年の健全育成

**基本事業** 05-02-03 生涯学習施設の適正管理

**基本事業** 05-02-04 文化財の保護・活用

**基本事業** 05-02-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

社会の進展に伴い、人々の価値観は多様化しており、生涯学習に対する町民のニーズも多様化しています。そのため、変化するライフスタイルや町民ニーズに対応した生涯学習機会の提供と地域に根ざした公民館活動の充実・強化に取り組む必要があります。また、学習施設利用者が安全・快適に利用できるように個別施設計画に基づく施設の適正な管理に努め、生涯学習環境の充実を図る必要があります。

町民の自主的な文化活動を支援するとともに、優れた文化に接する機会の提供や放課後・長期休業中の児童の安全安心な居場所づくりと魅力ある体験活動の充実を図ります。

文化財の保護と啓発については、令和6年10月に国指定史跡となった平城貝塚に続き、柏坂遍路道の令和8年度下半期における国指定を目指して調査研究に取り組みます。また、これらの重要な文化財を計画的に保護及び活用していくため、住民と協働した保存活用計画の策定に取り組み、埋蔵文化財やその他の文化財の周知及び啓発を推進します。これにより、町の歴史や文化を語るうえで重要な物件を保護するとともに、町民の歴史や文化に対する理解を深め、郷土への愛着と誇りを醸成します。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	3.01 (2.92)	3.05 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.42 (3.67)	3.47 (3.72)	3.45 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

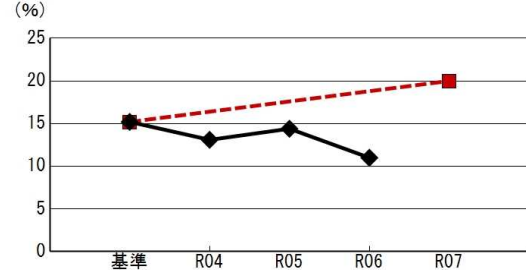
施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	多様な学習機会や情報を提供し、その成果を活かせる活動の場づくりを進める事により、生涯学習に取り組む町民が増加します。

施策の成果状況と評価

指標	生涯学習に取り組んでいる町民の割合 上がると良い指標 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
			%	15.2	14.4	11.0	20.0

評価	(状況) 令和6年度は11.0%で前回より3.4ポイント減少、基準値を4.2ポイント下回っていますが、住民アンケートの指標であり、統計誤差の範囲で横ばいとなっています。未だ目標値は達成できず、推移はやや不調です。 (原因) 町民の幅広いニーズに対応できるよう、体験型教室や学習講座を実施していますが、今後はさらに新しい生活様式に合わせた活動に参加しやすい環境づくりが必要になると考えられます。	

施策のコスト(千円)

R05	R06
438,347	400,567

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>町民</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>町民のニーズに応じた様々な生涯学習機会の提供や町民の各種文化活動への支援によって、多くの町民が文化活動を含む生涯学習活動に参加し、その質や機会が充実していると思う町民が増加します。</p>
--------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
<p>公民館事業に参加した町民の参加者数</p> <p>上がると良い指標 【生涯学習課】</p>	人	10,297	16,614	17,479	23,000	☀️ (向上)
<p>評価</p> <p>(状況) 令和6年度実績は17,479人で前年度と比べ865人増加、基準値を7,182人上回りましたが、目標値は達成できていません。</p> <p>(原因) 人口減少等の影響もあり、目標は達成できていない状況ですが、更なる創意工夫により参加者数の増加を図ります。</p>					☀️ (向上)	
<p>生涯学習の機会が充実していると思う町民の割合</p> <p>上がると良い指標 【生涯学習課】</p>	%	37.1	30.1	32.2	40.0	☔️ (低下)
<p>評価</p> <p>(状況) 令和6年度は32.2%で、前回から2.1ポイント向上、基準値を4.9ポイント下回っていますが、町民アンケートの指標であり統計誤差の範囲で横ばい状態です。</p> <p>(原因) インターネットやメディアの活用、参加方法の選択肢を広げるなど、住民のニーズを常に把握しながら、事業計画に反映することで、引き続き数値の向上につながるものと考えます。</p> <p>成果指標の値である住民アンケート回答割合の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。</p>					☁️ (横ばい)	
<p>生涯学習に関する情報提供の量や内容に満足している町民の割合</p> <p>上がると良い指標 【生涯学習課】</p>	%	26.4	26.1	15.1	28.0	☔️ (低下)
<p>評価</p> <p>(状況) 令和6年度は15.1%で、前回から11.0ポイント低下、基準値を11.3ポイントを下回っており、目標値は達成できていません。</p> <p>(原因) 町ホームページやSNSを活用した情報発信のほか、公民館等の各施設へのチラシの設置などにより積極的に情報提供を行っていますが、今後は多様化する町民のニーズや変化する生活様式に合わせたイベントの実施や周知方法を模索する必要があります。</p> <p>成果指標の値の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。</p>					☔️ (低下)	
<p>文化活動への参加者数 (芸術・文化・歴史)</p> <p>上がると良い指標 【生涯学習課】</p>	人	22,279	31,110	38,506	50,000	☀️ (向上)
<p>評価</p> <p>(状況) 令和6年度実績は38,506人で、前回より7,396人増加、基準値を16,227人上回っています。指標値は増加する傾向を見せていますが、目標値は達成できていません。</p> <p>(原因) 令和6年度は愛南町合併20周年記念事業等の事業の拡充があったため、文化施設の利用者数が増加したものと考えられます。今後も、参加者が集まりやすい環境づくりを行い、インターネットやメディアなどを使った周知を広く行う等、事業を活発に行うことが必要と考えられます。</p>					☀️ (向上)	

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-01 生涯学習機会の充実と文化活動の活性化

基本事業の成果状況と評価

指標	文化事業・芸術鑑賞への機会が十分だと思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	10.0	9.0	13.3	11.0	☀️ (向上)
評価	<p>(状況) 令和6年度は13.3%で、前回から4.3ポイント向上、基準値を3.3ポイント上回り、目標値を達成しています。</p> <p>(原因) 令和6年度は、愛南町合併20周年記念等により拡充して事業を行ったことが現状につながっていると考えられます。現状と参加者の満足度を維持するため、引き続き事業を活発に行うと同時に、ホームページやSNSを利用した幅広い周知啓発に継続して取り組む必要があります。</p> <p>成果指標の値である住民アンケート回答割合の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。</p>						☀️ (向上)
							☀️ (向上)
							🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
30,540	37,565

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-02 青少年の健全育成

基本事業のプロフィール

<p>基本事業の対象</p> <p>小中学生</p>	<p>基本事業がめざす姿</p> <p>体験活動や見守りを受けたり、放課後や週末等における安全・安心な居場所があり、健全に育成されています。</p>
----------------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	青少年事業延べ参加者・利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		人	6,854	6,385	5,939	9,000	☂ (低下)
評価	<p>上がるの良い指標 【生涯学習課】</p> <p>(状況)令和6年度は5,939人で、前回から446人減少し、基準値を915人下回っており、目標値は達成できていません。                      (原因)令和6年度より久良子ども塾が閉所となったため利用者数の減少につながりました。今後も、小学校の閉校に伴う放課後子ども教室事業の縮小等により成果の低下が考えられますが、引き続きSNS等を利用し、事業の周知啓発に取り組む必要があります。</p>					☂ (低下)	
	<p>目標達成度</p> <p>■ (中)</p>						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
6,783	7,192

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-03 生涯学習施設の適正管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、生涯学習施設	基本事業がめざす姿 生涯学習施設を適正に管理することで、多くの町民が安心して利用することができます。
----------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	生涯学習施設の維持管理上のトラブル件数 下がるが良い指標 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
		件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 生涯学習施設の維持管理上のトラブルは発生しませんでした。 (原因) 各施設管理担当職員による管理が適正に実施できているためです。						☀ 対前年度 (向上)
							☀ 目標達成度 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
213,804	143,212

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-02 生涯学習の充実

基本事業 05-02-04 文化財の保護・活用

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 文化財の保護と活用を通じて、町民が町の歴史や文化への理解を深め、郷土への愛着や誇りを醸成します。
------------------	---

基本事業の成果状況と評価

指標	指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がるが良い指標 【生涯学習課】	件	0	0	0	0	☀ (向上)
評価	(状況) 指定文化財のき損、滅失、亡失、盗難は発生していません。 (原因) 所有者等により適切に管理されていることによります。引き続き、文化財保護行政担当者の巡視も併せ、指定文化財の保護・継承に取り組みます。						対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

指標	文化財事業の参加者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がるが良い指標 【生涯学習課】	人	200	185	210	200	☀ (向上)
評価	(状況) 令和6年度実績は210人で、前回より25人増加、基準値を10人上回っており、目標値を達成して順調に推移しています。 (原因) 座学形式の講座だけでなく、児童生徒を対象にした体験型の事業等、幅広い形式の事業を実施したことで参加者数が増加したと考えられます。今後も多様化する住民のニーズを満たせるよう、より参加しやすい形の事業を企画していく工夫が必要になると思われます。						対前年度 ☀ (向上) 目標達成度 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
8,063	3,872

**政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり**

**施策 05-02 生涯学習の充実**

**基本事業 05-02-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
179,157	208,726

## 政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

### 施策 05-03 スポーツの充実

施策を実現する手段

**基本事業** 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

**基本事業** 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

**基本事業** 05-03-03 スポーツ施設の利用促進と適正管理

**基本事業** 05-03-04 スポーツツーリズムの推進

**基本事業** 05-03-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

少子化による競技人口の減少とスポーツ習慣の低下により、スポーツ少年団の団員数が減少しています。今後は学校単位から競技単位のスポーツ少年団への移行を目指し、専門的な知識や技術を有する指導者を養成し、団体の育成と団員の加入促進を図ります。

スポーツ活動に親しむ町民の割合を向上させるため、各種大会や教室への参加機会の充実を図り、スポーツ習慣を高めていくとともに、幅広い年齢層が気軽にスポーツが体験できるよう環境の整備を図ります。

あけぼのグラウンドを中核としたスポーツ合宿の積極的な誘致や対外的なスポーツイベントを開催し、スポーツツーリズムによる交流人口の増加を図ります。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.04 (2.95)	3.04 (2.92)	3.03 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.37 (3.67)	3.41 (3.72)	3.42 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	町民ニーズにあったスポーツ環境の整備を行い、健康が維持増進されています。

施策の成果状況と評価

指標	スポーツ活動に親しむ町民の割合 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値											
		%	31.7	23.3	22.1	33.0	☔ (低下) 対前年度											
評価	(状況)令和6年度は22.1%で、前年度より1.2ポイント減少していますが、住民アンケートの指標で統計誤差の範囲であり、横ばい状態ですが、基準値より9.6ポイント減少しており、順調ではありません。 (原因)新型コロナウイルス感染症により、スポーツ活動を休止した方で以前のようにスポーツ活動を再開できていない方が多くいることが要因であると考えられます。	<table border="1"> <caption>スポーツ活動に親しむ町民の割合</caption> <thead> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>基準</td><td>31.7</td></tr> <tr><td>R04</td><td>23.3</td></tr> <tr><td>R05</td><td>22.1</td></tr> <tr><td>R06</td><td>22.1</td></tr> <tr><td>R07</td><td>33.0</td></tr> </tbody> </table>				項目	値	基準	31.7	R04	23.3	R05	22.1	R06	22.1	R07	33.0	☁ (横ばい) 目標達成度 ■ (中)
		項目	値															
基準	31.7																	
R04	23.3																	
R05	22.1																	
R06	22.1																	
R07	33.0																	
指標	各種スポーツ団体・クラブに加入している町民の割合 【生涯学習課】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値											
%	11.5	9.4	10.8	13.0	☁ (横ばい) 対前年度													
評価	(状況)令和6年度は10.8%で昨年度より1.4ポイント増加していますが、住民アンケートの指標で統計誤差の範囲内であり、横ばい状態です。 (原因)若年層の人口減少に伴い、新しくスポーツ団体やクラブに加入する町民が減少していることが要因であると考えられます。	<table border="1"> <caption>各種スポーツ団体・クラブに加入している町民の割合</caption> <thead> <tr><th>項目</th><th>値</th></tr> </thead> <tbody> <tr><td>基準</td><td>11.5</td></tr> <tr><td>R04</td><td>9.4</td></tr> <tr><td>R05</td><td>10.8</td></tr> <tr><td>R06</td><td>10.8</td></tr> <tr><td>R07</td><td>13.0</td></tr> </tbody> </table>				項目	値	基準	11.5	R04	9.4	R05	10.8	R06	10.8	R07	13.0	☁ (横ばい) 目標達成度 ■ (中)
		項目	値															
基準	11.5																	
R04	9.4																	
R05	10.8																	
R06	10.8																	
R07	13.0																	

施策のコスト(千円)

R05	R06
230,327	137,052

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-01 各種スポーツ団体及び指導者の育成

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民	基本事業がめざす姿 各種スポーツ団体の充実及び指導者の育成により、地域でスポーツ活動をする人が増加します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	各種スポーツ指導者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	28	30	31	28	☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度は31名(延べ人数)で、前年度より1名増加し、基準値を3名上回りました。 (原因)制度改正により日本スポーツ少年団に登録するスポーツ少年団の指導者は公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格の保有が必要となり、新規に資格取得をした指導者が増えたためと考えられます。						☀️ (向上) ☀️ (向上) ☀️ (向上) 🏰 (達成)

指標	各種スポーツ団体で優秀な成績を収めた者及びスポーツの発展に寄与した者の顕彰者数(延人数)	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	25	37	50	30	☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度は50名(延べ人数)で、昨年度より13名増加し、基準値を25名上回りました。 (原因)ソフトテニスや剣道競技などのクラブ及び団体が県内でも上位のレベルで活動し、優秀な選手が育成されていることが要因であると考えます。						☀️ (向上) ☀️ (向上) ☀️ (向上) 🏰 (達成)

指標	スポーツ少年団の加入率	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	32.1	44.1	45.7	35.0	☀️ (向上)
評価	(状況)令和6年度のスポーツ少年団加入率は45.7%で、前年度に比べて1.6ポイント向上しました。基準値と比較しても13.6ポイント向上し、目標値を達成しています。 (原因)少子化や小学校の統廃合による単位団の解散等あり、スポーツ人口は減少していますが、学校を通じて保護者へ対し、体験入団の案内を通知したことや、国際大会における日本代表選手の活躍などにより、スポーツに興味を持つ児童が増えたことが要因であると考えられます。						☀️ (向上) ☀️ (向上) ☀️ (向上) 🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
8,135	8,116

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-02 各種スポーツ活動への参加機会の充実

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 行政、町民	基本事業がめざす姿 各種スポーツ活動への参加機会が充実します。
------------------	------------------------------------

基本事業の成果状況と評価

指標	町主催のスポーツ大会・教室等に参加した人数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	628	1,368	1,513	2,000	(向上) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 (中)
評価	(状況)令和6年度の参加者数は1,513人で、前年度より145人増加し、基準値より885人増加しました。 (原因)各種大会の参加者が新型コロナウイルス感染症収束により増加したことが要因と考えられます。						
指標	スポーツ活動への参加機会が十分であると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	%	9.8	10.7	11.4	10.0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 (達成)
評価	(状況)令和6年度は11.4%で、前年度に比べ0.7ポイント増加し、基準値を1.6ポイント上回りました。 (原因)競技人口が減る中、幅広い年齢層で気軽にスポーツが行える環境の提供が維持できているためと考えられます。 成果指標の値である住民アンケート回答割合の算定式見直しにより、今回の報告書は基準値・実績値・目標値の修正を行っています。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
5,067	4,211

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-03 スポーツの充実

基本事業 05-03-03 スポーツ施設の利用促進と適正管理

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政	基本事業がめざす姿 スポーツ施設・設備を充実させ、多くの町民が利用します。
------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	スポーツ施設利用者数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	上がると良い指標 【生涯学習課】	人	122,315	108,215	105,531	135,000	(横ばい) 対前年度 (横ばい) 目標達成度 ■■■ (高)
評価	(状況) 令和6年度は105,531人で前年度より2,684人減少し、基準値には達しませんでした。 (原因) あげぼのグラウンドの人工芝改修など施設改修により利用出来なかった期間があったことや、利用団体数の減少が要因であると考えます。						
指標	スポーツ施設の維持トラブル不具合件数	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
	下がると良い指標 【生涯学習課】	件	0	0	0	0	(向上) 対前年度 (向上) 目標達成度 ■■■ (達成)
評価	(状況) 令和6年度も利用に支障をきたすような大きな不具合等もなく、順調に推移しています。 (原因) 各地域の公民館と連携して、施設の点検等を行うことで現状を把握し、必要に応じて適宜迅速な対応を行ったことが要因であると考えます。						

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
170,716	84,072



**政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり**

**施策 05-03 スポーツの充実**

**基本事業 05-03-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
30,884	24,116

## 政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

### 施策の構成

政策を実現する手段

#### 施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策を実現する手段

##### 基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

##### 基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

##### 基本事業 05-04-99 施策の総合推進

### 施策を取り巻く環境変化と課題

意識、無意識を問わず、人権を侵害する要素はインターネット上の差別的な書込みなど、年々多様化しています。平成28(2016)年から、障害者差別解消法、ヘイトスピーチ解消法、部落差別解消推進法、アイヌ施策推進法が施行されていますが、被差別当事者に対する差別意識は根強く残っています。これらの問題を解決するために、効果的な人権・同和教育の啓発によって正しい知識を広めることで、多様性を認め合う環境づくりを推進していきます。さらに、あらゆる差別の解消に向け、家庭、地域、学校、職場と連携しながら、人権意識の高揚に取り組み、すべての町民が互いを尊重し合い、誰もが住みやすい地域社会の形成を目指します。

女性の社会進出が進み、共働き世帯が増加する中、男女の地位の平等化は重要な課題となっています。令和6年4月1日に「愛南町男女共同参画推進条例」を施行しました。すべての人がお互いを尊重しつつ、責任を分かち合い、自由な意思で能力を十分に発揮できる共生社会の実現を目指します。

### 施策に対する住民のニーズ

毎年実施している住民アンケートにより把握した、この施策に対する住民の「満足度」と「重要度」を5点満点で点数化して示しています。

	R04	R05	R06	R07	うごき
満足度	3.01 (2.95)	3.00 (2.92)	3.00 (2.95)	--- (---)	
重要度	3.41 (3.67)	3.43 (3.72)	3.44 (3.68)	--- (---)	

( )内は、23施策の平均値を示しています。

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

施策のプロフィール

施策の対象	施策がめざす姿
町民	地域、家庭、職域その他様々な場において、人権尊重に対する町民の理解を深め、日常生活において、態度や行動に現れるような人権感覚を身に付けています。

施策の成果状況と評価

指標	この1年間に、自身の人権が侵害されたと感じたことがある町民の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
評価	下がると良い指標	%	8.5	11.1	10.1	7.0	☔ (低下)
評価	(状況) 令和06年度は10.1%で、前年に比べて1.0ポイント向上しましたが、市民アンケートの統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因) 全国的な傾向であるハラスメントに関する認識が浸透しつつあることが一因だと考えられます。	(%)					対前年度
							☁ (横ばい)
							目標達成度
							■ (低)

指標	出身、性別、国籍、年齢、病気、障がいの有無等の人権に係る差別をしてはならないと考える町民の割合 【人権啓発室】	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
評価	上がると良い指標	%	97.9	98.1	98.4	100	☁ (横ばい)
評価	(状況) 令和06年度は98.4%で、前年に比べて0.3ポイント向上しましたが、市民アンケートの統計誤差の範囲であり、横ばい状態です。 (原因) アンケート結果が高水準を維持している原因は、全国的な傾向である多文化共生への理解が深まりつつあることが一因だと考えられます。	(%)					対前年度
							☁ (横ばい)
							目標達成度
							■ (高)

施策のコスト(千円)

R05	R06
14,860	16,334

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-01 人権・同和教育の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政及び事業者	基本事業がめざす姿 あらゆる差別や偏見の解消及び多様性を認める人権尊重意識の高揚を図ります。お互いに相手の立場を認め合える豊かな感性をもった児童・生徒を育てます。
-----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	目標	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値
指標	学習等により、この1年間に自身の人権意識が高まったと思う町民の割合 【人権啓発室】	%	39.9	39.0	44.0	45.0	☀️ (向上)
	上がるの良い指標						☀️ 対前年度 (向上)
評価	(状況)令和06年度は44.0%で、前年に比べて5.0ポイント向上しています。 (原因)学習等の参加者数がコロナ前の状況に戻りつつあることが、向上した原因だと考えられます。						☀️ 目標達成度 (達成)
							🏰 (達成)
指標	相手の気持ちを理解し、やさしい言葉遣いや行動ができる児童・生徒の割合 【人権啓発室】	%	84.9	83.5	93.6	90.0	☀️ (向上)
	上がるの良い指標						☀️ 対前年度 (向上)
評価	(状況)令和06年度は93.6%で、前年に比べて10.1ポイント向上しています。 (原因)人権尊重の意識が児童・生徒の中に定着しつつあることが、向上した原因だと考えられます。						☀️ 目標達成度 (達成)
							🏰 (達成)

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
6,000	6,943

政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり

施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現

基本事業 05-04-02 男女共同参画の推進

基本事業のプロフィール

基本事業の対象 町民、行政及び事業者	基本事業がめざす姿 男女がお互いを尊重しつつ、責任を分かち合い、能力を十分に発揮できる共生社会の実現を目指します。
-----------------------	--

基本事業の成果状況と評価

指標	男女の地位は平等になっていると思う町民の割合	単位	基準値	実績値 (R05)	実績値 (R06)	目標値 (R07)	対基準値																		
	上がると良い指標 【企画財政課】	%	20.4	26.5	27.7	50.0	☀️ (向上)																		
評価	(状況) 男女の地位は平等になっていると思う町民の割合は27.7%で、前年度と比較して1.2ポイント向上しています。目標値とは大きく離れていますが、徐々に意識は高まりつつあります。 (原因) 全国的な男女平等の取組みが、社会全体において徐々に浸透していることが一因であると考えます。	<table border="1"> <caption>男女の地位は平等になっていると思う町民の割合の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績値 (%)</th> <th>目標値 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準</td> <td>20.4</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R04</td> <td>22.3</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R05</td> <td>26.5</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R06</td> <td>27.7</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>R07</td> <td>-</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table>					年度	実績値 (%)	目標値 (%)	基準	20.4	-	R04	22.3	-	R05	26.5	-	R06	27.7	-	R07	-	50.0	☀️ (向上) 対前年度 ☀️ (向上) 目標達成度 ■ (低)
年度	実績値 (%)	目標値 (%)																							
基準	20.4	-																							
R04	22.3	-																							
R05	26.5	-																							
R06	27.7	-																							
R07	-	50.0																							

基本事業のコスト(千円)

R05	R06
162	342

**政策 05 豊かな心と文化を育むためのひとづくり**

**施策 05-04 人権尊重・男女共同参画の実現**

**基本事業 05-04-99 施策の総合推進**

基本事業のプロフィール

本基本事業は、他の基本事業には属さない事務事業の集合体として施策を総合的に推進していきます。  
なお、本基本事業には成果指標を設定していません。

基本事業のコスト（千円）

R05	R06
8,698	9,049

